TimeTracker FX

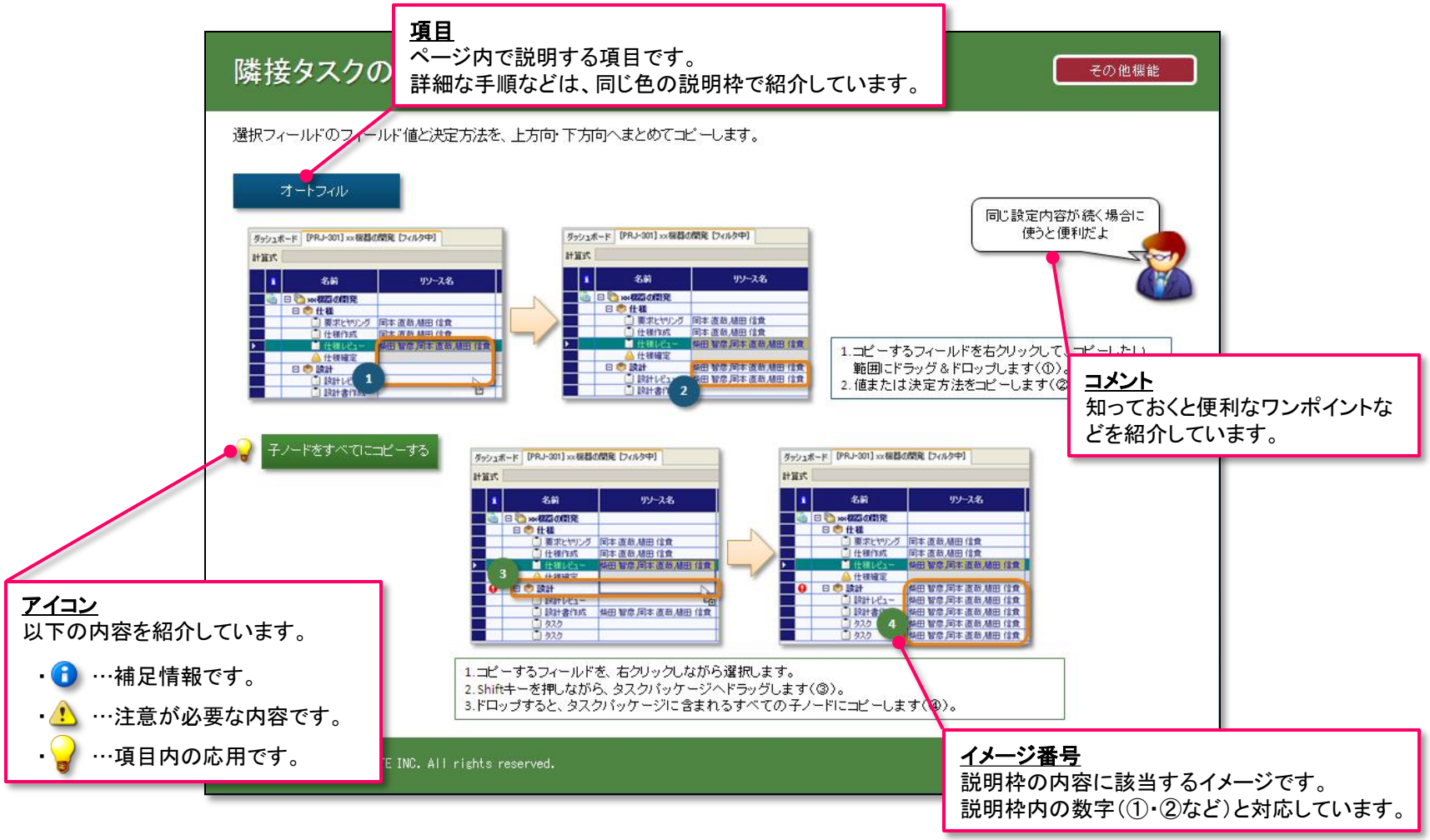
ユーザーズガイド

ープロジェクト管理編ー

Rev. 20140324

本書の見方

本書に出てくるアイコンなど、本書の見方を説明します。

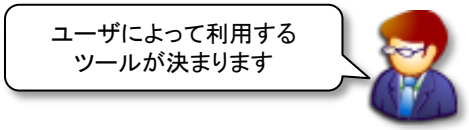


Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FXのアプリケーション構成

TimeTracker FXの各アプリケーションの構成は以下の通りです。

本書では、プランナーを活用してプロジェクトの計画作成や進捗管理を行うための操作方法を説明します。



本書の対象範囲

タイムシート

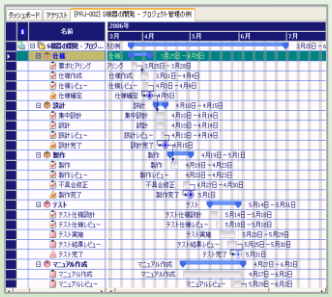
（実績入力）

直感的なI/Fで
リアルタイムに
工数・実績管理を
することが可能

- 工数入力
- 進捗、成果量報告
- 割り当て作業の計画確認

作業担当者

プランナー



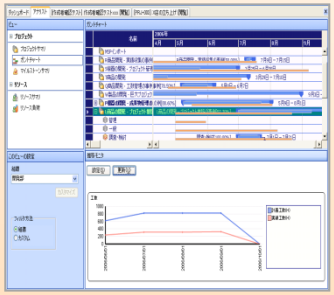
（計画作成）
（進捗・実績管理）

現場指向の
柔軟な計画作成や
進捗管理が可能

- 計画作成
- 進捗・実績管理
- コスト管理

プロジェクトマネージャ

アナリスト



（分析・モニタリング）

複数プロジェクトの
状況を横断的に
管理することが可能

- 複数プロジェクトの
  概況及び進捗確認
- リソース負荷管理

上級管理者

ダッシュボード

（分析・モニタリング）

現場の状況を、
いつでもモニタリング
することが可能

- 工数入力状況の
  モニタリング
- プロジェクト進捗状況の
  モニタリング

ピボット分析

（分析・モニタリング）

期間やプロジェクトを
自由に選択して、
工数をピボット集計
することが可能

- 工数・コストの集計・分析
- 予実（計画と実績）対比

記載内容（機能＆画面イメージなど）は、予告なく変更する場合があります。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

本書の構成 – プロジェクト計画作成

ユーザーズガイド プロジェクト管理編は、「プロジェクト計画作成」と「進捗・実績管理」で構成されています。

プロジェクト計画作成の基本	• プランナーの概要を説明します。 • プロジェクトの作成方法、最初に設定すべき項目について説明します。 • WBSとは何か、またWBSの操作方法について説明します。
既存のデータを活用した効率的な計画作成	• コピー&ペーストなどにより既存のプロジェクトからWBSを流用してプロジェクトのWBSを作成する手順を説明します。 • Microsoft Projectのプロジェクトをインポートする方法を説明します。
豊富な計画作成支援機能	• 作業間の依存関係（リンク）や期間の自動設定など、計画作成を便利に実施するための機能を説明します。 • コスト管理機能について説明します。
カスタマイズによる高度な計画作成機能	• 必要な粒度で柔軟にWBSを作成する方法を説明します。 • カスタムフィールドやフィールド値の計算式の使用方法を説明します。
オフラインでの活用	• オフラインファイルを活用してプロジェクト情報を共有する方法を説明します。
プロジェクト計画の履歴管理	• ベースライン機能を活用してプロジェクト計画の履歴を管理する方法を説明します。

プロジェクト管理の基本的な機能であり、最初にお読みいただきたい内容です。
プロジェクト管理の応用的な機能を紹介しています。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

本書の構成 – 進捗・実績管理

実績管理の基本	• タイムシートとプランナーの関係ならびにプランナー上で実績を確認する方法について説明します。
進捗管理の基本	• 進捗管理の基本となる進捗率の決定方法について、定義と使用方法を説明します。
計画テーブルでの進捗管理	• フィルタやテーブル設定、テーブル書式を活用して計画テーブル上で進捗を管理する方法について説明します。
ガントチャートでの進捗管理	• ガントチャート上での進捗管理方法について説明します。ガントバー書式の使い方も紹介します。
アーンドバリューによる進捗管理	• 拡張アーンドバリューモデルを活用して効果的に進捗を管理する方法について説明します。
Excelとのデータ連携	• Excel連携アドインを活用してExcelとの間でデータをインポート・エクスポートする方法を説明します。
Microsoft Projectとのデータ連携	• TimeTracker FXのデータをMicrosoft Projectで閲覧する、またMicrosoft ProjectのデータをTimeTracker FXで閲覧する方法を説明します。
プロジェクトの工数分析	• クイックレポート機能を活用してプランナー上で工数を集計・分析する方法を説明します。

プロジェクト管理の基本的な機能であり、最初にお読みいただきたい内容です。
プロジェクト管理の応用的な機能を紹介しています。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

プロジェクト計画作成

プロジェクト計画作成の基本

プランナーの機能概要ならびにプロジェクト計画作成の基本操作について説明します。

プランナーとは

プランナーは、プロジェクトを管理するための機能です。

計画テーブルとガントチャートから、プロジェクトの計画と実績が管理できます。

プランナーの機能

プランナーには以下のような機能があります。

1) プロジェクト計画の定義・是正・バージョン管理
2) プロジェクトのタスクへのリソース割り当て
3) プロジェクトの進捗管理
4) 柔軟なWBSの定義（FX-WBS）
5) 分析・集計支援
6) 拡張アーンドバリューモデル
7) 高度なクリップボード連携

計画テーブルの見方

プランナーにデフォルトで表示されているテーブルです（①）。
各ノード（②）には、以下の設定が行えます。

- ・各フィールドでノードの詳細を設定します。
- ・[リソース]・[開始日]・[終了日]・[計画工数]など標準フィールドが設定できます。
- ・編集可能なカスタムフィールドは50個まで設定できます。

フィールド名を右クリックし、コンテキストメニューの[テーブルの編集]（③）から、表示フィールドの変更ができます。

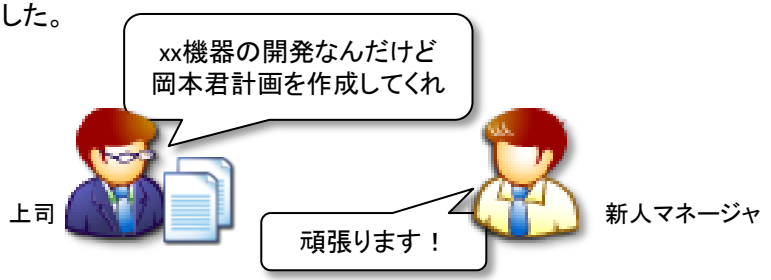
ガントチャートの見方

ガントチャート（④）はノードに関する日付・期間を、時間軸に沿って表した線表です。
[ガントチャート]ボタン（⑤）をクリックすることで表示されます。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

プロジェクト計画作成の基本操作

新人マネージャの岡本さんは、新しいプロジェクトを開始するように上司から指示されました。
ここでは、プランナーにおける計画作成で基本となる操作を説明します。



WBSの作成

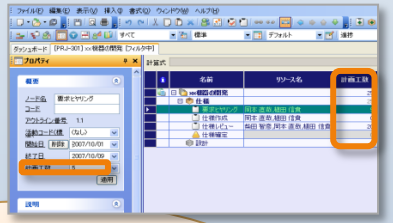
どんな作業があるか
明確にしましょう。

スケジュールの設定

作業期間を
明確にしましょう。

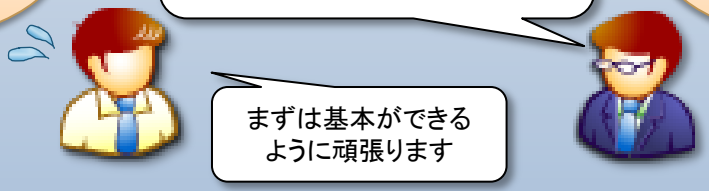
リソース割り当て

誰がどの作業を担当するか
明確にしましょう。



計画工数の設定

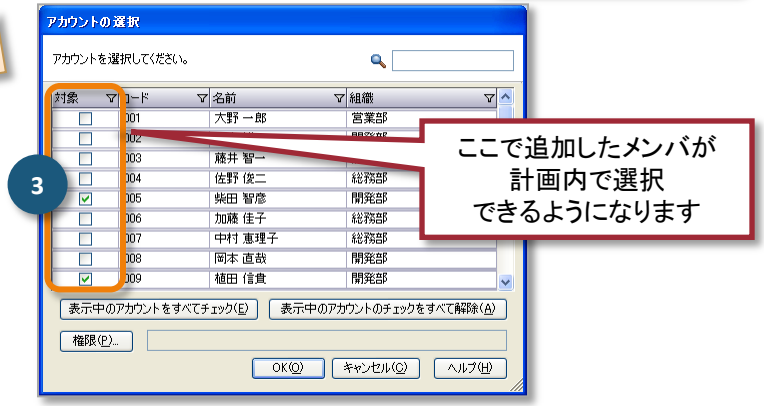
各作業の計画工数を
設定しましょう。

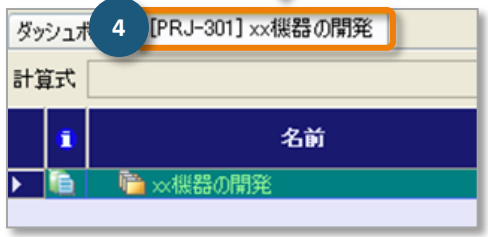


Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

プロジェクトを新規に作成する

プロジェクトを新規に作成し、このプロジェクトに参加するプロジェクトメンバを登録します。
登録が完了したら、このプロジェクトの計画テーブルが表示されます。



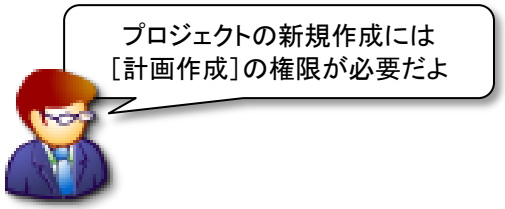


ここで登録する情報は、[ファイル]-[プロジェクトの設定]から変更することができます。

プロジェクトの作成者とマネージャは、デフォルトのメンバとして登録されています。

各メンバの「権限」や「コスト単価」も設定できます。

マネージャを、メンバから削除することはできません。



1. [ファイル]－[新規作成]－[プロジェクト]を実行します。
2. プロジェクトの情報を設定し(①)、[進む](②)をクリックして、[プロジェクトメンバ]まで進みます。
3. [追加]をクリックし、[アカウントの選択]ダイアログから参加するメンバの[対象](③)にチェックを入れ、[OK]をクリックします。
4. [完了]をクリックすると、新しいプロジェクトが作成されます(④)。
5. [ファイル]－[保存]を実行することで、新しいプロジェクトが登録されます。

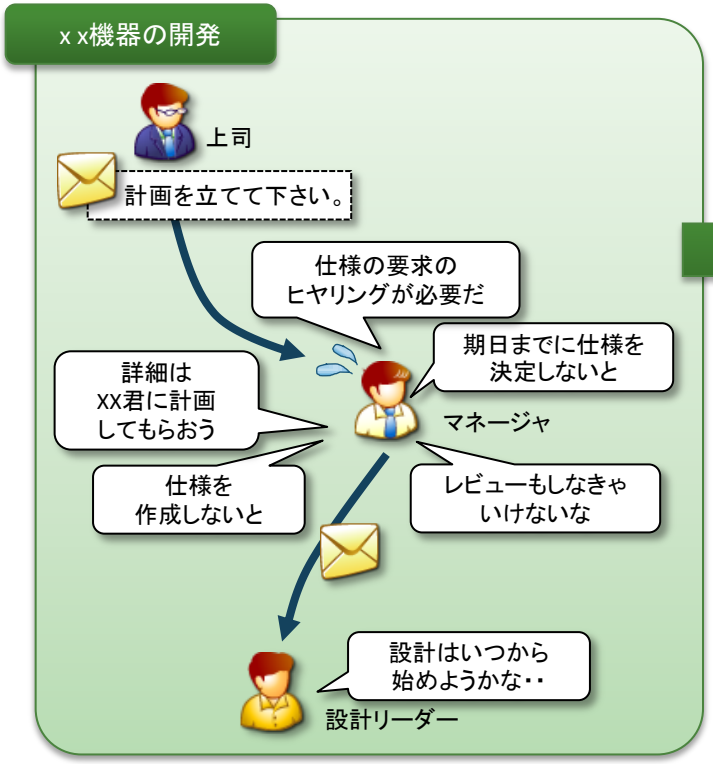
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

WBSとは

プロジェクトの計画の基盤となるWBSについて説明します。

WBS

Work Breakdown Structureの略です。
プロジェクトマネジメントで計画を立てる際に用いられる手法の一つであり、プロジェクト全体を細かい作業に分割した構成図のことです。
この構成図は、「作業分割構成」「作業分解図」などとも呼ばれます。
分割したそれぞれの細かい作業を**ノード**と呼びます。



名前	リソース名	開始日	終了日
S機器の開発		2010/04/12	2010/07/19
マニュアル開発ツール購入		2010/06/11	2010/06/11
納品		2010/07/19	2010/07/19
仕様	山本 博,岡本 直哉	2010/04/12	2010/04/23
要求ヒアリング	岡本 直哉	2010/04/12	2010/04/15
仕様作成	山本 博,岡本 直哉	2010/04/16	2010/04/20
仕様レビュー	山本 博,岡本 直哉	2010/04/21	2010/04/22
指摘修正	山本 博,岡本 直哉	2010/04/21	2010/04/23

WBSの作成

WBSの作成方法には以下の3種類があります。

1) 新規に作成
2) 既存プロジェクトのWBSや標準WBSを、テンプレートとして作成
3) 継続的なプロジェクトのWBSを、コピー＆ペーストで作成

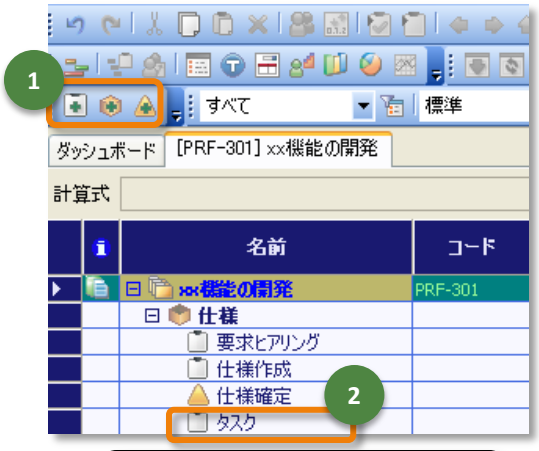
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

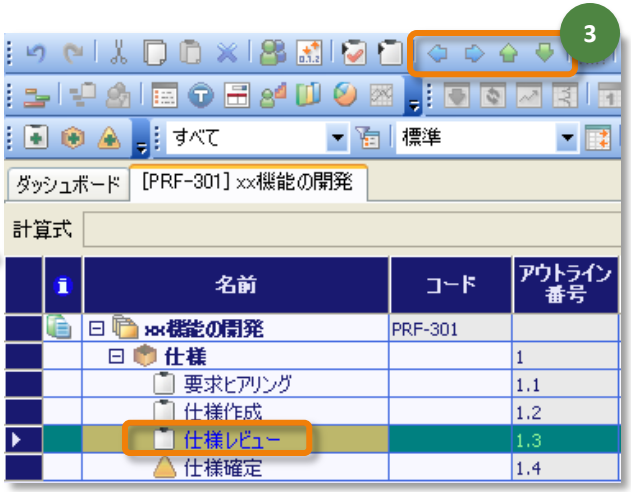
WBSを定義する

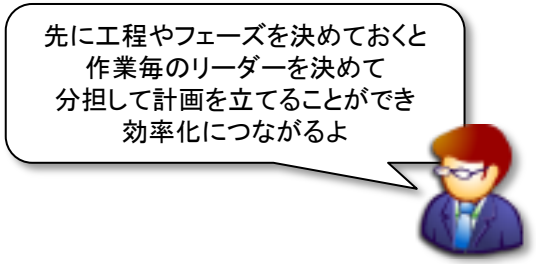
タスクパッケージ・タスク・マイルストーンを作成し、プロジェクト計画の詳細を定義していきましょう。

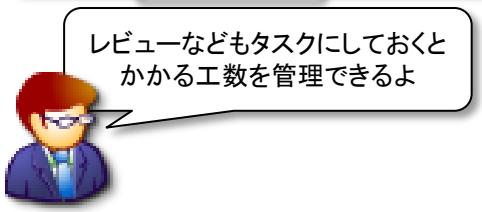
名前	概要
タスクパッケージ	プロジェクトの工程やフェーズを定義します。 また、タスク・マイルストーン・タスクパッケージをまとめる場合にも利用できます。
タスク	具体的な活動内容や作業で、工数を入力する単位を定義します。
マイルストーン	プロジェクトに重要なイベントを定義します。 フィルタでの絞り込みに指定できるため、定義しておくと、全体の状況を簡単に確認できるようになります。

作成方法









1. 作成したい箇所を選択し、挿入ボタン(①)をクリックします(この例ではタスクを作成(②))。
2. 新しく追加されるノード(タスクパッケージ・タスク・マイルストーン)をダブルクリックし、適切な名称を入力します。
3. ノードの位置を変更するには、移動ボタン(③)をクリックして適切な位置に移動できます。

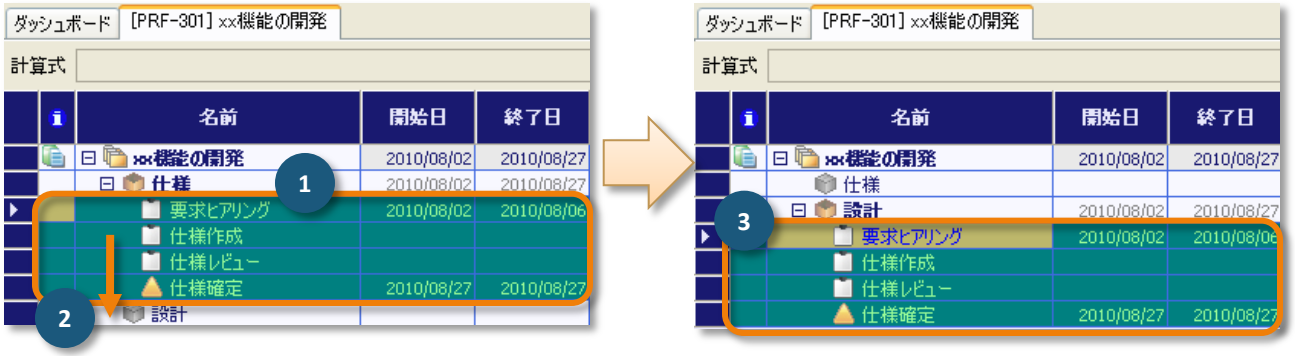
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

ノードを移動する/コピーする

作成したノード（タスクパッケージ・タスク・マイルストーン）を編集するときに便利な、移動やコピーの方法を紹介します。

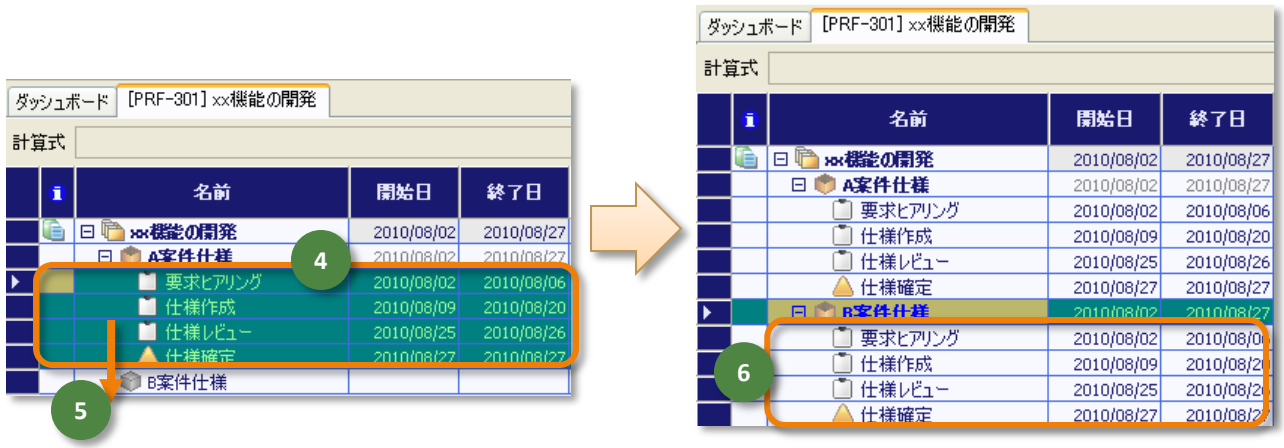
ノードの移動

1. 移動したいノードを選択します（①）。
2. 移動先へドラッグ＆ドロップします（②）。
3. 選択したノードが移動します（③）。



ノードのコピー

1. コピーしたいノードを選択します。（④）。
2. コピー先へドラッグし、Ctrlキーを
   押下しながらドロップします（⑤）。
3. 選択したノードがコピーされます（⑥）。



設計する箇所は違うけど
作業内容は同じだよな…

ワンポイント活用法

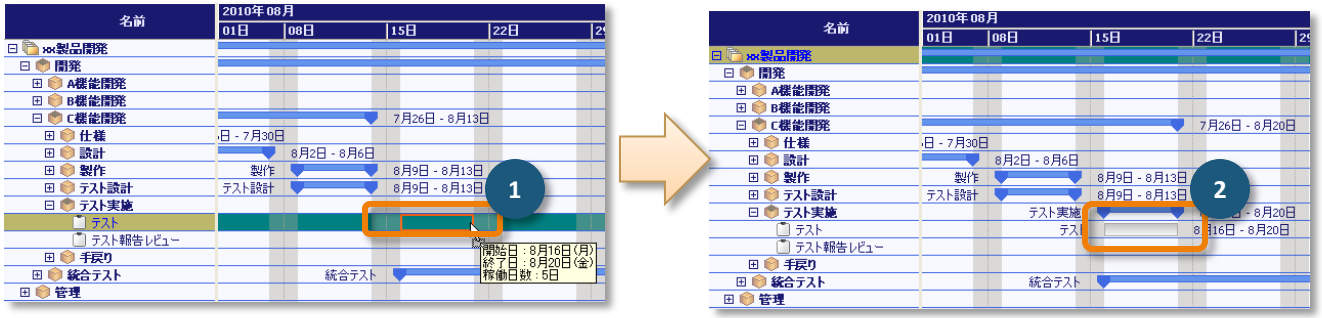
似た作業内容がある場合は、
ノードのコピーを使うと便利です。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

タスクの開始日・終了日を設定する

計画テーブルやガントチャートでタスクのスケジュール（開始日・終了日）を設定します。

ガントチャート



1.ガントチャート上でスケジュールを設定したい期間をドラッグします（①）。
2.ドラッグした範囲がタスクの期間になります（②）。

ガントチャートを選択したままドラッグすると、期間の変更ができます。

複数タスクに一括でスケジュールを設定することもできます。

ワンポイント活用法

新規のスケジュール設定や作業の前後関係を比較する場合に便利です。

計画テーブル

1. 計画開始日と終了日を設定するタスクを選択します（③）。
2. 該当タスクの［開始日］（④）をクリックすると、カレンダーが表示されます。
3. 計画期間をカレンダー上で選択します（⑤）。

ワンポイント活用法

ピンポイントで［開始日］・［終了日］を設定する場合に便利です。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

タスクにリソースを割り当てる

タスクを担当するメンバを登録します。

ここで割り当てたメンバが、タイムシートでこのタスクの実績を入力できます。

割り当て時に、複数のタスクを選択することもできます。

1. メンバを割り当てるタスク（この例では「仕様レビュー」）を選択します。
2. [リソース割り当て]ボタン（①）をクリックすると、[リソース設定]ダイアログ（②）が表示されます。
3. [割り当て]列に登録するメンバ（この例では「岡本」「植田」「柴田」）を選択します（③）。
4. [OK]（④）をクリックすると、タスクにメンバが登録されます。

タスクに複数メンバを登録する場合、その中から、リーダー（⑤）を定義することもできます。

グループを選択した場合は、[割り当て]ボタン（⑥）で割り当てます。

フィールドにアカウント名を直接入力することもできます。

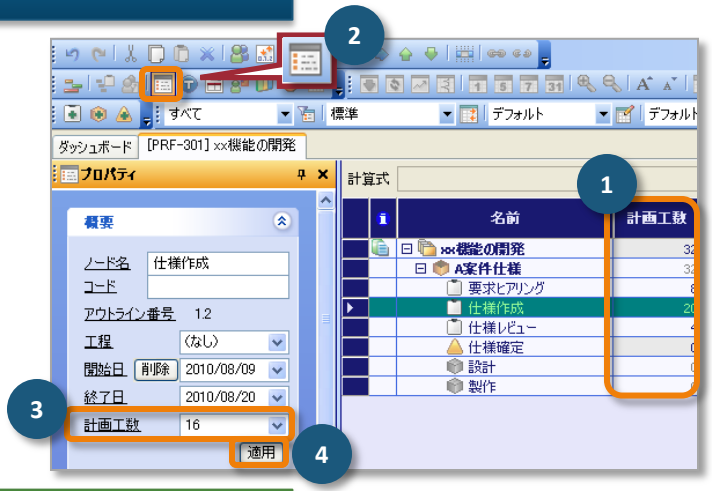
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

タスクに計画工数を設定する

タスクに計画工数を設定します。

タスクに割り当てられたメンバ毎に、計画工数を設定することもできます。

タスク全体の計画工数を設定する

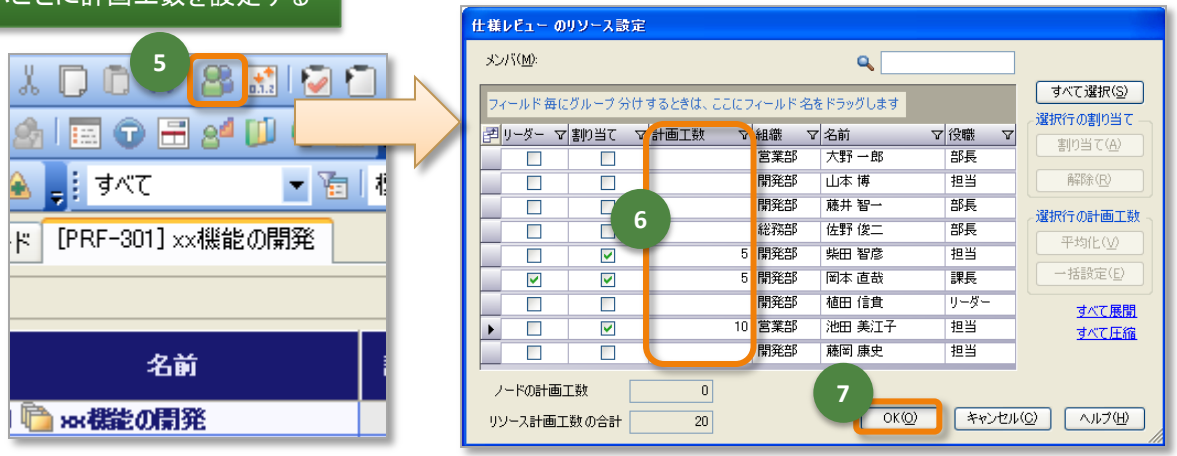


以下の方法から入力ができます。

1. 計画テーブルからの入力(①)。
2. [プロパティ]ドッキングウィンドウ(②)からの入力(③)。

[プロパティ]ドッキングウィンドウからの入力は、
[適用](④)をクリックしないと計画に反映されません。

メンバごとに計画工数を設定する



1. [リソース割り当て]ボタン(⑤)を
   クリックし、[リソース設定]ダイアログを
   表示します。
2. [計画工数](⑥)を入力し、[OK](⑦)を
   クリックします。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

プロジェクト計画作成

既存のデータを活用した効率的な計画作成

既存のプロジェクトやMicrosoft ProjectのプロジェクトからWBSを取り込んで
効率的にプロジェクト計画を作成する方法を説明します。

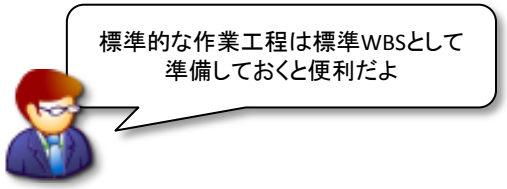
計画を作成する – 既存のプロジェクトを活用

既存のデータを利用した効率的な計画作成

既存プロジェクトのWBSや標準WBSを、テンプレートやコピー＆ペーストで再利用することができます。

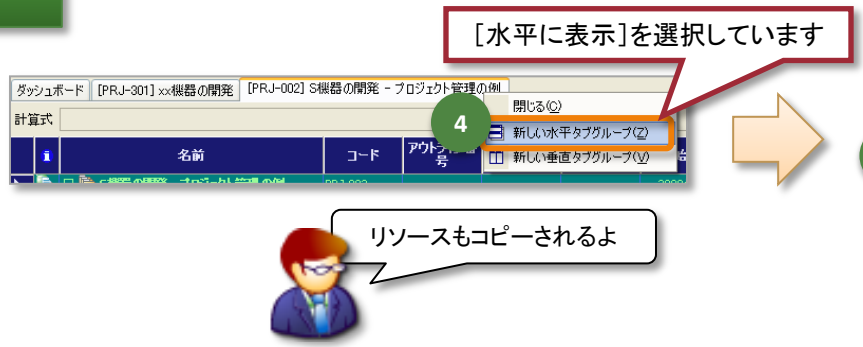
[テンプレート]と[コピー&ペースト]では、コピーするフィールドが異なります。詳細については[TimeTracker FX ヘルプ]をご覧ください。

テンプレート



1. [テンプレート]ボタン(①)をクリックし、[テンプレート]ドッキングウィンドウを表示します。
2. [プロジェクトの選択](②)からWBSを再利用したいプロジェクトを選択します。
3. 再利用したいWBSを選択し、WBSを追加したい箇所にドラッグ＆ドロップします(③)。

コピー＆ペースト



1. 2つのプロジェクトを同時に開きどちらかの[プロジェクト]タブを選択して、右クリックし、任意の表示スタイルを選択します(④)。
2. 再利用したいWBSを選択し、右クリックして、コピーしたい箇所にドラッグ＆ドロップします。
3. 任意の場所にWBSが作成されます(⑤)。

キーボードからCtrl+C(コピー)、Ctrl+V(ペースト)でも実行できます。

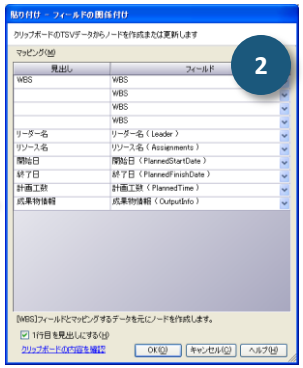
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

計画を作成する – Excelや外部ファイルを活用

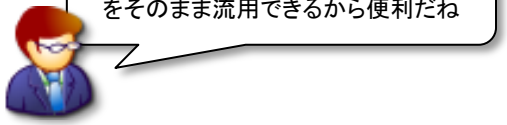
既存のデータを利用した効率的な計画作成

Excel上で作成したWBSをそのままコピーしたり、ファイルを介してプロジェクトのWBSを作成することもできます。

Excelからのコピー

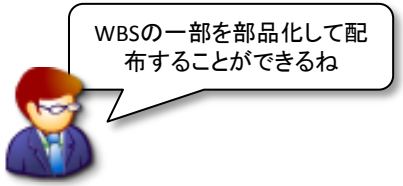


1. Excel上でWBSを作成し、その範囲をコピーします（①）。
2. TimeTracker FXでプロジェクト（もしくはタスクパッケージ）を選択し、
   コンテキストメニューから[貼り付け]を実行します。
3. [貼り付けーフィールドの関連付け]ダイアログ（②）で、Excelの列とTimeTracker FXのフィールドとの関連付けを設定します。ノード名に相当する列には[WBS]を指定します。
   設定が完了したら[OK]ボタンを押下します。
4. 選択したプロジェクト（タスクパッケージ）の下にExcel上でコピーしたWBSがそのまま作成されます（③）。



ファイルのエクスポート・インポートによるコピー

1. 他のプロジェクトで再利用したいWBSの部分を選択し、
   ウィンドウ外へドラッグします（④）。
2. XMLファイルが作成されます（⑤）。
3. XMLファイルを別のプロジェクトにドラッグ&ドロップします。
4. 元のプロジェクトで選択したWBSが再現されます（⑥）。



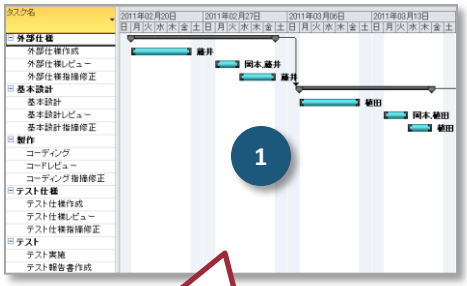
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

計画を作成する – Microsoft Projectのデータを活用

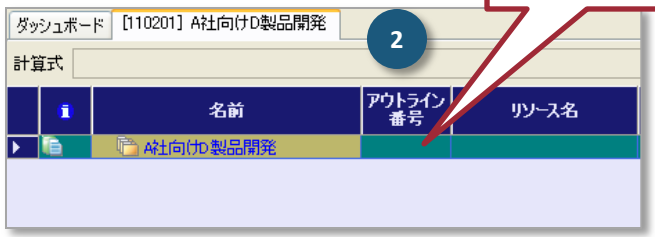
既存のデータを利用した効率的な計画作成

Microsoft Project で作成したプロジェクトの計画をインポートしてTimeTracker FX のプロジェクトWBSを作成することができます。

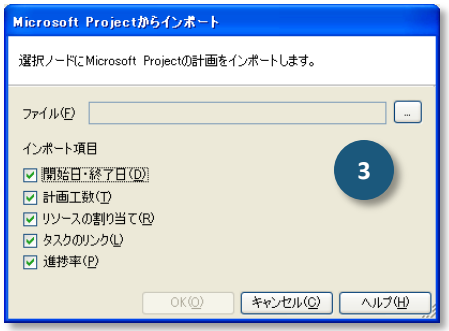
Microsoft Projectからのインポート



Microsoft Projectで作成したプロジェクト

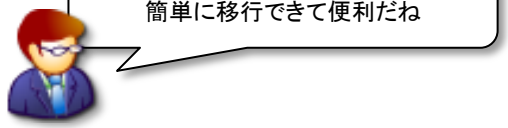


プロジェクトノードの直下にWBSをインポートする



Microsoft ProjectのWBSがインポートされた

1. Microsoft Projectでプロジェクトを作成し、「mpp」または「xml」形式で保存します（①）。
2. TimeTracker FXでプロジェクトを開き、インポート先のノードを選択します（②）。
3. [ファイル]メニューから[Microsoft Projectからインポート]を選択します。
4. [Microsoft Projectからインポート]ダイアログ（③）で、Microsoft Projectファイルを指定するとともに、インポート項目を選択します。
5. [OK]ボタンを押下します。
6. インポート先ノードの下にMicrosoft ProjectのWBSが作成されます（④）。



Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

他のプロジェクトから設定をインポートする

他のプロジェクトからプロジェクト設定をインポートすることで、プロジェクトに設定された様々な情報を再利用できます。
プロジェクト設定を再利用することで、計画作成工数の節約や管理指標の均一化につながります。

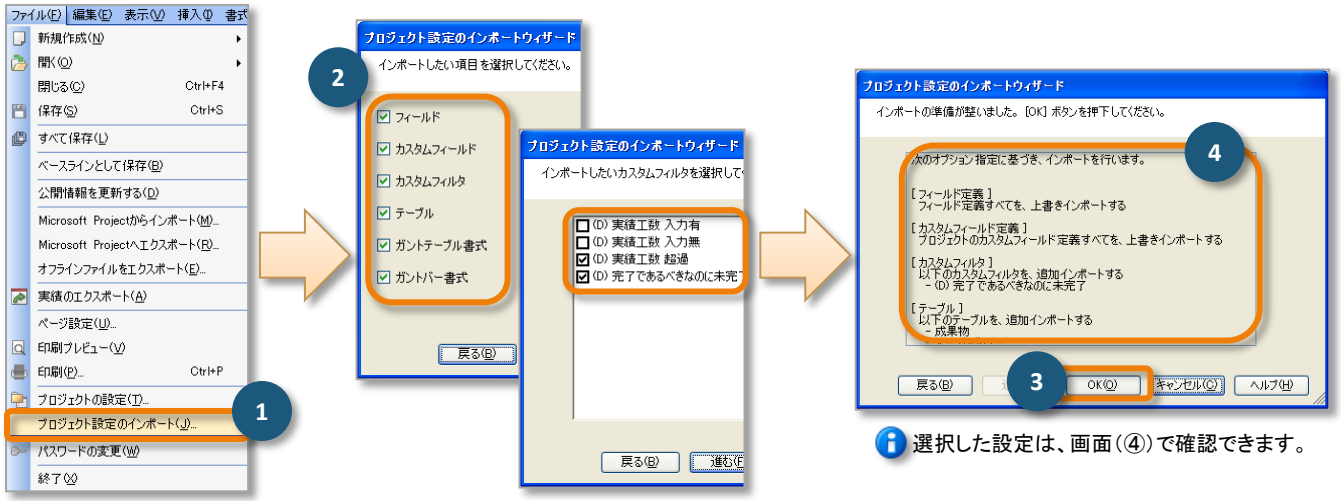
Professional Edition のみの機能です。

インポートの対象

項目	概要
フィールド	デフォルトの、フィールド値の決定方法をインポートします。 インポート元は[プロジェクトの設定]－[フィールド定義]です。
カスタムフィールド	カスタムフィールドの設定をインポートします。
カスタムフィルタ	カスタムフィルタをインポートします。
テーブル	テーブル定義をインポートします。
ガントテーブル書式	ガントテーブル書式をインポートします。
ガントバー書式	ガントバー書式をインポートします。

[フィールド]・[カスタムフィールド]のインポートが行えるのは、[プロジェクト設定のインポート]のみです。

[カスタムフィルタ]・[テーブル]・[ガントテーブル書式]・[ガントバー書式]は、それぞれ個別にインポート・エクスポートできます。



選択した設定は、画面(④)で確認できます。

1. [ファイル]－[プロジェクト設定のインポート](①)でウィザードを表示します。
2. インポート元のプロジェクトを選択します。
3. ウィザードに従って、詳細項目を選択していきます(②)。
4. 最後のページで[OK](③)をクリックすると、インポートが実行されます。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

プロジェクト計画作成

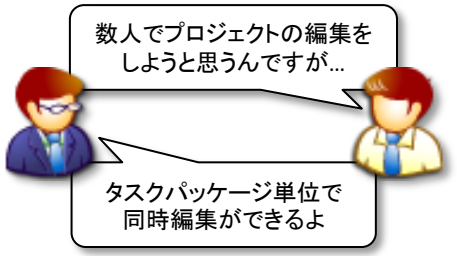
豊富な計画作成支援機能

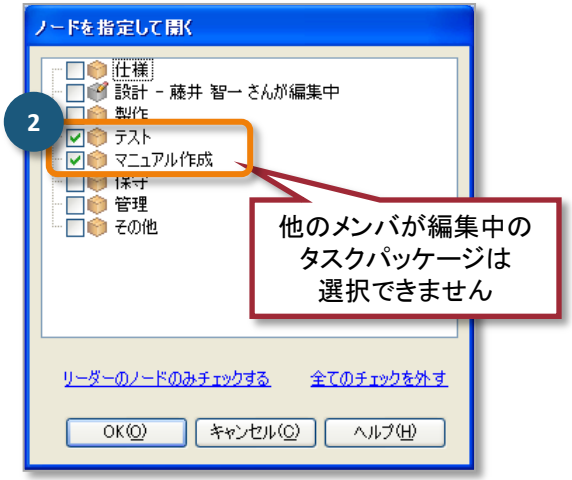
作業間の依存関係（リンク）や期間の自動設定、さらにコスト管理など、
計画作成を便利に実施するための機能について説明します。

複数メンバがプロジェクトを同時に編集する

タスクパッケージ毎に計画を編集するメンバを分担し、同時に計画の編集ができます。

Professional Edition のみの機能です。





1. [プロジェクトを開く]ダイアログでプロジェクトを選択し、[ノードを指定して開く](①)をチェックして[OK]をクリックします。
2. [ノードを指定して開く]ダイアログで編集するタスクをチェックし(②)、[OK]をクリックします。

タスクパッケージ単位で編集・閲覧が可能なため、複数のメンバが同時に計画テーブルの編集をすることができます。

アイコンの状態は以下のようになります。

- :編集可能
- :部分編集中
- :編集不可

ワンポイント活用法

部分編集にすることで、計画テーブルを開く時間の短縮や、計画テーブルの同時編集が可能になります。

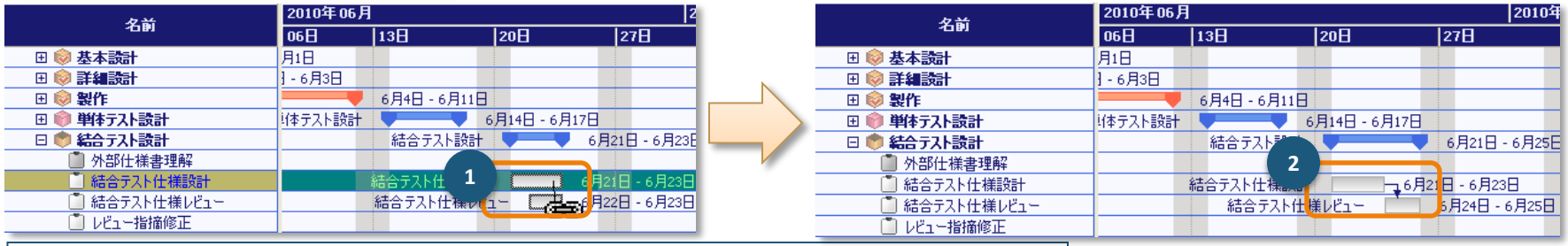
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

作業間の依存関係(リンク)を定義する

ノード間に依存関係(リンク)を定義することで、より実際的な計画を作成できます。計画変更の際のメンテナンスも簡単になります。

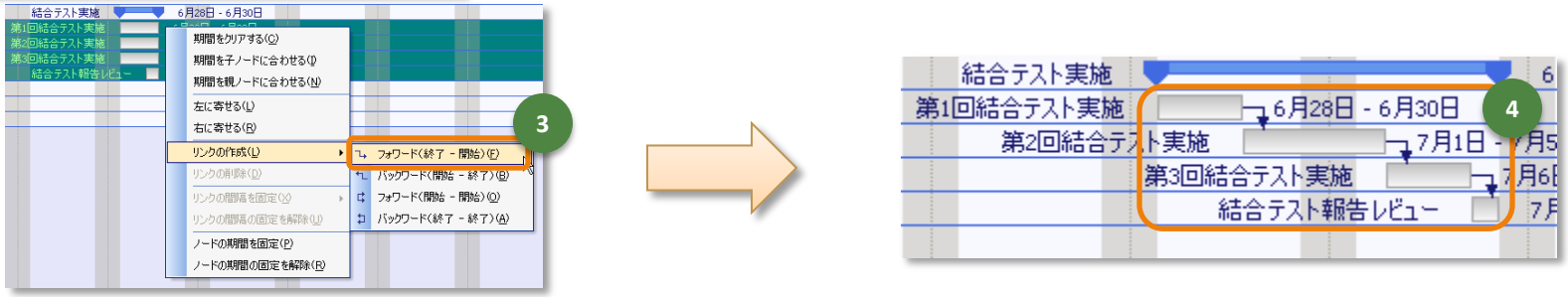
ここでは、リンク活用の代表的なケースを紹介します。

開始日を起点に作業間のリンクを定義する



1. ガントチャートを表示状態にします。
2. 起点となるノードを選択します。
3. 選択したままドラッグし、リンク先ノード(後続ノード)のガントチャートにドロップします(①)。
4. ノード間にリンクが設定され、計画期間の前後関係が自動的に調整されます(②)。

3ノード以上の間にリンクを設定する



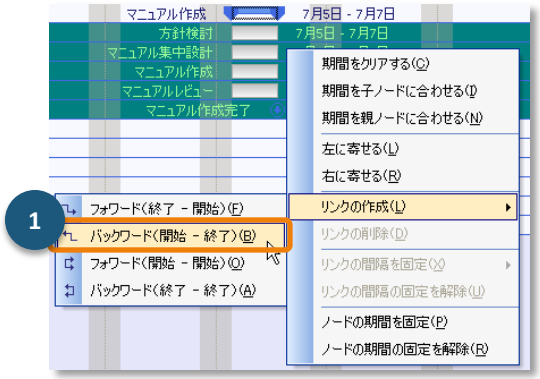
1. ガントチャートを表示状態にします。
2. リンクに含めるノードをすべて選択します。
3. 右クリックし、コンテキストメニューから[リンクの作成]-[フォワード(終了 ー 開始)]を選択します(③)。
4. 上のノードから順にリンクが作成され、前のノードを起点に期間が自動的に調整されます(④)。

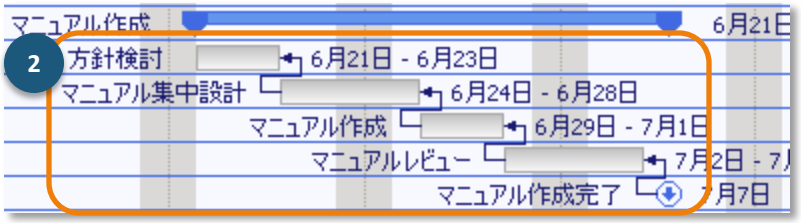
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

作業間の依存関係（リンク）を定義する－バックワード計画

納期が決まっていて、そこから計画を前方向に作成していく計画立案方法（バックワード計画））について紹介します。

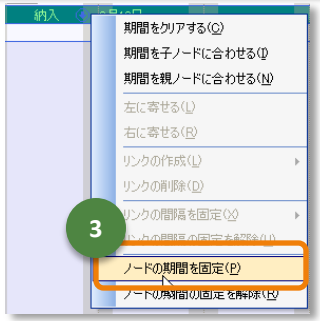
納期を起点にバックワードで計画を立てる

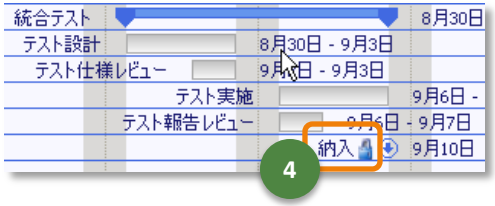


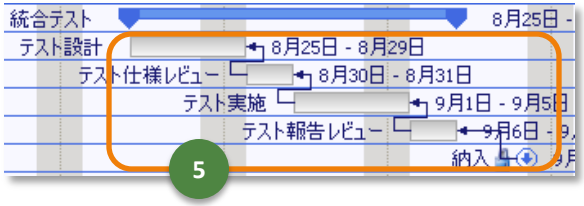


1. ガントチャートを表示状態にします。
2. リンクに含めるノードをすべて選択します。
3. 右クリックし、コンテキストメニューから[リンクの作成]-[バックワード（開始 ― 終了）]を選択します（①）。
下のノードから順にリンクが作成され、後のノードを起点に期間が自動的に調整されます（②）。

納期を固定にし、計画変更時に動かないようにする







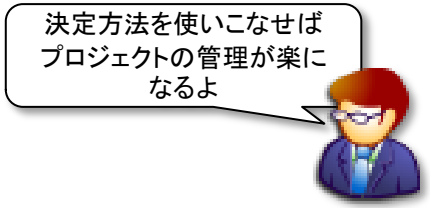
1. 納期（バックワード計画の起点となっているノード）を選択します。
2. 右クリックし、コンテキストメニューから[ノードの期間を固定]を選択します（③）。
3. ガントチャートに鍵のアイコンが表示されます（④）
4. リンクに含めるノードをすべて選択します。
5. 右クリックし、コンテキストメニューから[リンクの作成]-[バックワード（開始 ― 終了）]を選択します。
6. リンクが作成されます。前タスクの期間を後ろにずらしても、納期が勝手に変更されなくなります（⑤）。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

フィールド値の決定方法とは

各フィールドの値は直接入力するだけでなく、WBSの構成に応じて自動的に設定/更新されるように定義できます。
「フィールド値の決定方法」の内容に従って値が設定されることで、プロジェクトの効率的な計画作成・進捗管理につながります。

Professional Edition のみの機能です。



決定方法の種類

決定方法は各ノード・各フィールドに指定できます。主な決定方法としては以下のものがあります。

決定方法	内容
ユーザー入力値	プランナー上で値を直接入力します。
親ノードの値	親ノード（タスクパッケージ）の値を参照し、そのまま自ノードの値にします。 末端のノード（タスク）レベルでは詳細に計画を立てず、タスクパッケージのレベルで大まかに計画を立てて運用したい場合に便利です。
子ノードの合計値	子ノードの値を参照し、すべての子ノードの合計値を自ノードの値にします。 タスクパッケージの「計画工数」など積み上げ値を算出したい場合に便利です。
子ノードの最大値/最小値	子ノードの値を参照し、その中の最大値（または最小値）の値を自ノードの値にします。 タスクパッケージの「開始日」「終了日」などに適用すると便利です。

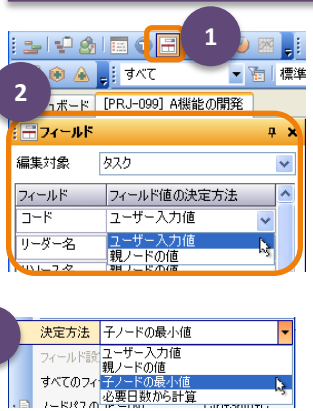
決定方法が設定可能なフィールド

値を直接入力できるフィールドは、決定方法の指定が可能です。
（開始日、終了日、計画工数など）
値が直接入力できないフィールド（必ず他のデータに基づき算出されるフィールド）は、決定方法が固定であり指定できません。
（実績工数、プロジェクト指標など）

デフォルトの決定方法は[プロジェクトの設定]ダイアログ-[フィールドの定義]タブの[デフォルトの決定方法]の設定が適用されます。

フィールドにより設定可能な決定方法が異なります。
詳細についてはTimeTracker FXヘルプをご覧ください。
また、「進捗率」フィールドには特別な決定方法が設定可能です。
進捗率の決定方法については本書p.64をご覧ください。

決定方法の設定



決定方法は以下の手順で設定します。

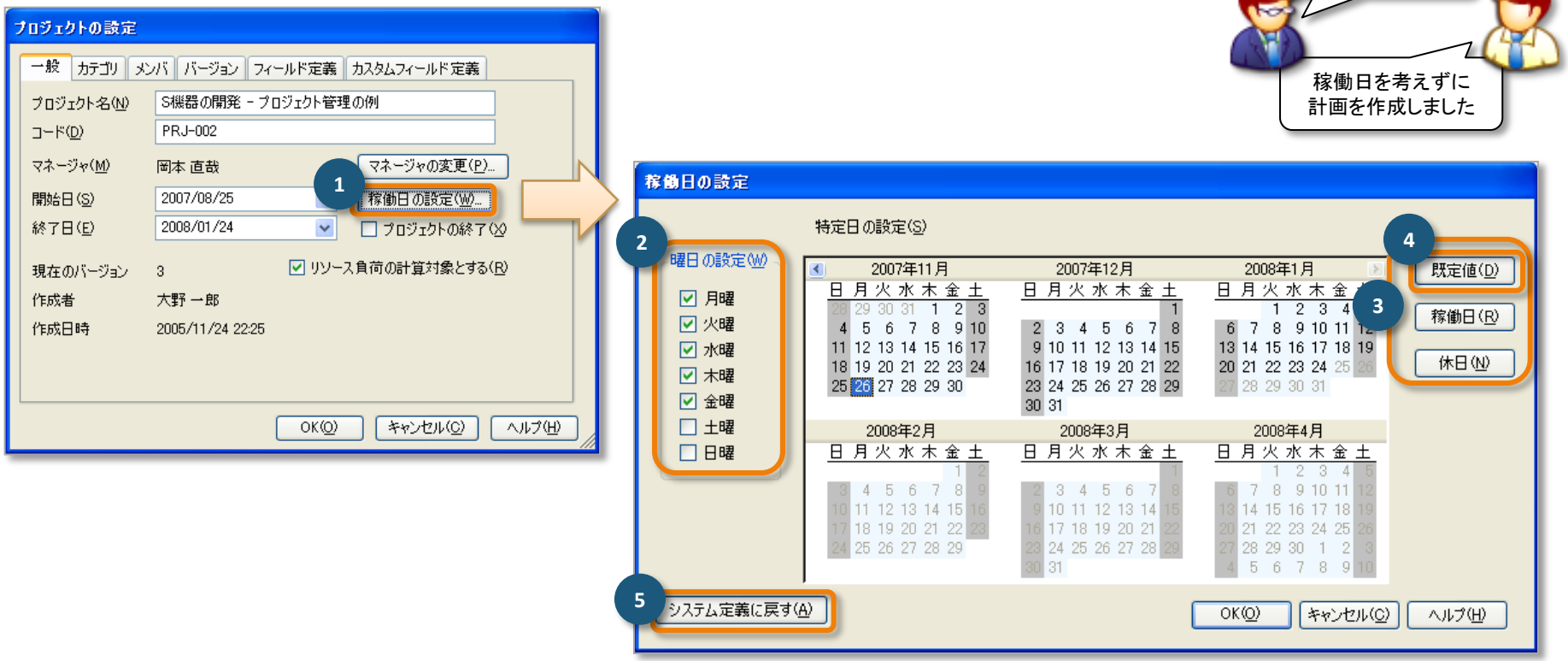
1. ボタンをクリックし、フィールドドッキングウィンドウを表示します（①）。
2. 決定方法を変更するノードを選択します。
3. 変更するフィールドの「フィールド値の決定方法」を選択項目から指定します（②）。
4. 「適用」をクリックして設定を確定します。

決定方法を変更するノードを右クリックし、表示されるコンテキストメニューから決定方法を選択する方法もあります（③）。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

稼働日とは

作業を行う対象となる日（営業日など）を、TimeTracker FXでは稼働日と表現しています。
ここでは稼働日の設定方法について説明します。



1. [プロジェクトの設定]ダイアログで[一般]を選択し、[稼働日の設定]（①）をクリックします。
2. [曜日の設定]（②）でチェックした曜日を、プロジェクト内で既定となる稼働日に設定します。
3. 日単位で設定を行う場合は、カレンダーから特定日を選択し、設定する内容（③）をクリックします。

[既定値]（④）をクリックすると、[曜日の設定]（②）で指定された稼働日になります。

[システム定義に戻す]（⑤）をクリックすると、Administratorで設定されているシステム全体の稼働日設定で上書きします。

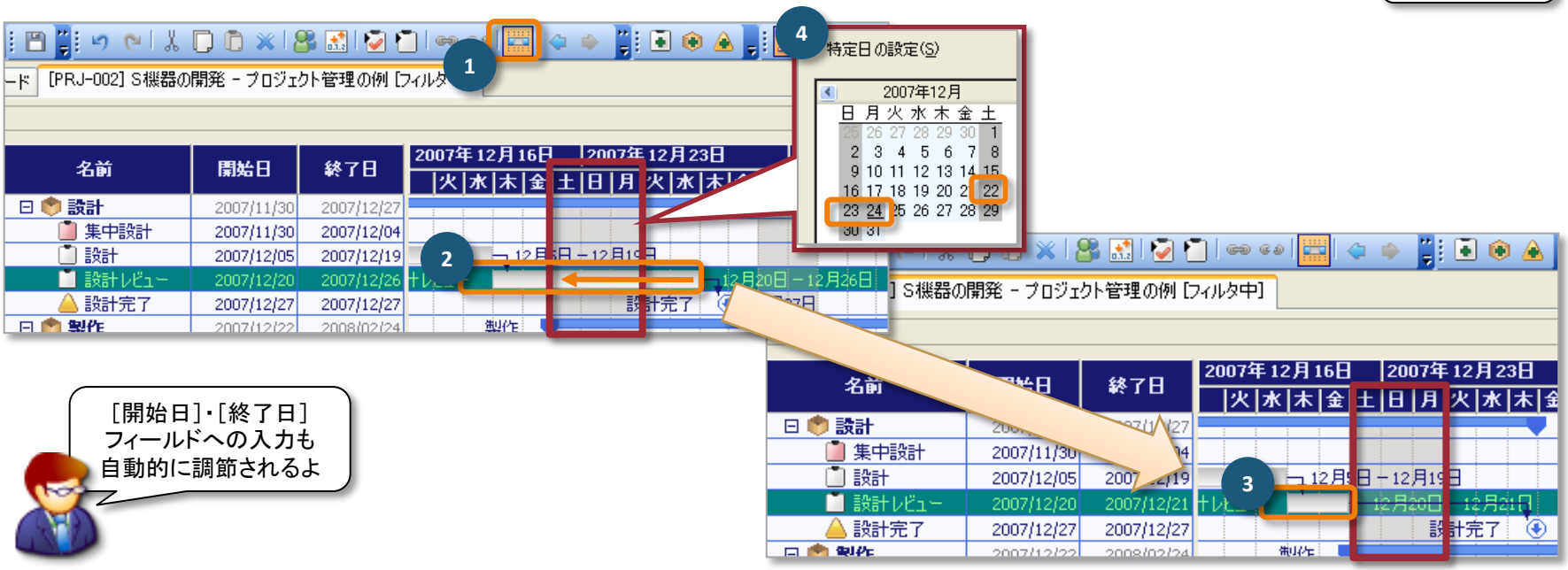
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

稼働日を考慮した計画を作成する

プロジェクト計画を作成したものの、開始日や終了日が休日になっていては不便です。
またタスク毎にカレンダーを確認しながら設定していくのも手間がかかります。
このような場合に、開始日や終了日を稼働日に合わせる便利な機能を紹介します。

稼働日に合わせてスケジューリング

⚠ 入力済みの[開始日]・[終了日]には適用されません。



1. [稼働日に合わせてスケジューリング]ボタン(①)をクリックします。
2. ガントチャート上から、ガントバーで開始日・終了日を変更します(②)。
3. 開始日・終了日を休日に設定しようとすると、自動的に稼働日に調節されます(③)。
   (この例では休日にあたる、2007/12/22～2007/12/24の期間(④)のいずれかに変更しようとしました。)

ℹ [稼働日に合わせてスケジューリング]を無効に設定し、上記と同様の操作をすると、稼働日以外の休日(④)に開始日・終了日を設定できるようになります。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

タスクの期間を自動的に設定する

タスクのスケジュールを[開始日]・[終了日]に入力する方法のほか、[開始日]・[計画工数]を決定するだけで、期間を自動的に設定することができます。

Professional Edition のみの機能です。

操作方法

1. [開始日](①)・[計画工数](②)を設定します。
2. [必要日数]が自動算出されます。
   [必要日数]の[決定方法]は、初期値で[計画工数から計算](③)になっています。
3. [終了日]の[決定方法]を、[必要日数から計算]に設定すると、[必要日数]から算出された日付が設定されます(④)。

[必要日数]の対象になるのは、稼働日のみです。

必要日数の計算

自動計算される[必要日数]には、以下のルールがあります。

リソース無し

1日8時間として、[計画工数]/8で計算します。
小数点以下は、切り上げます。

計画工数	必要日数
7	7/8 = 0.875 = 1
16	16/8 = 2

リソースあり

リソース内で最大の[計画工数]/8から計算します。
小数点以下は、切り上げます。

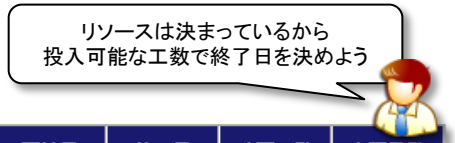
計画工数	必要日数
10, 7	10/8 = 1.25 = 2
20, 22	22/8 = 2.75 = 3

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

<活用例>開始日・終了日を自動的に設定する

自動設定を使って、期間を設定した利用例を紹介します。

終了日を自動設定



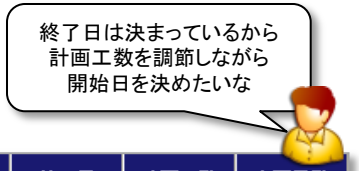
名前	リソース名	開始日	終了日	計画工数	必要日数
仕様	山本 博,岡本 直哉	2009/08/24	2009/09/02	44	6
要求ヒアリング	岡本 直哉	2009/08/24	2009/08/2	4	1
仕様作成	山本 博,岡本 直哉	2009/08/28	2009/09/0	30	3
仕様レビュー	山本 博,岡本 直哉	2009/09/02	2009/09/02	7	1
指摘修正	山本 博,岡本 直哉	2009/09/02	2009/09/02	3	1

1

[必要日数]の[決定方法]は、[計画工数から計算]になっています。

1. [開始日]・[リソース名]・[計画工数]を設定します。
2. [終了日]の[決定方法]を、[必要日数から計算]に設定します(①)。

開始日を自動設定



名前	リソース名	開始日	終了日	計画工数	必要日数
仕様	山本 博,岡本 直哉	2009/08/24	2009/09/02	44	7
要求ヒアリング	岡本 直哉	2009/08/2	09/08/24	4	1
仕様作成	岡本 直哉	2009/08/2	09/09/01	30	4
仕様レビュー	山本 博,岡本 直哉	2009/09/02	2009/09/02	7	1
指摘修正	山本 博	2009/09/02	2009/09/02	3	1

2

[必要日数]の[決定方法]は、[計画工数から計算]になっています。

1. [終了日]・[リソース名]・[計画工数]を設定します。
2. [開始日]の[決定方法]を、[必要日数から計算]に設定します(②)。

全工程の計画期間を自動決定

[必要日数]の[決定方法]は、[計画工数から計算]になっています。

1. [開始日]・[計画工数]を設定します。
2. [終了日]の[決定方法]を、[必要日数から計算]に設定します。
3. タスクを工程順にリンクで繋ぐと(③)、期間の前後関係を自動的に調節します(④)。

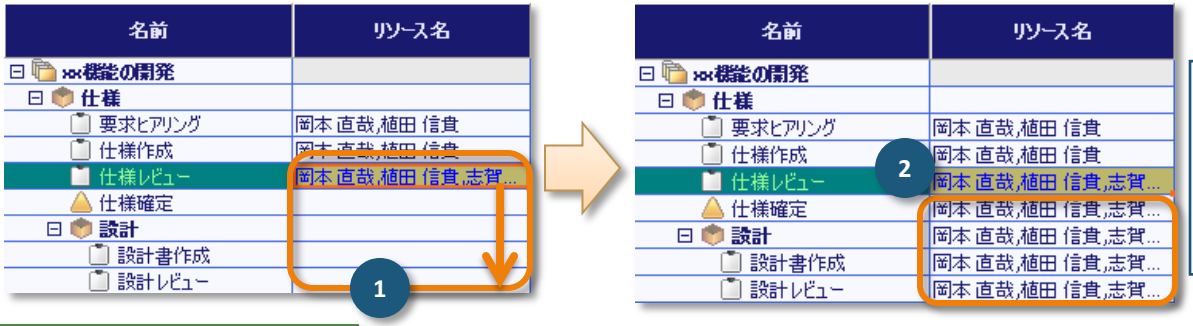
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

フィールドの値を隣接タスクにコピーする

選択フィールドの値と決定方法を、上方向・下方向へまとめてコピーします。

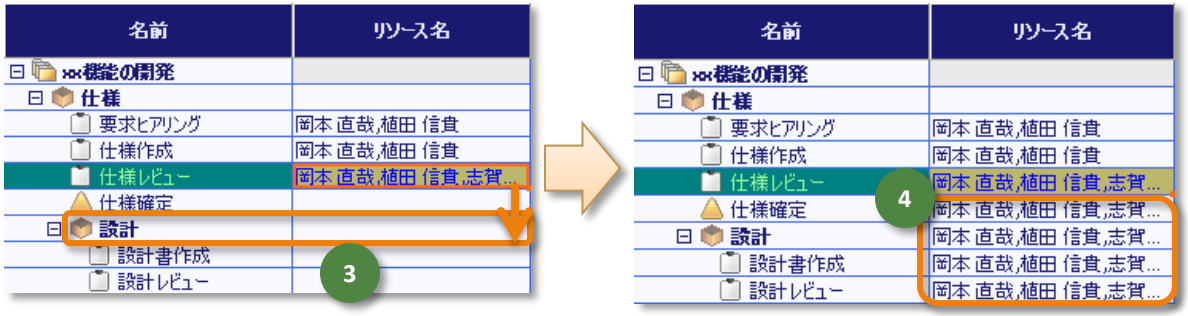
同じ設定内容が続く場合に使うと便利だよ

オートフィル



1. コピーするフィールドを選択し、セルの右下隅にカーソルを合わせます。
2. カーソルの表示が「＋」になった状態でクリックします。
3. そのままコピーしたい範囲にドラッグします（①）。
4. 値または決定方法がコピーされます（②）。

子ノードすべてにコピーする



1.コピーするフィールドを選択し、セルの右下隅にカーソルを合わせます。
2. カーソルの表示が「＋」になった状態でクリックします。
3. Shiftキーを押しながらタスクパッケージへドラッグします（③）。
4. タスクパッケージに含まれるすべての子ノードに値がコピーされます（④）。

フィールド値の決定方法とは

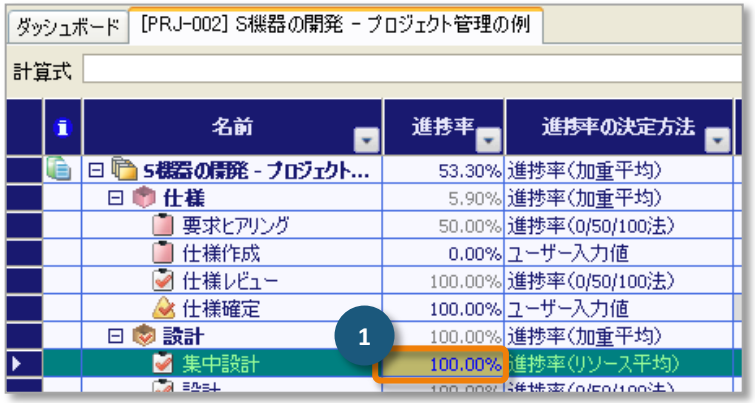
WBSの構成に応じて、各フィールド値をどのように算出するか（＝決定方法）の設定ができます。
例えば、タスクパッケージの「開始日」・「終了日」を子ノードの期間に合わせたり、上位ノードの期間に合わせたり、あるいはタスクパッケージのレベルで直接入力するといった設定が可能です。

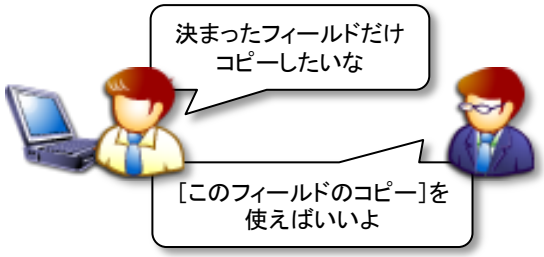
Professional Edition のみの機能です。
また、フィールドごとに設定可能な決定方法は異なります。詳細はTimeTracker FX ヘルプをご覧ください。

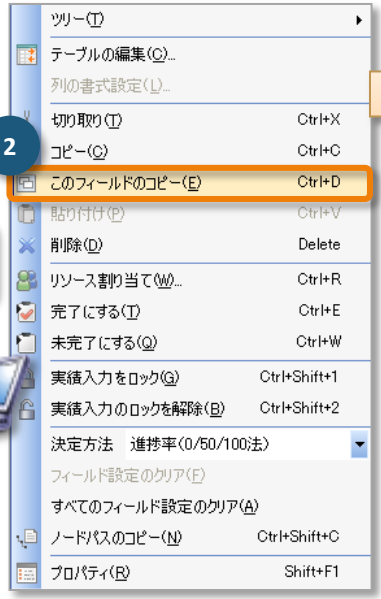
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

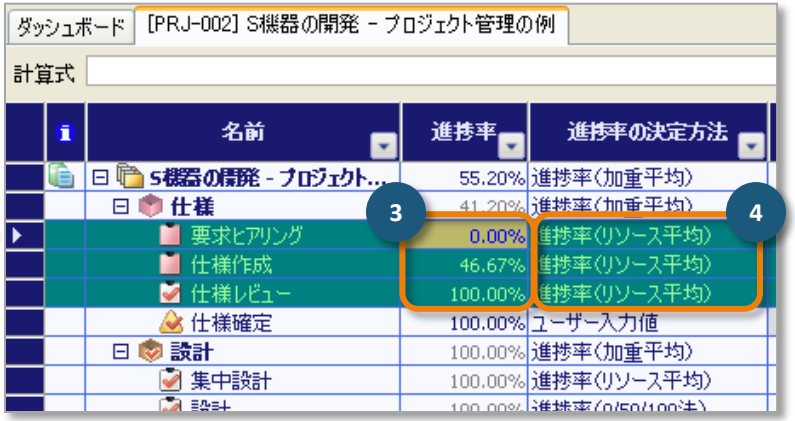
フィールド値の決定方法をコピーする

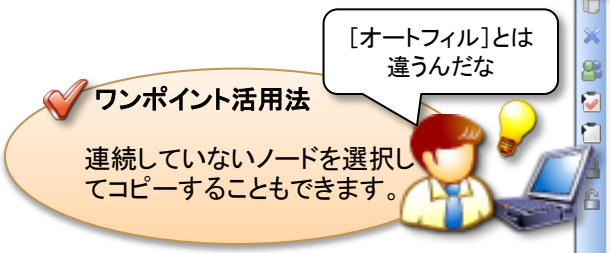
フィールド単位で、フィールド値の決定方法のコピーと貼り付けができます。











1. コピーをしたいフィールドを選択し(①)、コンテキストメニューの[このフィールドのコピー](②)をクリックします。
   (この例では集中設計の[進捗率]フィールドを選択)
2. コピー先のタスクを選択し、[貼り付け]を実行します(③)。
3. フィールド値の決定方法がコピーされます。

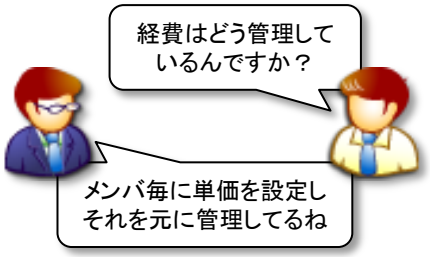
この例では[進捗率]のフィールド値の決定方法を表示する[進捗率の決定方法](④)もコピーされています。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

コストを管理する

プロジェクトのコスト管理をする場合に、必要な設定を行います。

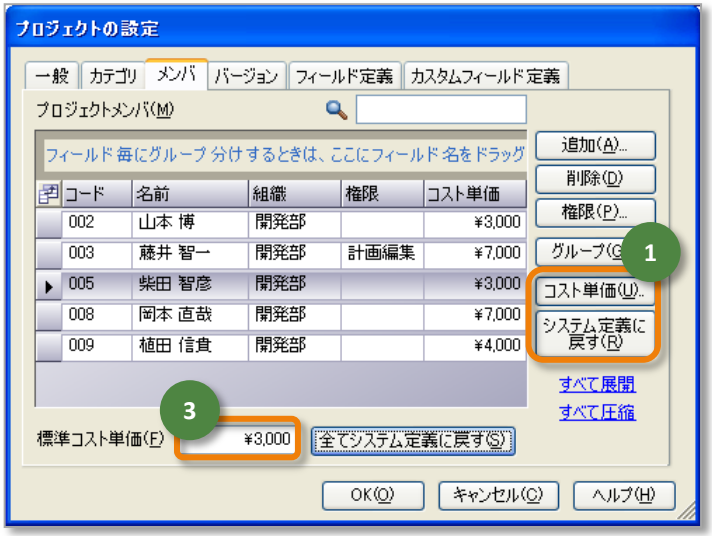
メンバ毎にコスト単価を設定することで、プロジェクトの任意のレベルでコスト管理ができます。



計画コスト

メンバに設定された[コスト単価]と、リソース毎の[計画工数]から算出されます。
[計画工数]が設定されていない場合、[計画コスト]は0になります。

設定手順



1. [プロジェクトの設定]ダイアログの[メンバ]を選択します。
2. プロジェクト独自のコストを設定する場合は、右のボタン(①)で設定します。
3. タスクの[計画工数](②)を設定します。

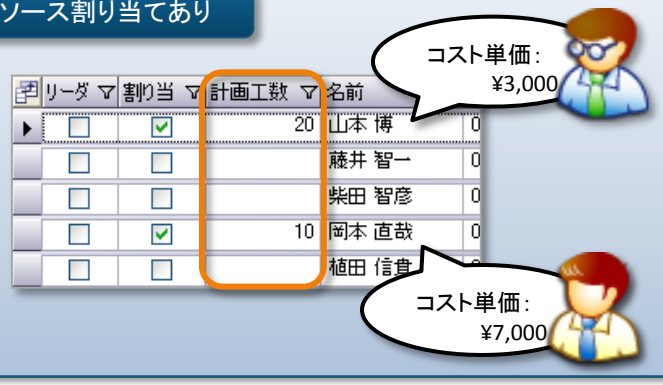
[標準コスト単価](③)はリソースが割り当てられていない場合の、[計画コスト]算出の基準になります。

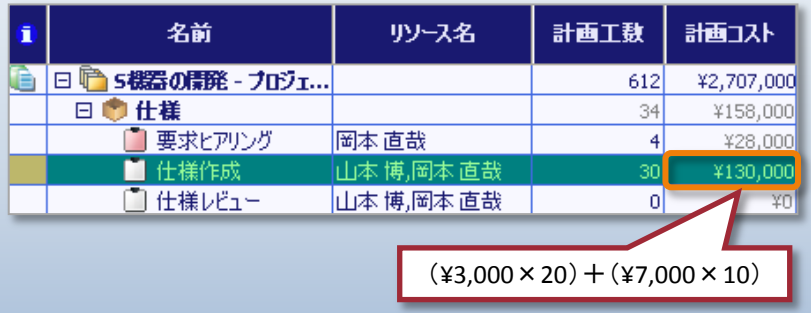
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

計画コストを算出する

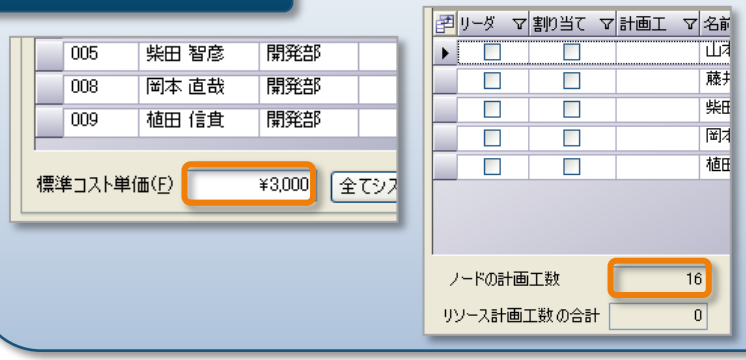
計画コストの算出例を紹介します。

リソース割り当てあり



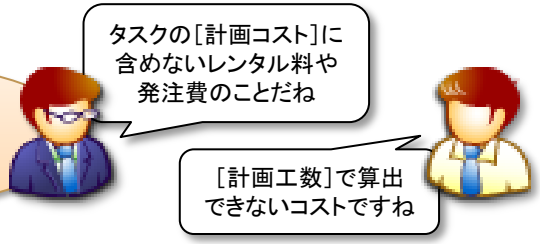


リソース割り当て無し



ワンポイント活用法

マイルストーンの[計画コスト]に値を設定することで、人員コスト以外で掛かった経費の算出ができます。



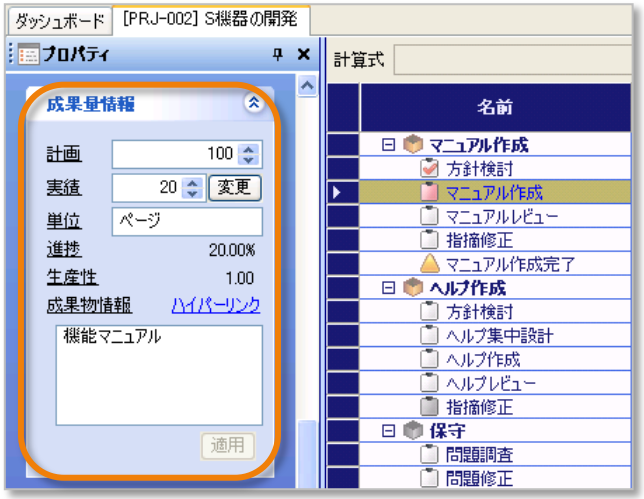
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

成果物を管理する

タスクやタスクパッケージに成果物を登録し、管理することが可能です。

ハイパーリンクを設定することでTimeTracker FXの画面から成果物を直接開いたり、成果物作成の進み具合を進捗管理に活用したりできます。

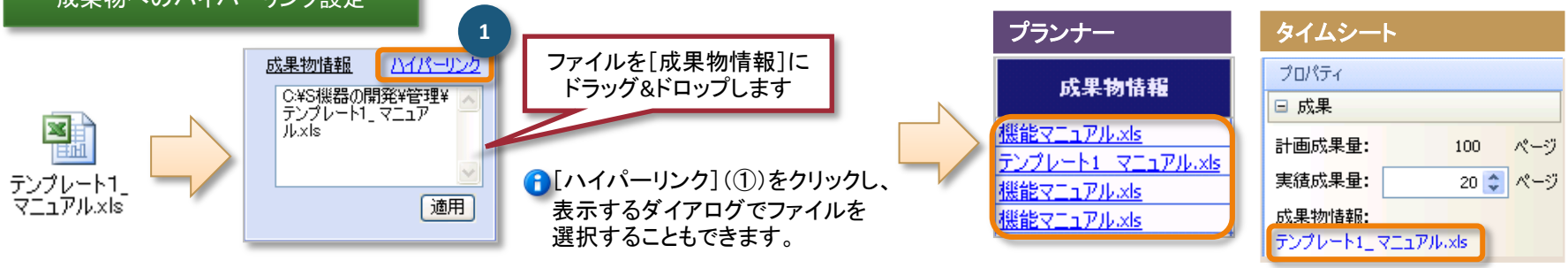
成果物情報の設定



1. タスク、またはタスクパッケージを選択し、[表示]－[ドッキングウィンドウ]－[プロパティ]を実行すると、[プロパティ]ドッキングウィンドウが表示されます。
2. [成果量情報]でノード毎の成果量、成果物情報の入力や進捗が確認できます。

フィールド	詳細
計画成果量	計画成果量を設定します。
実績成果量	タイムシートで入力された実績成果量（合計）を表示します。 スピンボタンまたは[変更]ボタンをクリックして、実績成果量の入力もできます。
規模単位	「ページ」や「項目」など成果量の単位を設定します。
進捗率	規模進捗率（[実績成果量]/[計画成果量]*100）を表示します。
生産性	生産性（[実績成果量]/[実績工数]）を表示します。
成果物情報	成果物に関する指示や情報を入力します。 ファイルパスやURLを設定するとリンクとして使用できます。

成果物へのハイパーリンク設定

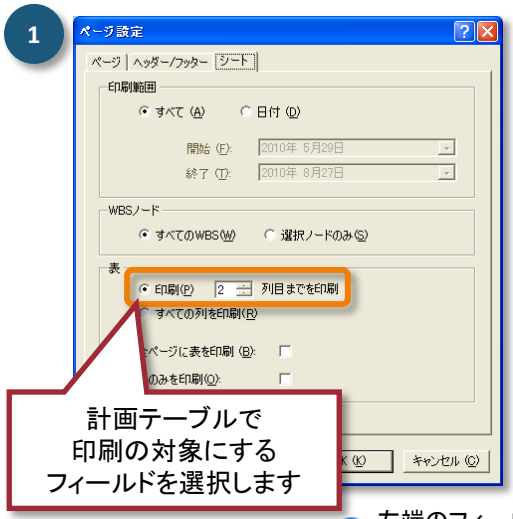


成果物の規模に基づく進捗管理については、p.73「規模進捗率で進捗を管理する」をご覧ください。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

ガントチャートを印刷する

作成したWBS・ガントチャートを印刷する方法を説明します。



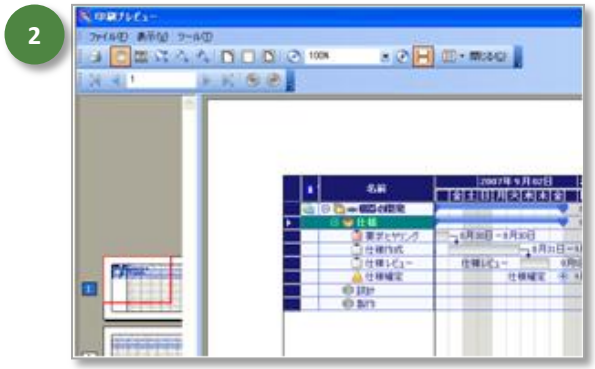
印刷の設定方法

1. [ファイル]-[ページ設定]を実行し、[ページ設定]ダイアログ(①)を表示します。
2. [ページ]タブ・[ヘッダー/フッター]タブ・[シート]タブの項目を設定します。
3. [OK]をクリックします。

ワンポイント活用法

計画のレビュー時や資料配布などに
印刷物として出力することができます。

左端のフィールドから対象にするので、事前に[テーブルの編集]から
フィールド位置の変更を行う必要があります。



(②)は[印刷レビュー]イメージです。

印刷の実行

1. [ファイル]-[印刷]を実行します。
2. あらかじめ設定された内容で計画が印刷されます。

[スナップショット]ボタン(③)で、[印刷プレビュー]画面イメージをグリップボードに
コピーすることもできます。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

プロジェクト計画作成

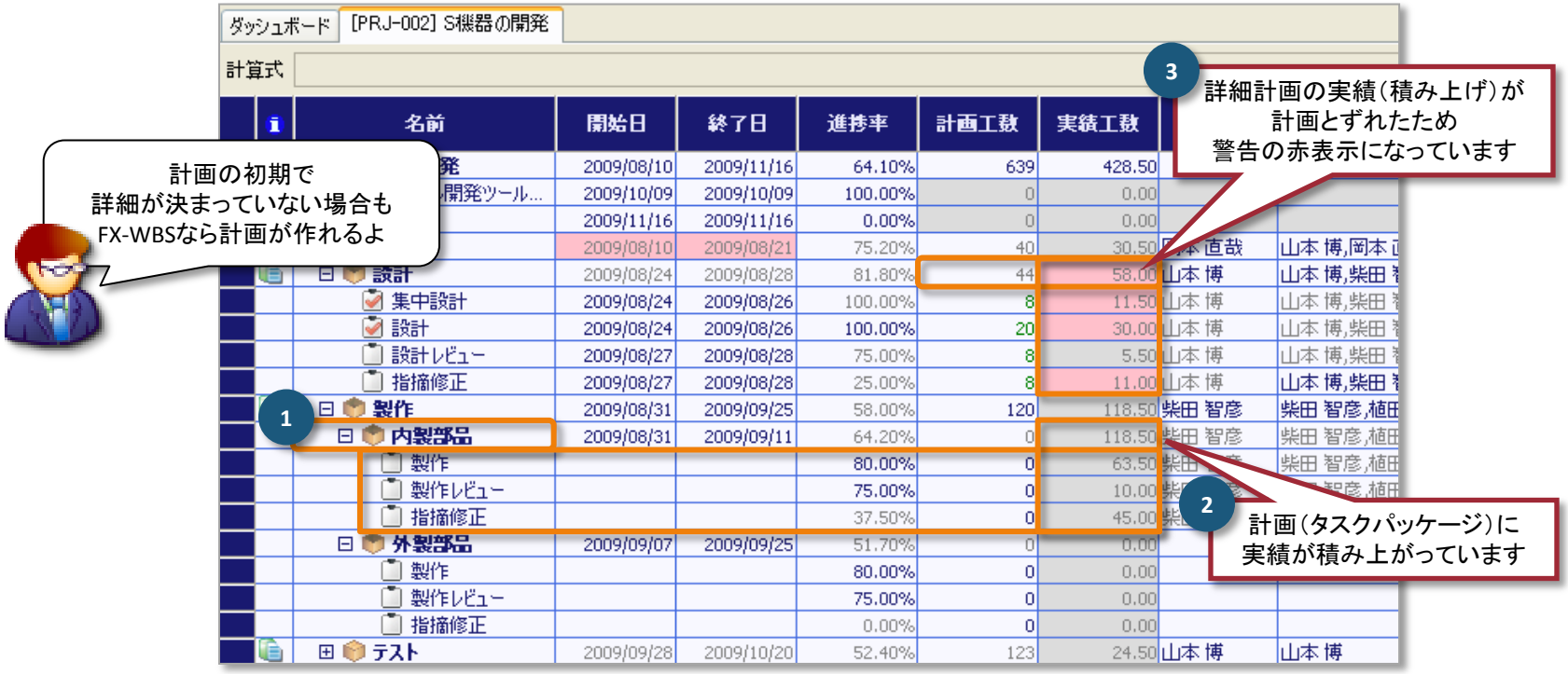
カスタマイズによる高度な計画作成機能

必要に応じてカスタマイズしながらWBSを作成したりフィールド値を設定する方法について説明します。

FX-WBS（Flexible WBS）とは

実際の運用に合わせた任意の粒度でプロジェクト計画を作成する仕組みであるFX-WBSについて説明します。

Professional Edition のみの機能です。



名前	開始日	終了日	進捗率	計画工数	実績工数		
発	2009/08/10	2009/11/16	64.10%	639	428.50		
開発ツール...	2009/10/09	2009/10/09	100.00%	0	0.00		
	2009/11/16	2009/11/16	0.00%	0	0.00		
	2009/08/10	2009/08/21	75.20%	40	30.50	直哉	山本 博,岡本
設計	2009/08/24	2009/08/28	81.80%	44	58.00	山本 博	山本 博,柴田
集中設計	2009/08/24	2009/08/26	100.00%	8	11.50	山本 博	山本 博,柴田
設計	2009/08/24	2009/08/26	100.00%	20	30.00	山本 博	山本 博,柴田
設計レビュー	2009/08/27	2009/08/28	75.00%	8	5.50	山本 博	山本 博,柴田
指摘修正	2009/08/27	2009/08/28	25.00%	8	11.00	山本 博	山本 博,柴田
製作	2009/08/31	2009/09/25	58.00%	120	118.50	柴田 智彦	柴田 智彦,植田
内製部品	2009/08/31	2009/09/11	64.20%	0	118.50	柴田 智彦	柴田 智彦,植田
製作			80.00%	0	63.50	柴田	柴田 智彦,植田
製作レビュー			75.00%	0	10.00	柴田	智彦,植田
指摘修正			37.50%	0	45.00	柴田	
外製部品	2009/09/07	2009/09/25	51.70%	0	0.00		
製作			80.00%	0	0.00		
製作レビュー			75.00%	0	0.00		
指摘修正			0.00%	0	0.00		
テスト	2009/09/28	2009/10/20	52.40%	123	24.50	山本 博	山本 博

従来タスク単位で細かく入力していた計画や進捗を、その上のタスクパッケージでも入力できるようにし、
任意の粒度で管理できるようにした仕組みです。
主な特徴として、以下のことが行えます。

- 計画は大まかに作成し（①）、工数実績は詳細に管理する（②）
- 全体計画と詳細計画のずれを許容し、警告を表示する（③）
- 各フィールド（列）ごとの計算方法を自由に設定する

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

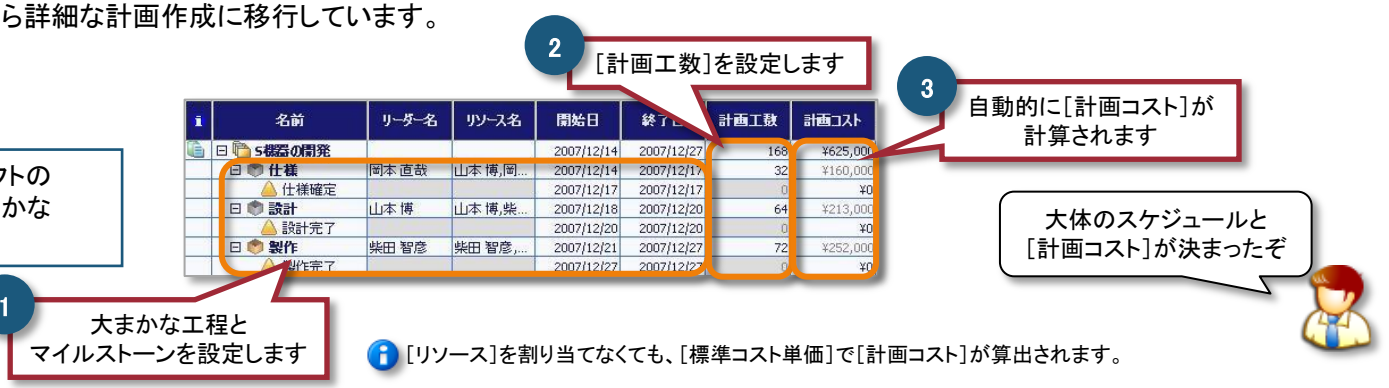
大まかな計画から詳細計画を作成する

FX-WBSを使った計画作成を、実際の現場で行われる手順を例にして見てみましょう。

ここでは大まかな計画を作成してから詳細な計画作成に移行しています。

大まかな計画作成(マネージャ)

プロジェクトマネージャは、プロジェクトの契約やこれまでの実績を元に、大まかなプロジェクト計画を作成します。



名前	リーダー名	リソース名	開始日	終了日	計画工数	計画コスト
S機器の開発			2007/12/14	2007/12/27	168	¥625,000
仕様	岡本 直哉	山本 博,岡...	2007/12/14	2007/12/17	32	¥160,000
仕様確定			2007/12/17	2007/12/17	0	¥0
設計	山本 博	山本 博,柴...	2007/12/18	2007/12/20	64	¥213,000
設計完了			2007/12/20	2007/12/20	0	¥0
製作	柴田 智彦	柴田 智彦,...	2007/12/21	2007/12/27	72	¥252,000
製作完了			2007/12/27	2007/12/27	0	¥0

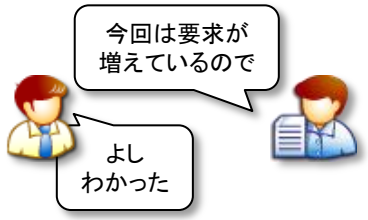
詳細計画作成(リーダー)

作業リーダが、工程の詳細な作業(タスク)の「洗い出し」・「見積り」・「スケジュール」を作成します。

名前	リーダー名	リソース名	開始日	終了日	計画工数	計画コスト
S機器の開発			2007/12/14	2007/12/27	168	¥
仕様	岡本 直哉	山本 博,	2007/12/14	2007/12/17	32	
要求ヒアリング		岡本 直哉	2007/12/14	2007/12/14	12	
仕様作成		山本 博,...	2007/12/14	2007/12/17	2	
仕様レビュー		山本 博	2007/12/18	2007/12/18	2	¥10,000
仕様確定			2007/12/18	2007/12/18	0	¥0
設計	山本 博	山本 博,...	2007/12/18	2007/12/20	64	¥213,000
設計完了			2007/12/20	2007/12/20	0	¥0
製作	柴田 智彦	柴田 智彦...	2007/12/21	2007/12/27	72	¥252,000
製作完了			2007/12/27	2007/12/27	0	¥0

計画レビュー(マネージャ・リーダー)

マネージャとリーダー間で、[計画工数]やスケジュールの調整を行い、業務を開始します。

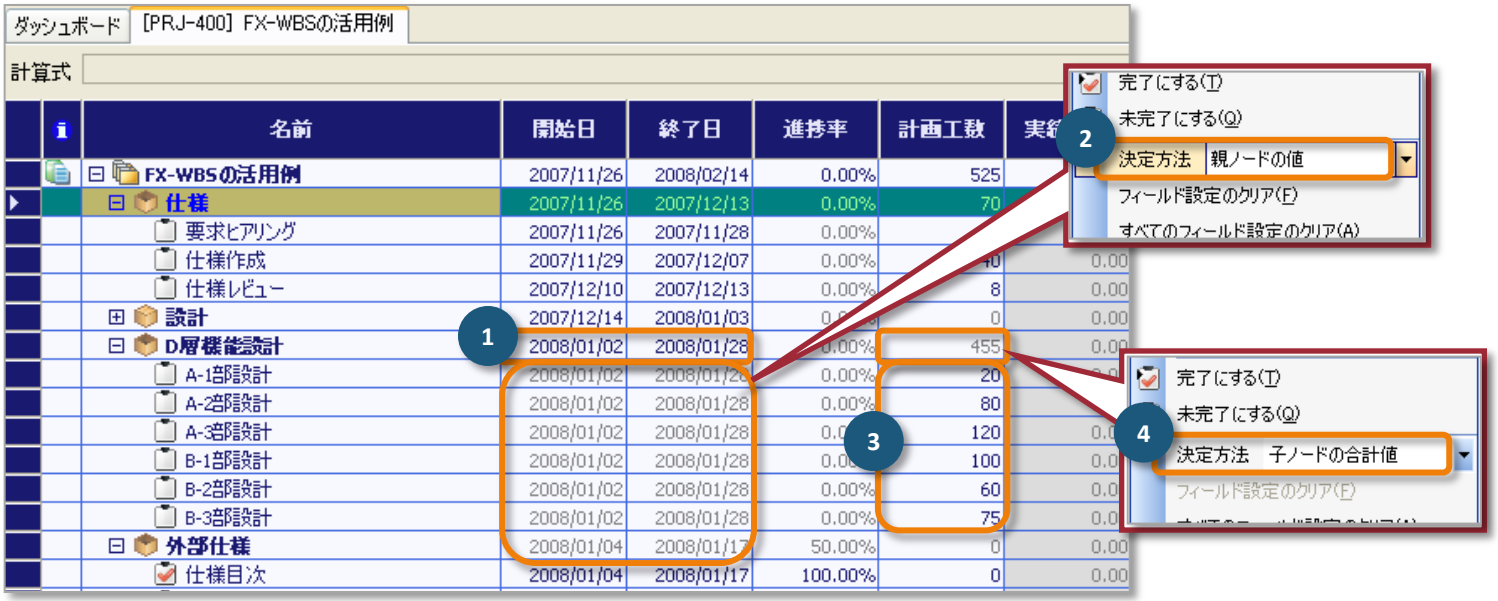


名前	リーダー名	リソース名	開始日	終了日	計画工数	計画コスト
S機器の開発			2007/12/14	2007/12/27	174	¥679,000
仕様	岡本 直哉	山本 博,岡...	2007/12/14	2007/12/18	38	¥214,000
要求ヒアリング		岡本 直哉	2007/12/14	2007/12/14	12	¥84,000
仕様作成		山本 博,岡...	2007/12/14	2007/12/17	24	¥120,000
仕様レビュー		山本 博,岡...	2007/12/18	2007/12/18	2	¥10,000
仕様確定			2007/12/18	2007/12/18	0	¥0
設計	山本 博	山本 博,柴...	2007/12/18	2007/12/20	64	¥213,000
設計完了			2007/12/20	2007/12/20	0	¥0
製作	柴田 智彦	柴田 智彦,...	2007/12/21	2007/12/27	72	¥252,000
製作完了			2007/12/27	2007/12/27	0	¥0

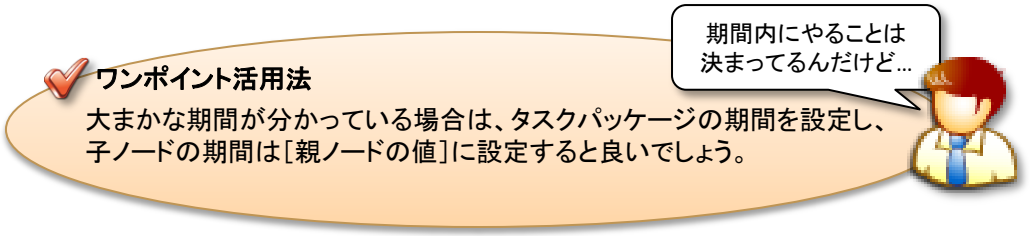
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

<活用例1>期間は大まかに、工数は詳細に管理する

期間内であればいつ実施してもよいが、各作業の工数は正確に把握する必要がある場合の活用例を説明します。



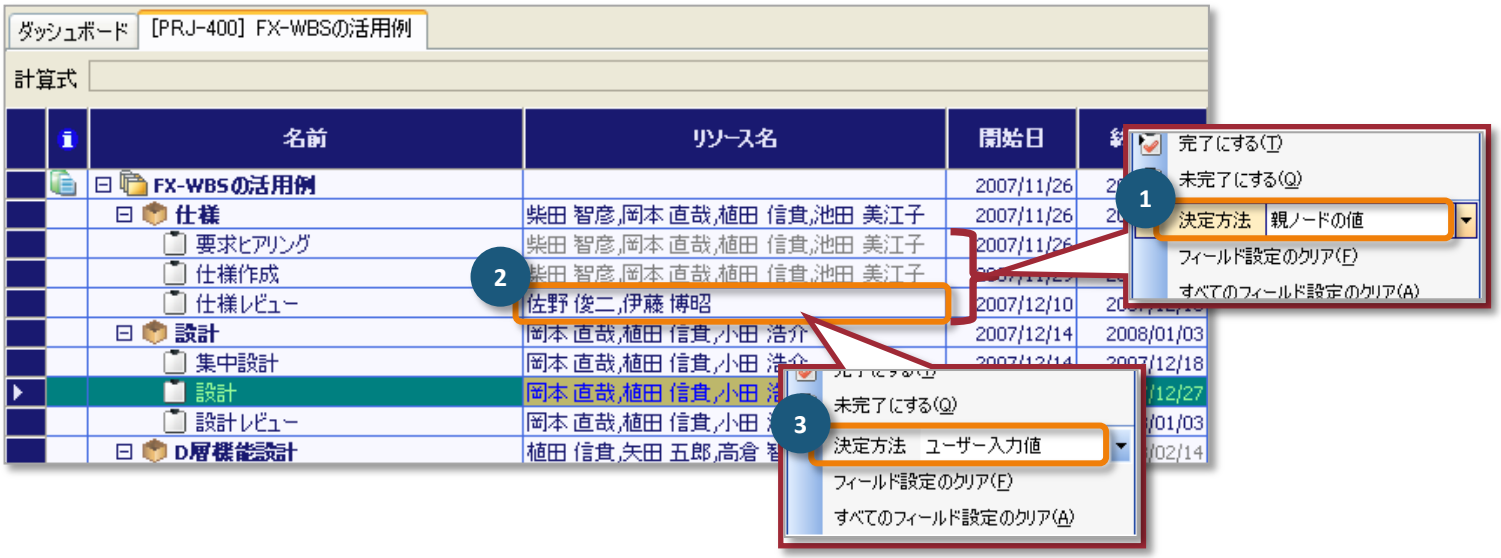
1. タスクパッケージに期間を設定します(①)。
2. タスクの期間の[決定方法]を、[親ノードの値]に設定します(②)。
3. タスクの[計画工数]に、直接工数を設定します(③)。
4. タスクパッケージの[計画工数]の[決定方法]を、[子ノードの合計値]に設定します(④)。



Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

<活用例2>タスクにより異なるリソースを割り当てる

タスクパッケージ以下にすべて同じリソースを割り当てた後、
一部のタスクに対して異なるリソースを割り当てる場合のFX-WBS活用例を説明します。



1. タスクパッケージ(この例では、[仕様])に[リソース名]を設定します。
2. 子ノード(この例では、[要求ヒアリング]・[仕様作成]・[仕様レビュー])の、[リソース名]の[決定方法]を[親ノードの値]に設定します(①)。
3. 違うリソースを割り当てる必要があるタスク(この例では、[仕様レビュー])を選択し、[リソース名]を設定します(②)。
4. [リソース名]を設定したタスクの、[決定方法]が[ユーザー入力値]に変更されます(③)。

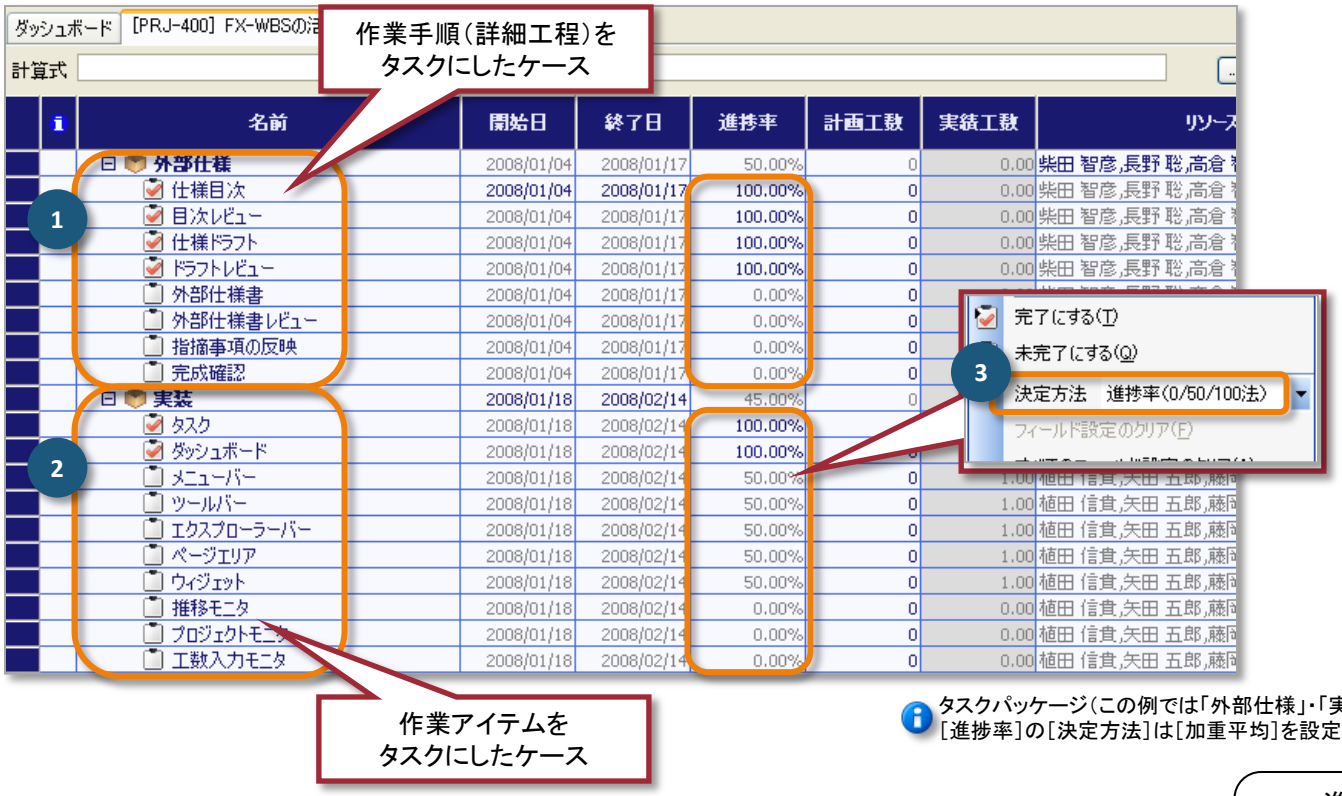
ワンポイント活用法

複数を選択し、まとめて設定した後でも、個別に設定を変えることができます。
より効率の良い入力方法を見つけると良いでしょう。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

<活用例3>タスクごとに進捗を細かく確認する

作業ステップを管理するようにして、タスク進捗を管理したい場合の、FX-WBSの活用例です。



名前	開始日	終了日	進捗率	計画工数	実績工数	リソース
外部仕様	2008/01/04	2008/01/17	50.00%	0	0.00	柴田 智彦,長野 聡,高倉
仕様目次	2008/01/04	2008/01/17	100.00%	0	0.00	柴田 智彦,長野 聡,高倉
目次レビュー	2008/01/04	2008/01/17	100.00%	0	0.00	柴田 智彦,長野 聡,高倉
仕様ドラフト	2008/01/04	2008/01/17	100.00%	0	0.00	柴田 智彦,長野 聡,高倉
ドラフトレビュー	2008/01/04	2008/01/17	100.00%	0	0.00	柴田 智彦,長野 聡,高倉
外部仕様書	2008/01/04	2008/01/17	0.00%	0		
外部仕様書レビュー	2008/01/04	2008/01/17	0.00%	0		
指摘事項の反映	2008/01/04	2008/01/17	0.00%	0		
完成確認	2008/01/04	2008/01/17	0.00%	0		
実装	2008/01/18	2008/02/14	45.00%	0		
タスク	2008/01/18	2008/02/14	100.00%			
ダッシュボード	2008/01/18	2008/02/14	100.00%			
メニューバー	2008/01/18	2008/02/14	50.00%	0	1.00	植田 信貴,矢田 五郎,藤
ツールバー	2008/01/18	2008/02/14	50.00%	0	1.00	植田 信貴,矢田 五郎,藤
エクスプローラーバー	2008/01/18	2008/02/14	50.00%	0	1.00	植田 信貴,矢田 五郎,藤
ページエリア	2008/01/18	2008/02/14	50.00%	0	1.00	植田 信貴,矢田 五郎,藤
ウィジェット	2008/01/18	2008/02/14	50.00%	0	1.00	植田 信貴,矢田 五郎,藤
推移モニタ	2008/01/18	2008/02/14	0.00%	0	0.00	植田 信貴,矢田 五郎,藤
プロジェクトモニタ	2008/01/18	2008/02/14	0.00%	0	0.00	植田 信貴,矢田 五郎,藤
工数入力モニタ	2008/01/18	2008/02/14	0.00%	0	0.00	植田 信貴,矢田 五郎,藤

タスクパッケージ(この例では「外部仕様」・「実装」)の、
[進捗率]の[決定方法]は[加重平均]を設定しています。

1. 作業手順(①)や、作業アイテム(②)毎にタスクを作成します。
2. [進捗率]の[決定方法]を、[0/50/100法]に設定します(③)。
3. タスクの[開始日]・[終了日]の[決定方法]を、[親ノードの値]に設定します。

進捗をタスク毎に
完了・未完了に設定すると
作業ステップのような
使い方ができるよ

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

WBSの粒度を見直す（タスク→タスクパッケージ）

タスク・タスクパッケージ・マイルストーンの各ノード間で種類を変更することができます。

FX-WBSと合わせ、プロジェクトの進行状態に応じた柔軟なWBSの変更が可能です。

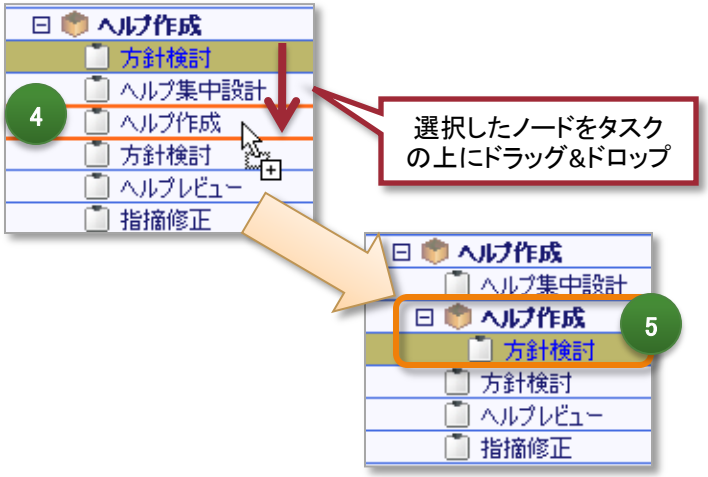
タスクを詳細化する

タスクとして定義していた作業を後で詳細化したい場合、
タスクパッケージに変更することができます。
［操作方法］
1. タスクを選択します（①）。
2. ［編集］メニューから［ノードの種類変更］-［タスクパッケージに変更］
　を実行します（②）。
3.「テスト実施」タスクがタスクパッケージに変更されました（③）。
　この下にタスクを作成できます。

選択したタスクに実績工数が存在する場合は、変更後のタスクパッケージの下に同名のタスクを作成し、そのタスクに実績工数が引き継がれます。

WBS操作によりタスクを自動的に詳細化する

タスクとして定義していた作業の下に既存の別のタスクやタスクパッケージを位置づけて階層化したい場合、
そのノード移動の操作だけでタスクがタスクパッケージに変更されます。上記のメニュー操作をあらかじめ行っておく必要がありません。
［操作の例］（「方針検討」タスクを「ヘルプ作成」タスクの子ノードにする）
1.「方針検討」タスクを選択してそのまま「ヘルプ作成」タスクにドラッグ&ドロップします。（④）。
2.「ヘルプ作成」タスクがタスクパッケージに変更され、その下階層に「方針検討」タスクが移動しました（⑤）。



Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

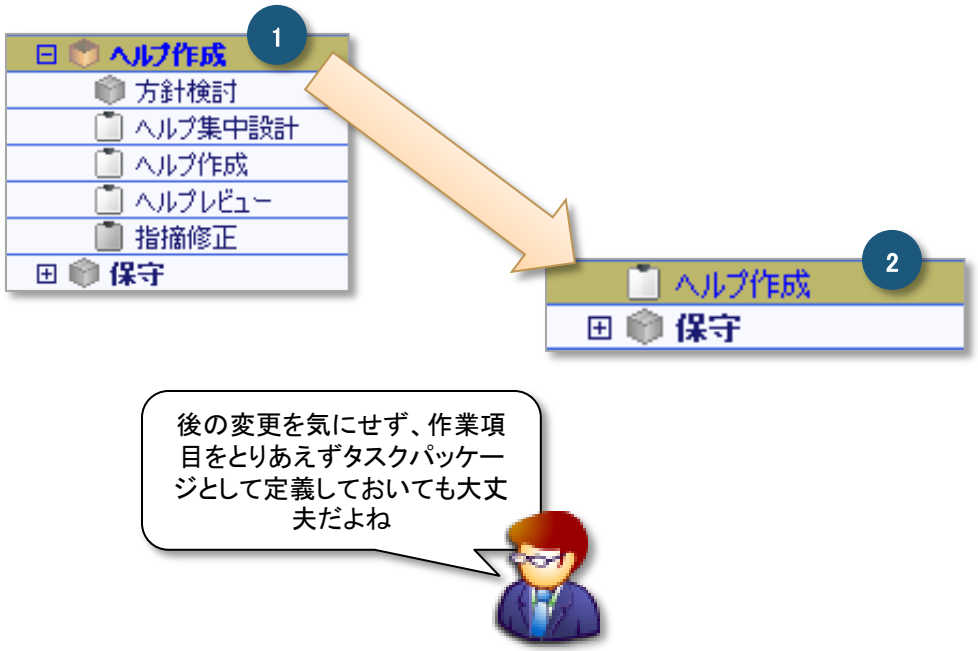
WBSの粒度を見直す（タスクパッケージ→タスク）

タスクパッケージとして作成したノードのレベルで直接実績工数を入力したい場合は、タスクパッケージをタスクに変更します。
WBSの粒度見直しなど、プロジェクト計画の変更にもスムーズに対応できます。

タスクパッケージをタスクにして直接実績入力対象にする

タスクパッケージとして定義していた作業をまとめて
1タスクとして直接実績入力対象としたい場合、
タスクに変更することができます。
［操作方法］
1. タスクパッケージを選択します（①）。
2. ［編集］メニューから［ノードの種類変更］-［タスクに変更］
を実行します。
3.「ヘルプ作成」タスクパッケージがタスクに変更されました（②）。
この下にあった子ノードはすべて削除されます。
4.「ヘルプ作成」タスクパッケージはタスクに変更されたので、この
ノードに割り当てられたメンバは実績工数を入力することが可能です。

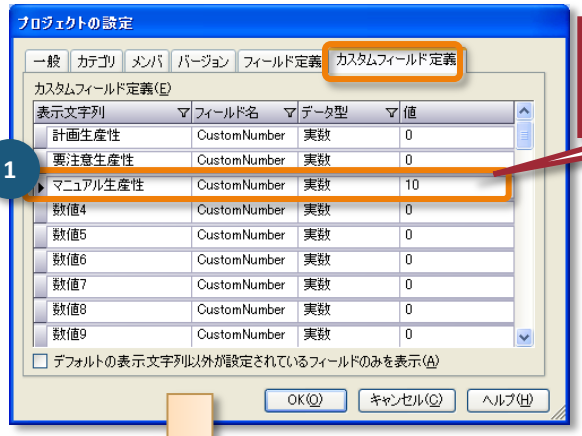
選択したタスクパッケージの子ノードに実績工数が存在するタスクが含まれる場合、
そのタスクパッケージをタスクに変更することはできません。



Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

計算式を活用して見積もる

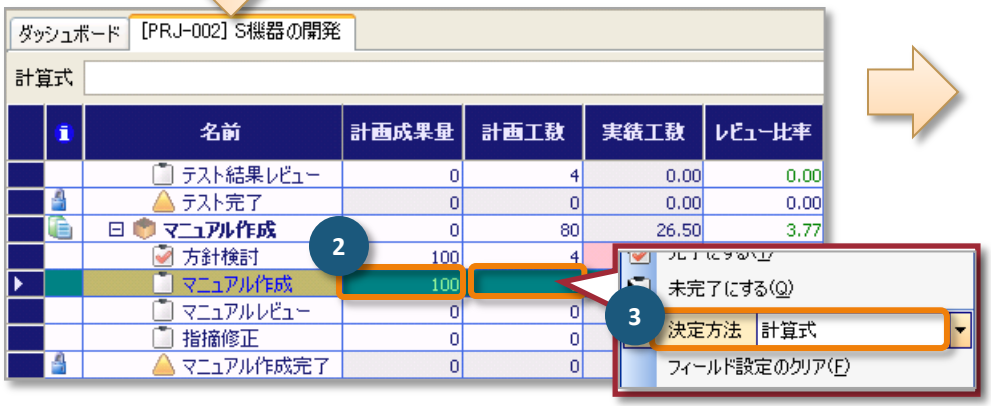
[計画工数]フィールドに[計算式]を設定する場合の利用例を紹介します。
基準になる生産性指標(1時間あたりの成果量)を使って[計画工数]を見積もった例を説明します。

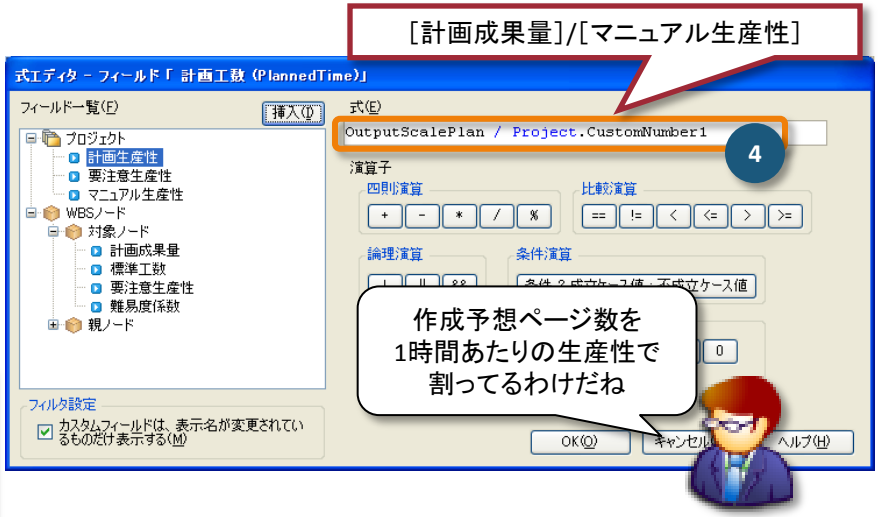


1時間あたりの
マニュアル生産性として
10ページを設定

カスタムフィールドで参照できるフィールドには制限があります。
[数値]で特に他のフィールドを参照しない場合は、[数値1]～[数値20]を使用してください。

参照可能なフィールドについては、[TimeTracker FX ヘルプ]をご参照ください。





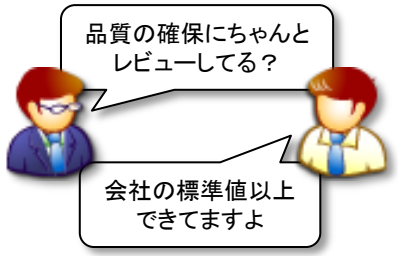
1. 生産性の指標となる値を、[プロジェクトのカスタムフィールド]の[数値]に設定します(①)。
   (この例では、[数値3]の[表示文字列]に[マニュアル生産性 (/h)]を設定しています。)
2. マニュアル作成予想ページ数を、[計画成果量]に設定します(②)。
3. マニュアル作成の[計画工数]の[決定方法]を[計算式] に設定し(③)、[式]を設定します(④)。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

計算式を活用して標準値との差異を比較する

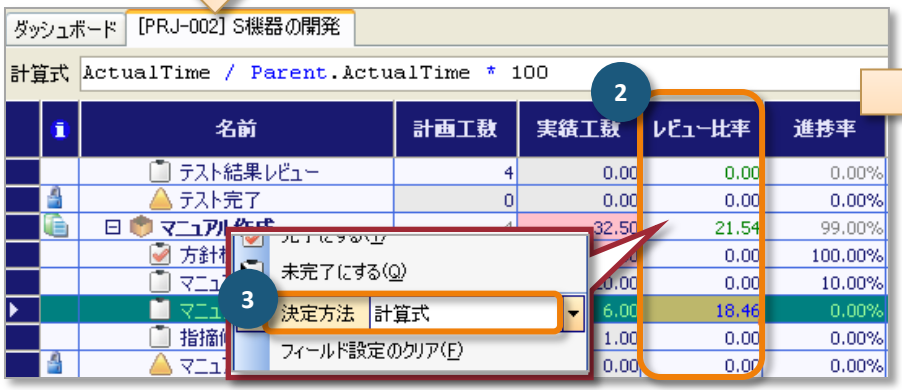
[ノードのカスタムフィールド]に[計算式]を設定する場合の利用例を紹介します。

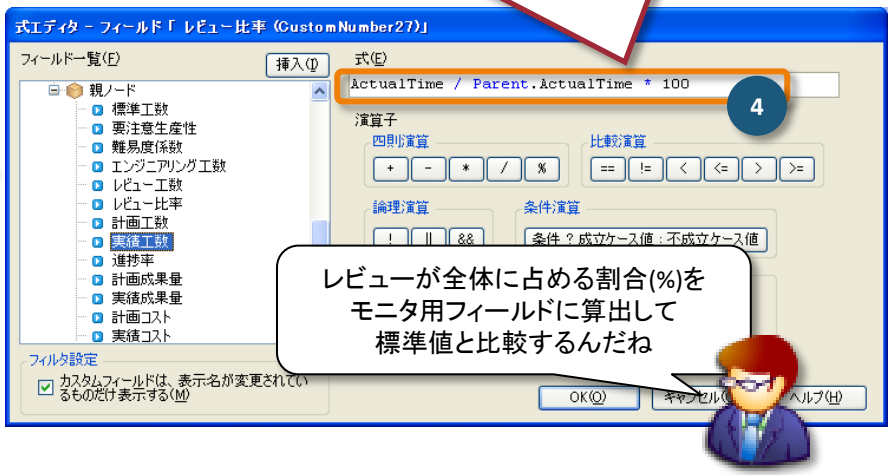
確認作業(レビュー等)の比率が一定の時間(標準値)以上実施されているか比較します。



[数値21]～[数値30]を使用してください。

マニュアルレビューの[実績工数]/マニュアル作成全体の[実績工数]
・マニュアル作成
・マニュアルレビュー





1. モニタ用のフィールドを、[ノードのカスタムフィールド]の[数値]に設定します(①)。
   (この例では、[数値21]の[表示文字列]に[レビュー比率]を設定しています。)
2. [テーブルの編集ダイアログ]から、[カスタムフィールド]－[レビュー比率]を、計画テーブルに追加します(②)。
3. マニュアルレビューの[レビュー比率]の[決定方法]を[計算式] に設定し(③)、[式]を設定します(④)。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

計算式を使いこなす

[計算式]を使う場合に知っておくと便利な機能を紹介します。

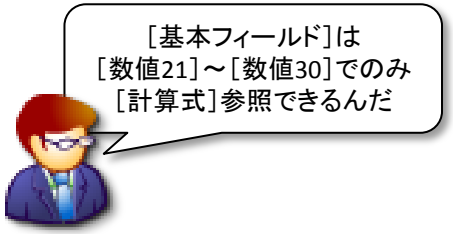
計算式バー

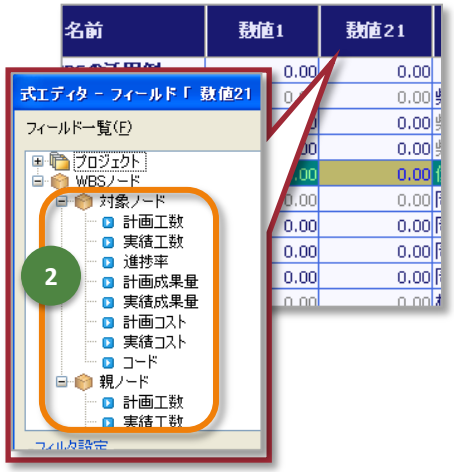
1. [フィールドの決定方法]に[計算式]が設定されているフィールドを選択すると、直接式を編集することができます(①)。
2. [...] をクリックすると、[式エディタ]ダイアログを開くことができます。

基本フィールドの参照

[ノードのカスタムフィールド]の[計算式]で、[基本フィールド](②)を参照する場合は、
[数値21]～[数値30]を使用して下さい。

[基本フィールド]を参照できる[ノードのカスタムフィールド]は、[数値21]～[数値30]です。
参照可能なフィールドについては、[TimeTracker FX ヘルプ]をご参照ください。





Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

カスタムフィールドとは

カスタムフィールドとは、ユーザが任意の名称を定義して利用できるプロジェクトの属性です。

Professional Edition のみの機能です。

カスタムフィールドには、[ノードのカスタムフィールド]と[プロジェクトのカスタムフィールド]の2種類があります。

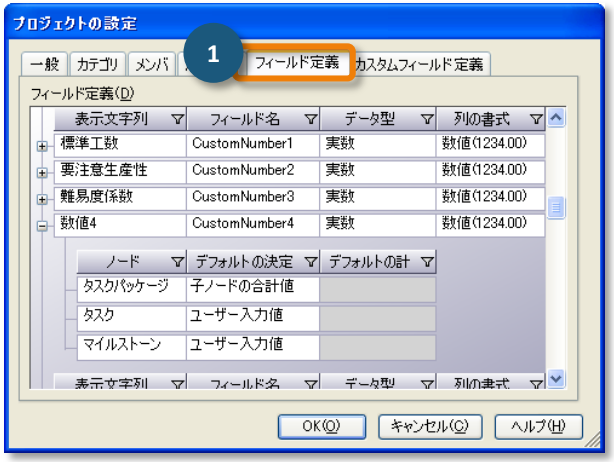
ノードのカスタムフィールド

ユーザがノードに対して、独自に設定するフィールドです。
[テーブルの編集]ダイアログで、通常のフィールドと同様に表示の有無が選択できます。
設定は[プロジェクトの設定]－[フィールド定義](①)で行います。

以下のような用途で活用できます。

- 数値フィールド
  難易度などの各種パラメータが入力でき、計算式で活用できます。
- 日付フィールド
  チェックポイントになる日付が入力でき、ガントバーに表示できます。
- テキストフィールド
  文字列が入力でき、見積もりの根拠などメモを残しておけます。

テキストフィールドは、[キーワードフィルタ]に設定することができます。

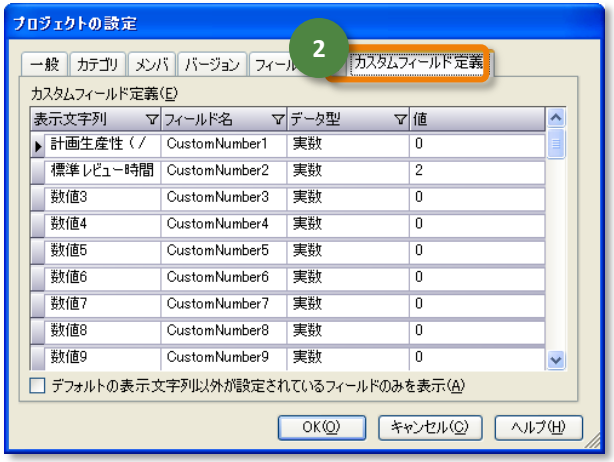


プロジェクトのカスタムフィールド

プロジェクト独自の定義であり、ノードに設定する計算式や各種の条件式にて、その値を参照できます。
設定は[プロジェクトの設定]－[カスタムフィールド定義](②)で行います。

標準工数を設定して、計画規模と掛け合わせることで計画工数を算出するなど、[計算式]で参照できるフィールドとして活用できます。

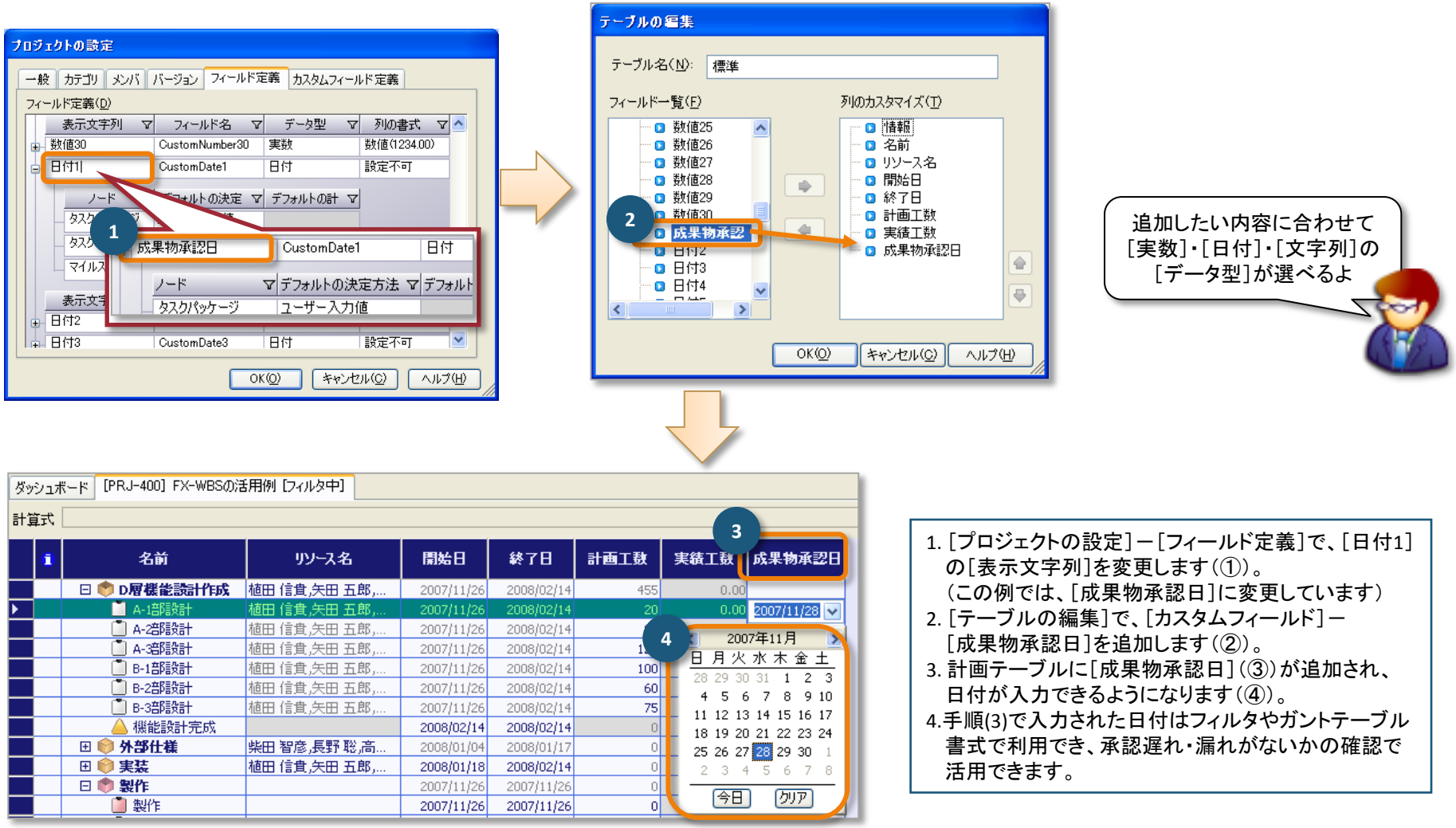
[計算式]については、以降の項目で説明します。



Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

ノードのカスタムフィールドを活用する

[ノードのカスタムフィールド]を利用した例を紹介します。



追加したい内容に合わせて[実数]・[日付]・[文字列]の[データ型]が選べるよ

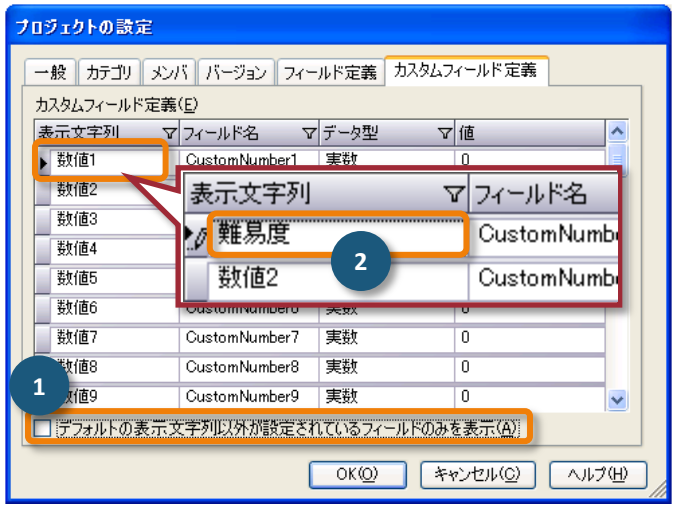
1. [プロジェクトの設定]－[フィールド定義]で、[日付1]の[表示文字列]を変更します(①)。
(この例では、[成果物承認日]に変更しています)
2. [テーブルの編集]で、[カスタムフィールド]－[成果物承認日]を追加します(②)。
3. 計画テーブルに[成果物承認日](③)が追加され、日付が入力できるようになります(④)。
4. 手順(3)で入力された日付はフィルタやガントテーブル書式で利用でき、承認遅れ・漏れがないかの確認で活用できます。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

プロジェクトのカスタムフィールドを活用する

[プロジェクトのカスタムフィールド]の定義を作成した例を紹介します。

ここで作成した[プロジェクトのカスタムフィールド]の定義が[計算式]で使えるようになります。



1.[プロジェクトの設定]－[カスタムフィールド定義]で、
　[デフォルトの表示文字列以外が設定されているフィールドのみ表示]のチェックを外します(①)。
2.[数値1]の[表示文字列]を 変更します。(この例では、[難易度]に変更しています(②))
3.[計算式]で、[式エディタ]ダイアログ(③)を開くと、
　[フィールド一覧]に[難易度] が表示されるようになります(④)。
　(この例では、プランナーの[計画工数]フィールドの値を[計算式]で設定しています)

作成したカスタムフィールドは
フィルタやガントテーブル書式
でも使えるよ

[計算式]については、以降の項目で説明します。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

フィールド書式設定を活用する

数値の列には、桁区切りや小数点以下の桁数など任意の書式が設定できます。
独自に定義した数値のカスタムフィールドに内容に応じた書式を設定し、さらに便利に活用してみましょう。

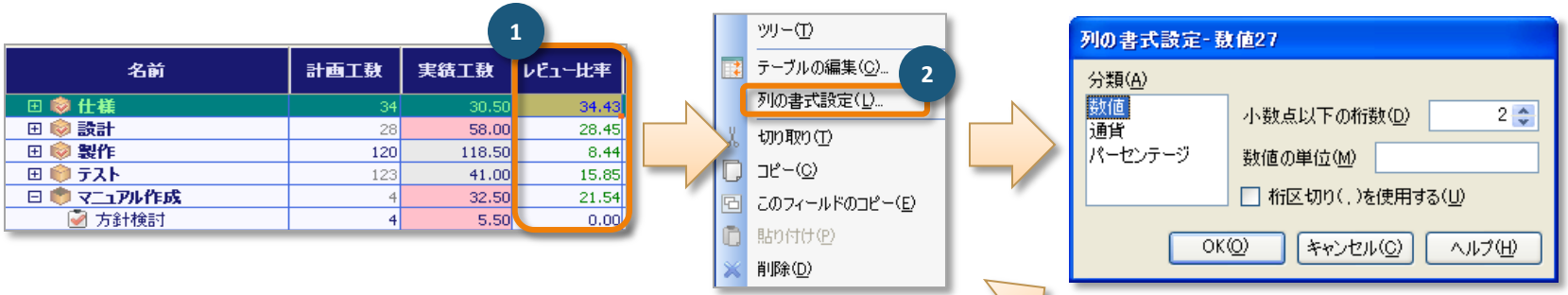
Professional Edition のみの機能です。

カスタムフィールド以外の通常の数値フィールド（計画工数など）にも、書式が設定可能です。

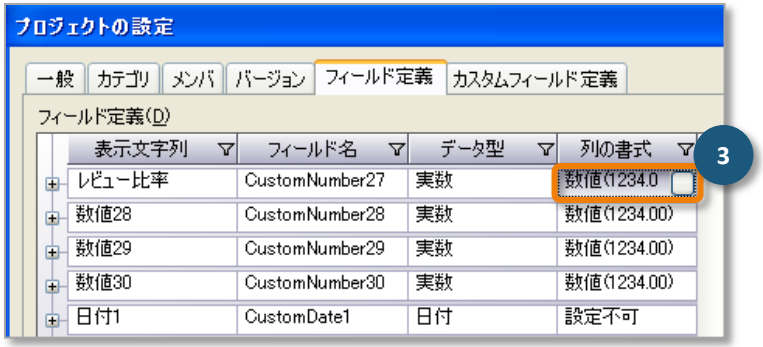
書式を設定すると、
値の意味が分かりやすくなるね。

フィールド書式を設定するには、以下の2通りあります。

数値の列（下図では「レビュー比率」（カスタムフィールド）を選択し、右クリックします（①）。
コンテキストメニューから［列の書式設定］をクリックします（②）。



［プロジェクトの設定］ダイアログの［フィールド定義］タブで、
書式を設定したいフィールドの［列の書式］列を選択します。
［列の書式］列内のボタンをクリックします（③）。



設定可能な書式の内容は以下の通りです。

分類	設定内容
数値	小数点以下の桁数、数値の単位（文字列）、桁区切り(,)の有無が設定できます。
通貨	小数点以下の桁数、通貨記号（¥, $）が設定できます。自動的に桁区切り(,)が設定されます。
パーセンテージ	小数点以下の桁数が設定できます。数値の後に「%」が付加されます。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

プロジェクト計画作成

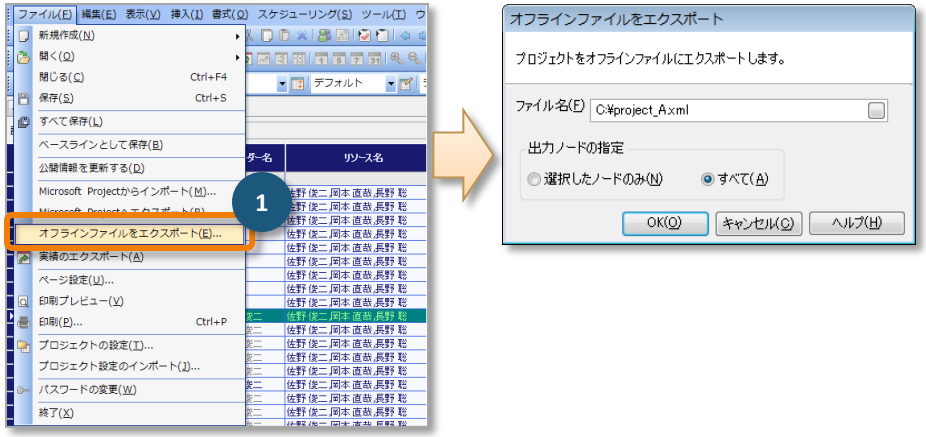
オフラインでの活用

オフライン機能を活用して、サーバに接続していない状態でも
プロジェクト計画や進捗状況を確認する方法を説明します。

オフラインファイルを活用する

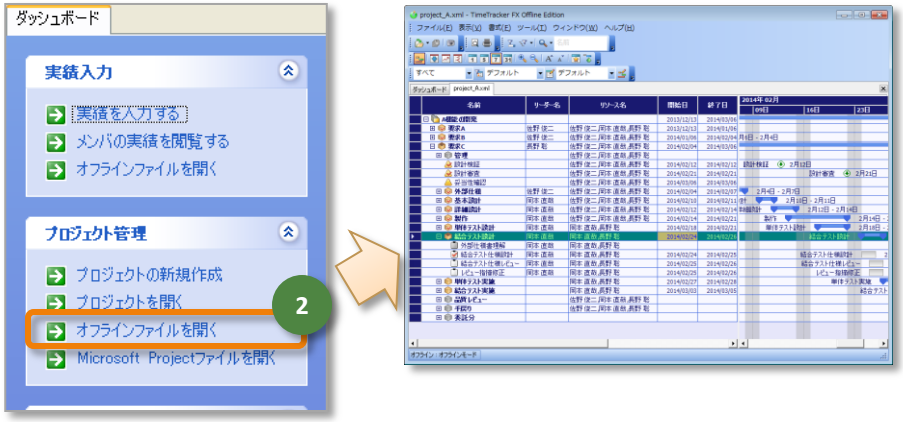
プランナーで作成したプロジェクトの内容は、オフラインファイルとして出力できます。
これにより、出先などサーバ（データベース）へ接続できない場合でもプロジェクト計画や進捗データの確認が可能です。
関係者間でプロジェクト情報を共有したり、委託先からの進捗報告をオフラインファイルで受け取るなど
TimeTracker FXの活用の幅がさらに広がります。

オフラインファイルを出力する



1. オフラインファイルを出力するプロジェクトを開きます。
2. [ファイル]メニューの[オフラインファイルをエクスポート]を選択します（①）。
3. ファイルの出力場所と出力するノードの範囲を指定します。
4. [OK]ボタンをクリックするとオフラインファイルを出力します。

オフラインファイルを閲覧する



1. ダッシュボードの[プロジェクト管理]－[オフラインファイルを開く]を選択します（②）。
2. 閲覧するオフラインファイルを指定します。

開いたプロジェクトは閲覧のみ可能です。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

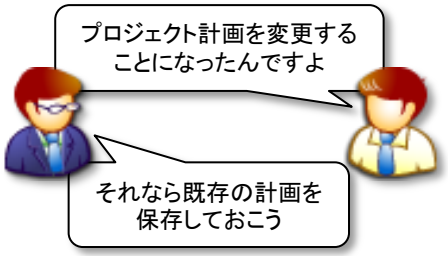
プロジェクト計画作成

プロジェクト計画の履歴管理

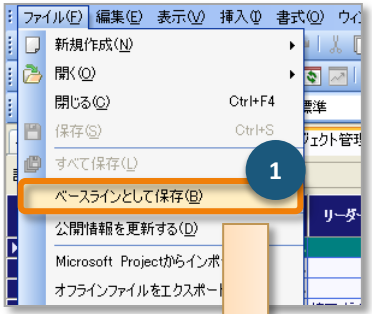
ベースライン機能を活用して、過去の計画を参照したり現在の計画と比較する方法を説明します。

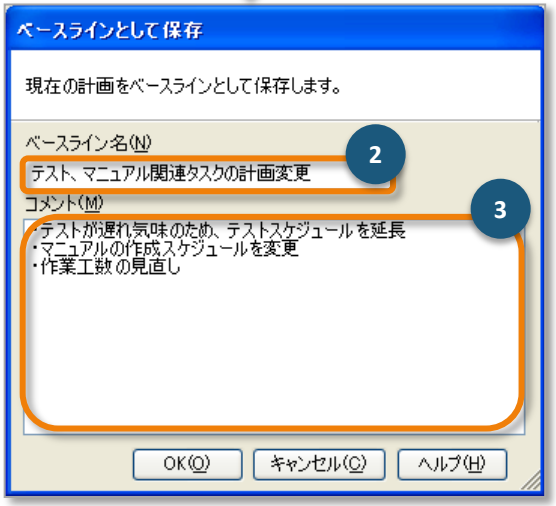
計画を保存して後で参照できるようにする

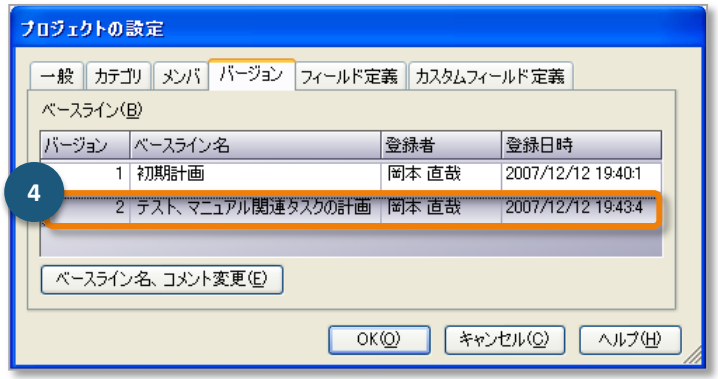
ある時点での計画を保存しておくことができ、保存した計画を[ベースライン]と呼びます。
[ベースライン]には各ノードの計画期間・工数が保存され、いつでも過去と現在の計画を比較できます。



ベースラインの操作方法





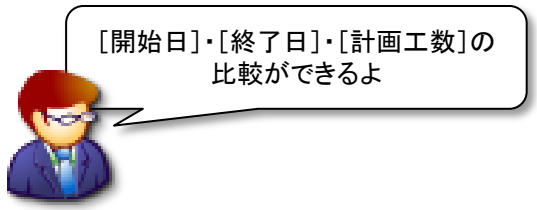


1. [ファイル]－[ベースラインとして保存]をクリックします(①)。
2. [ベースライン名](②)・[コメント](③)を入力し、[OK]をクリックします。
3. [プロジェクトの設定]－[バージョン]タブ(④)と、ベースラインの一覧(⑤)に保存したベースラインが追加されます。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

ベースラインと現在の計画を計画テーブルで比較する

[ベースライン]の表示をした場合に、計画テーブルで比較できるものを紹介します。



[ベースライン]の情報を表示するフィールド(③)は、
[ベースライン]の表示]をオフにするとデータが非表示になります。

1. [ベースラインの表示]ボタン(①)をクリックし、[テーブル]ドロップダウンリストから[ベースライン](②)をクリックします。
2. 計画テーブルが現在の計画と過去の計画(ベースライン)を、比較するためテーブルに切り替わります。
3. [ベースライン]に保存されている情報(③)が、以下のフィールドに表示されます。
   - [ベースラインの開始日]
   - [ベースラインの終了日]
   - [ベースラインの計画工数]

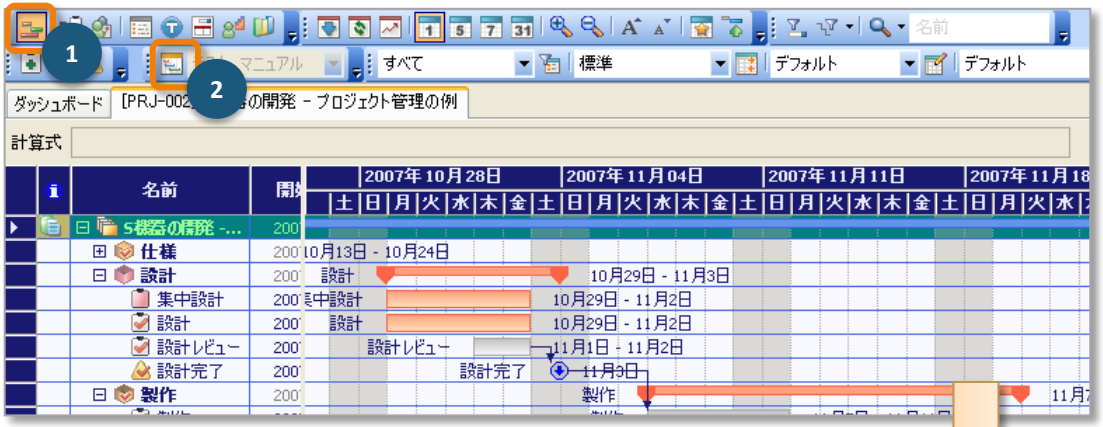
[テーブル]－[ベースライン]は、Professional Edition のみの機能です。

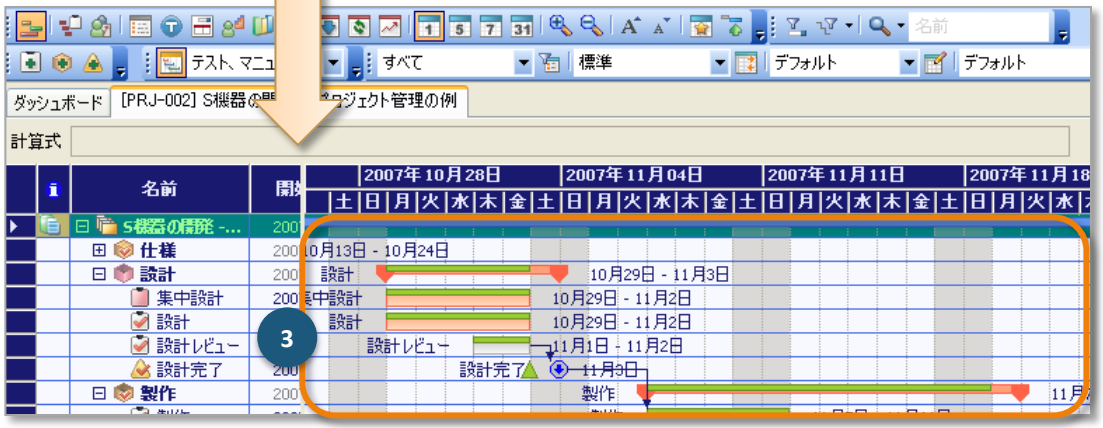
Standard Editionで[ベースラインの開始日]・[ベースラインの終了日]・[ベースラインの計画工数]を表示する場合は、[テーブルの編集]から表示フィールドを変更してください。

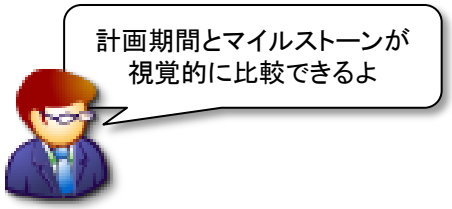
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

ベースラインと現在の計画をガントチャートで比較する

[ベースライン]の表示をした場合に[ガントチャート]で比較できるものを紹介します。







1. [ガントチャート]を表示した状態(①)で、[ベースラインの表示]ボタン(②)をクリックします。
2. [ベースライン]に保存されている情報が[ガントチャート]に表示されます(③)。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

進捗・実績管理

実績管理の基本

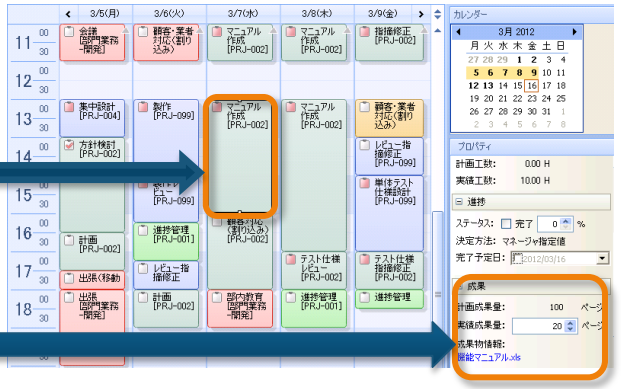
プランナー上で実績工数を確認・管理する方法について説明します。

タイムシートとプランナーの関係について

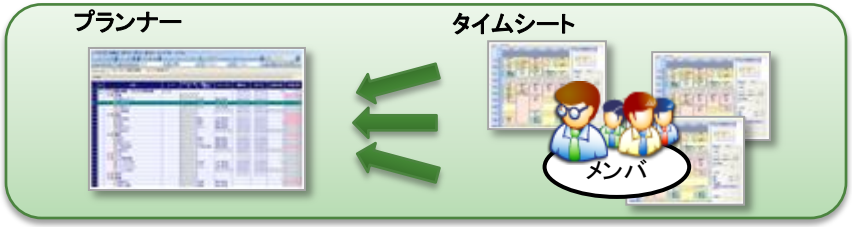
まずは、タイムシートで入力した実績（実績工数・実績成果量）が、どのようにプランナーで表示されるか説明します。

実績データのプランナーへの反映

名前	計画工数	実績工数	計画コスト	実績コスト	計画成果量	実績成果量	成果物情報	進捗率
S機器の開発	639	448.50	¥2,666,000	¥1,776,300	0	0		66.30%
マニュアル開発ツール購入	0	0.00	¥65,000	¥63,800	0	0		100.00%
納品	0	0.00	¥0	¥0	0	0		0.00%
仕様	40	30.50	¥186,000	¥118,500	0	0		100.00%
設計	44	58.00	¥143,000	¥195,500	0	0		100.00%
製作	120	[illegible]	[illegible]	[illegible]	0	0		[illegible]
テスト	34	16.50	¥104,000	¥50,500	0	0		100.00%
テスト実施	89	13.00	¥309,000	¥39,000	0	0		19.10%
テスト実施	85	13.00	¥295,000	¥39,000	1022	0	機能テスト	20.00%
テスト結果レビュー	4	0.00	¥14,000	¥0	0	0		0.00%
マニュアル作成	80	26.00	¥357,000	¥126,000	0	0		18.80%
方針検討	4	3.00	¥15,000	¥18,000	100	70	機能マニュアル	100.00%
マニュアル作成	2[illegible]	21.0[illegible]	¥87,000	¥96,000	100	20		
マニュアルレビュー	4	1.00	¥15,000	¥6,000	0	0		0.00%
指摘修正	4	1.00	¥15,000	¥6,000	0	0		0.00%
マニュアル作成完了	0	0.00	¥0	¥0	0	0		0.00%
ヘルプ作成	0	0.00	¥0	¥0	0	0		0.00%
保守	56	5.00	¥196,000	¥15,000	0	0		N/A
管理	120	94.00	¥632,000	¥468,000	0	0		N/A
その他	56	87.00	¥254,000	¥303,000	0	0		N/A
機器設定	16	20.00	¥72,000	¥72,000	0	0		50.00%
調査	20	48.50	¥91,000	¥159,500	0	0		N/A
その他	20	18.50	¥91,000	¥71,500	0	0		N/A



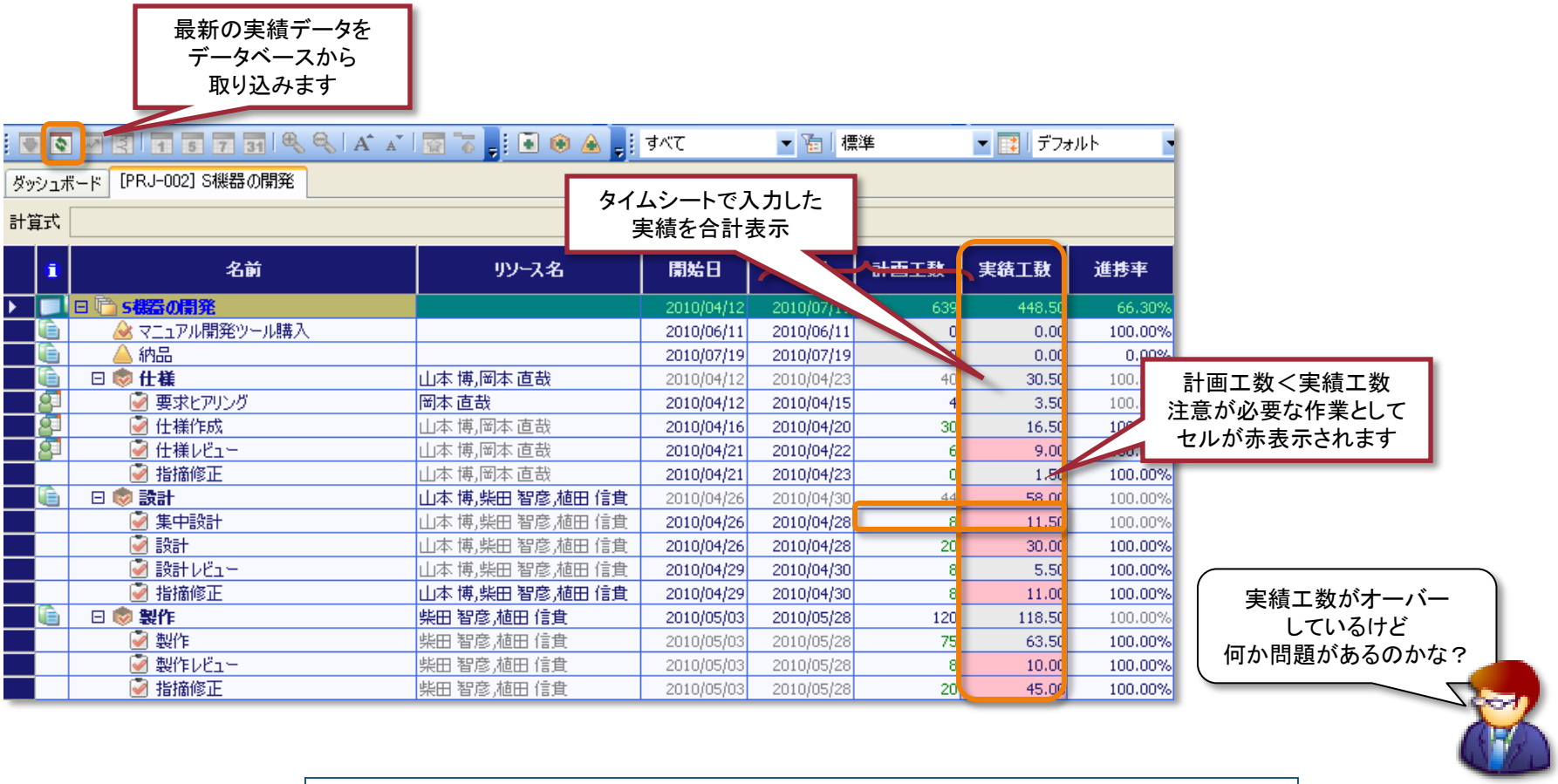
プランナーは各メンバがタイムシートで入力した実績データを合計して表示します。



Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

実績工数を確認する

計画工数・実績工数を対比して確認してみましょう。



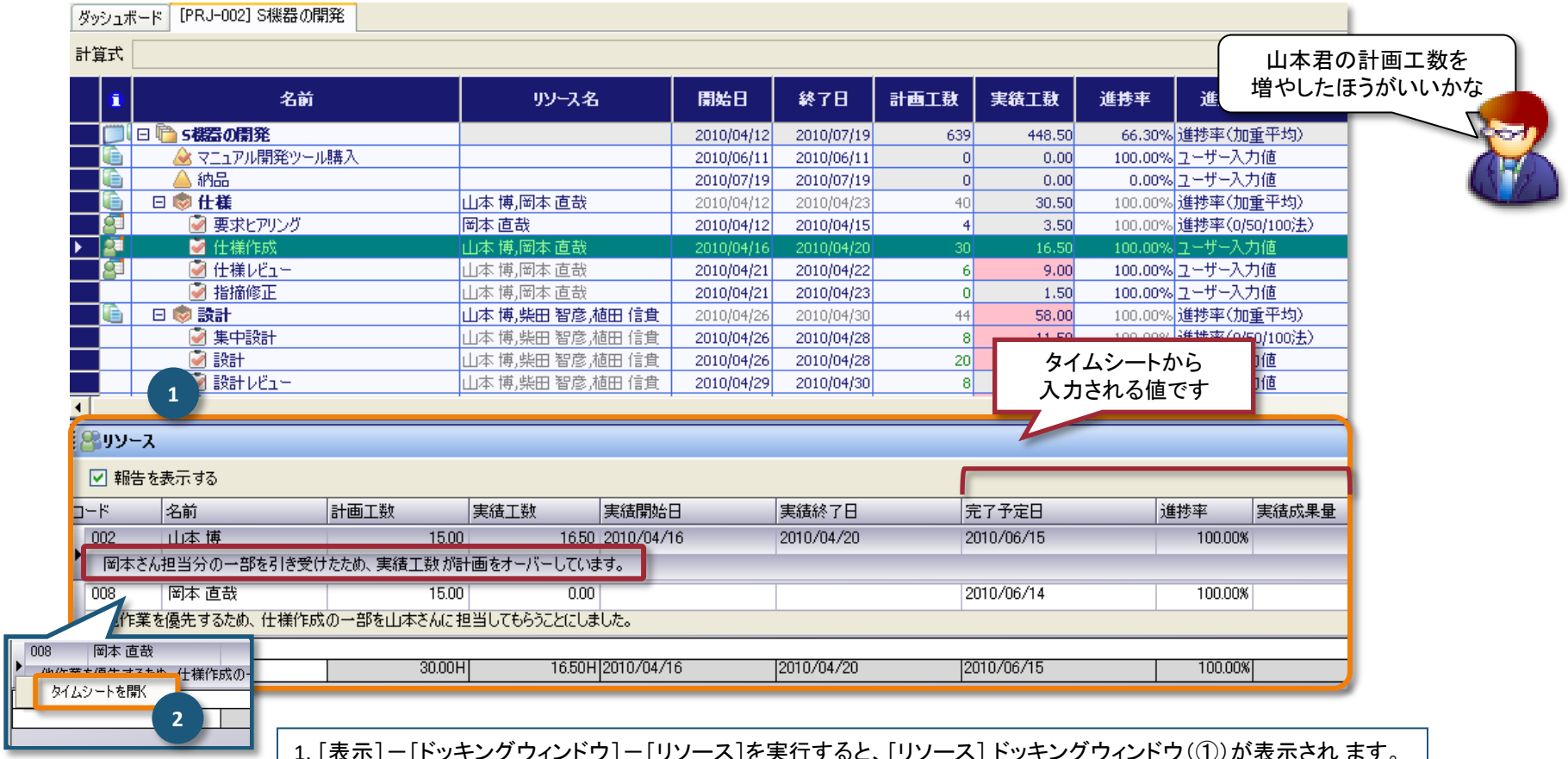
名前	リソース名	開始日		計画工数	実績工数	進捗率
S機器の開発		2010/04/12	2010/07/1	639	448.50	66.30%
マニュアル開発ツール購入		2010/06/11	2010/06/11	0	0.00	100.00%
納品		2010/07/19	2010/07/19		0.00	0.00%
仕様	山本 博,岡本 直哉	2010/04/12	2010/04/23	40	30.50	100.
要求ヒアリング	岡本 直哉	2010/04/12	2010/04/15	4	3.50	100.
仕様作成	山本 博,岡本 直哉	2010/04/16	2010/04/20	30	16.50	10
仕様レビュー	山本 博,岡本 直哉	2010/04/21	2010/04/22	6	9.00	
指摘修正	山本 博,岡本 直哉	2010/04/21	2010/04/23	0	1.50	100.00%
設計	山本 博,柴田 智彦,植田 信貴	2010/04/26	2010/04/30	44	58.00	100.00%
集中設計	山本 博,柴田 智彦,植田 信貴	2010/04/26	2010/04/28	8	11.50	100.00%
設計	山本 博,柴田 智彦,植田 信貴	2010/04/26	2010/04/28	20	30.00	100.00%
設計レビュー	山本 博,柴田 智彦,植田 信貴	2010/04/29	2010/04/30	8	5.50	100.00%
指摘修正	山本 博,柴田 智彦,植田 信貴	2010/04/29	2010/04/30	8	11.00	100.00%
製作	柴田 智彦,植田 信貴	2010/05/03	2010/05/28	120	118.50	100.00%
製作	柴田 智彦,植田 信貴	2010/05/03	2010/05/28	75	63.50	100.00%
製作レビュー	柴田 智彦,植田 信貴	2010/05/03	2010/05/28	8	10.00	100.00%
指摘修正	柴田 智彦,植田 信貴	2010/05/03	2010/05/28	20	45.00	100.00%

1. 各メンバが入力した実績データは、全員分が合計されて表示されます。
2. 実績工数は計画工数と並べて表示することで、比較して確認する事ができます。
3. 納品や報告の期限など、工数の発生しないイベントには、マイルストーンを使います。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

メンバの実績や報告内容を確認する

タイムシートで入力された実績や報告内容を確認しましょう。

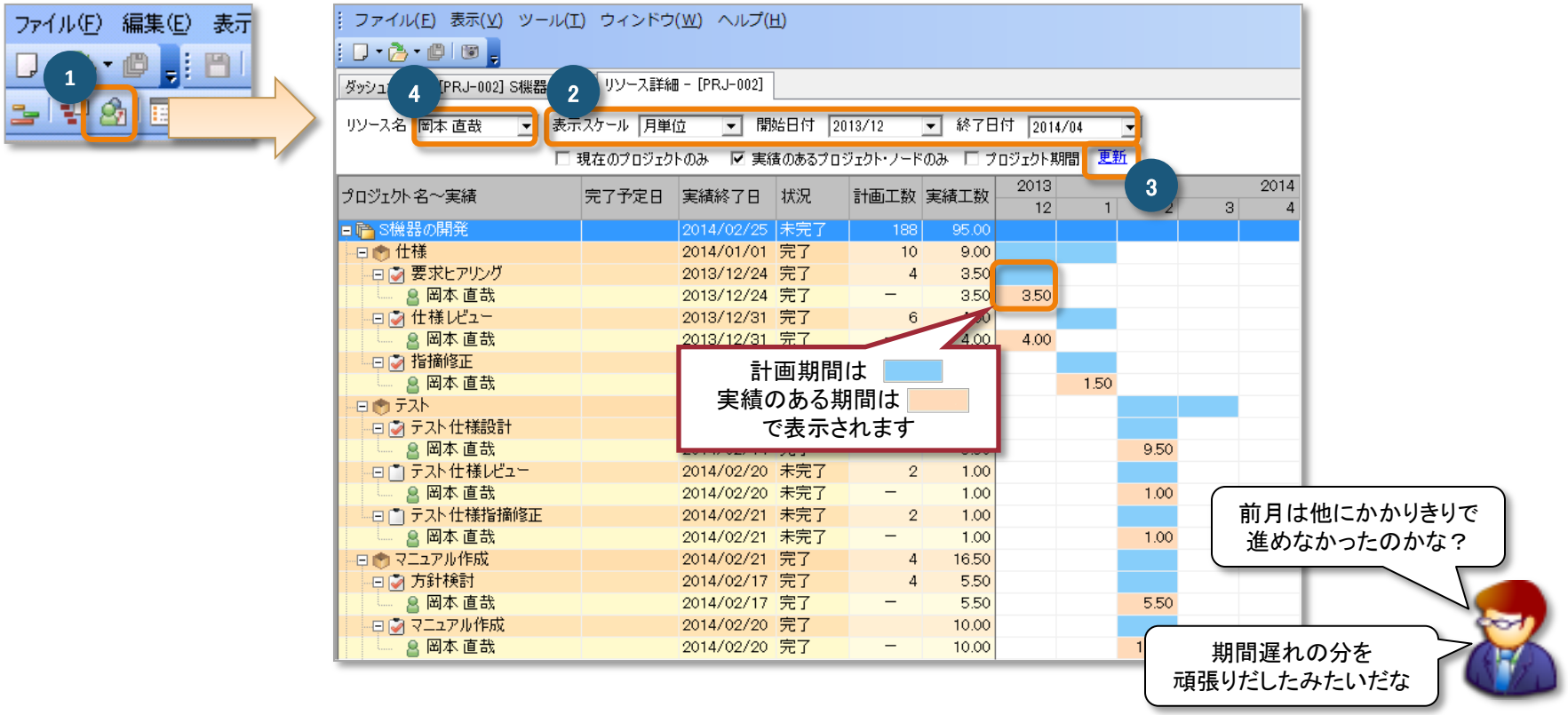


1. [表示]－[ドッキングウィンドウ]－[リソース]を実行すると、[リソース] ドッキングウィンドウ(①)が表示され ます。
2. メンバ毎の[実績工数]・[完了予定日]・[報告]などの、作業状況が確認できます。
3. [リソース]ドッキングウィンドウのデータをダブルクリック、または右クリックし、コンテキストメニューから(②)、メンバのタイムシートを開くことができます。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

メンバごとの計画・実績を確認する

プロジェクト内の各メンバの作業実績を確認しましょう。



1. [リソース詳細]ボタン(①)をクリックすると、[リソース詳細]ビューが開きます。
2. 表示スケールや期間を設定(②)して[更新](③)をクリックすると、指定したメンバ(④)の実施した内容が表示されます。

計画期間が設定されている場合、今後の作業割り当て状況の把握もできます。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

タスクの実績が変更できないようにする

完了した作業の実績を変更させたくない場合は、実績入力をロックします。

実績入力をロック

［実績入力をロック］が設定されたタスク・タスクパッケージは、タイムシートでの実績入力や変更ができなくなります。

1. タスク、またはタスクパッケージ（この例では「集中設計」）を選択します（①）。
2. ［プロパティ］－［実績］－［実績入力をロック］をクリックします（②）。
3. ［情報］フィールドに、情報アイコンが表示されます（③）。

タスクパッケージを選択した場合は、含まれているすべてのタスクをロックします。

ロックされたタスク・タスクパッケージは、タイムシートのタスクツリーに表示されなくなります。

システム管理者がアカウントごとに指定日以前の実績入力をロックすることもできます。詳細はAdministrator ガイドをご参照ください。

プロジェクトを［保存］し、タイムシートにて［再読み込み］を行うまで有効になりません。

ワンポイント活用法
終了したタスクへの実績誤入力の防止や、意図しないタスクの実績入力を制限します。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

進捗・実績管理

進捗管理の基本

プロジェクトの進捗を管理するための基本操作として、
進捗率の管理方法について説明します。

進捗率の決定方法について – 基本的な活用法

作業の規模や管理方針に合わせて、進捗率の決定方法を設定します。

まず、基本的な設定項目について説明します。

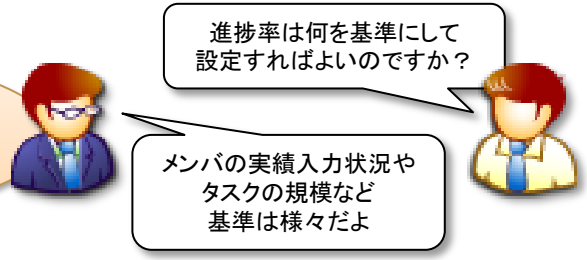
進捗率の決定方法

決定方法	概要
0/50/100法	進捗率を簡単に管理したい場合に設定します。
ユーザ入力値	マネージャが進捗を判断したい場合に設定します。 また、委託などで直接TimeTracker FXに実績を入力させられない場合に設定します。
管理しない	会議などの、進捗管理対象としないタスクの場合に設定します。
加重平均	作業規模が大きい場合や、タスクパッケージ内にあるタスクの規模に、差がある場合に設定します。 タスクパッケージのみに設定できる種類です。子ノードの進捗率を、工数規模で重みづけした集計です。
リーダー	リーダーの報告を優先したい場合や、リーダーに進捗を管理させたい場合に設定します。
リソース平均	各メンバの報告が、しっかり集まる場合に設定します。
規模進捗率	成果物の完成量で進捗を管理したい場合に設定します。
計算式	独自の計算式で進捗率を求めたい場合に設定します。
親ノードの値	親ノードの進捗率を、子ノードの進捗率として扱いたい場合に設定します。 通常は使用しません。

［計算式］・［親ノードの値］はProfessional Editionのみの機能です。

ワンポイント活用法

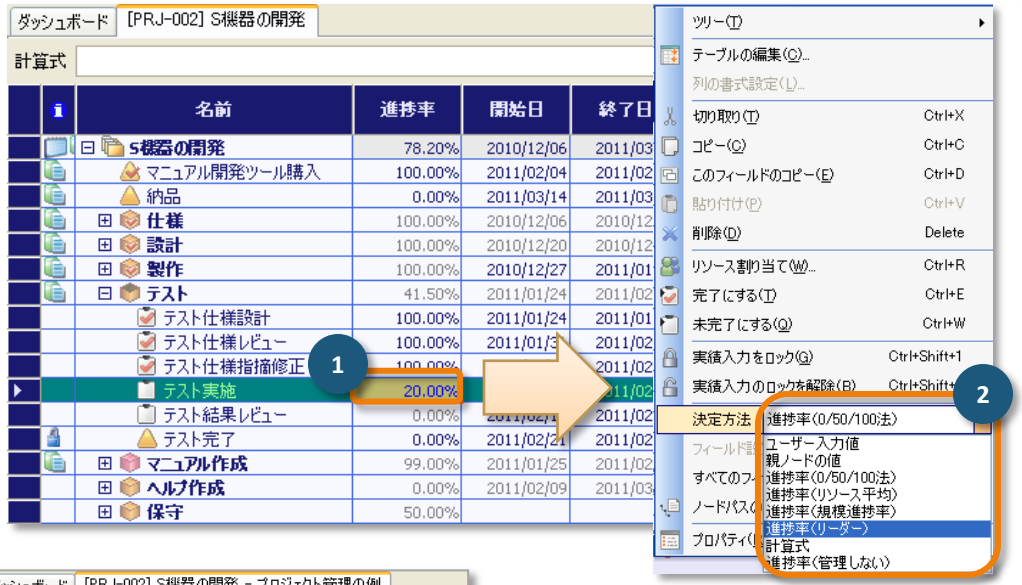
柔軟な進捗率の算出が行えるので、規模の相違があるタスクをもつプロジェクトでも一意の進捗管理が行えます。



Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

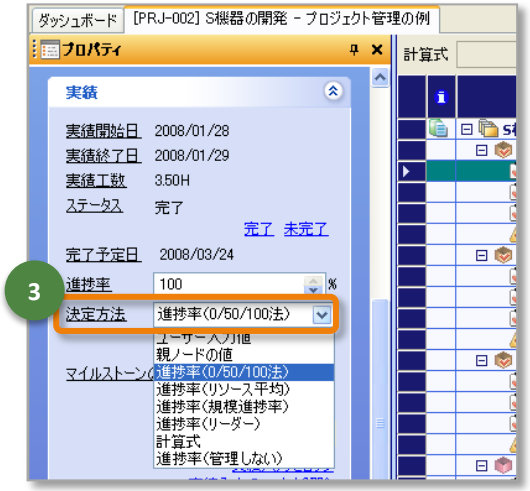
進捗率の決定方法を設定する

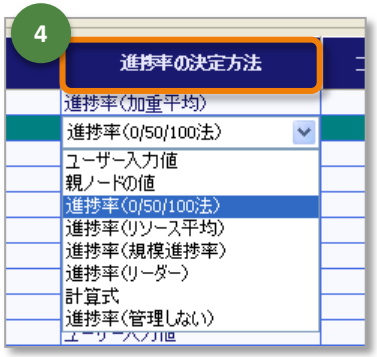
基本的な[進捗率の決定方法]の設定方法を紹介します。



コンテキストメニューから設定する

1. 進捗率を設定するタスク、またはタスクパッケージの[進捗率]フィールドを選択します(①)。
2. 右クリックし、コンテキストメニューの[決定方法]にあるドロップダウンリスト(②)から決定方法を設定します。





その他の方法で設定する

コンテキストメニューからの設定以外に、以下の方法で設定することができます。

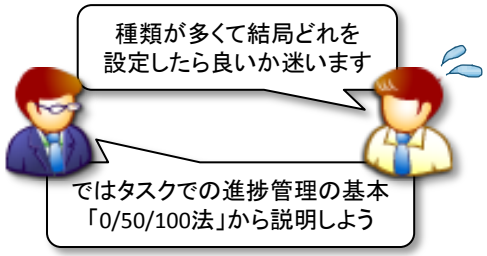
－[プロパティ]ドッキングウィンドウ　：
　[実績]－[決定方法]から設定できます(③)。
－[進捗率の決定方法]フィールド　：
　ドロップダウンから選択して、設定できます(④)。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

0/50/100法で進捗を管理する

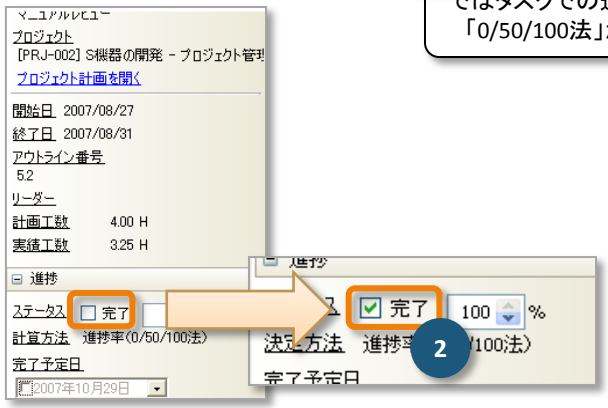
進捗管理の基本であり、デフォルトで設定されている0/50/100法について説明します。

メンバの工数入力状態に応じて、自動的に未着手（0%）・着手（50%）・完了（100%）で進捗率を表示します。



入力方法

タスク自体の完了は、PMなどがプランナーから[完了]状態にします。



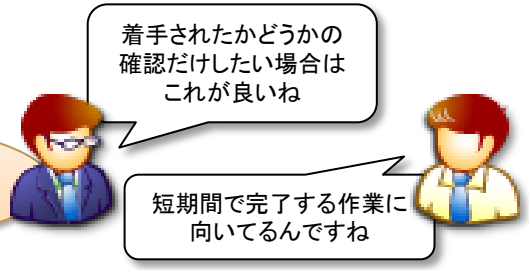
1. 工数が入力されると、「50%」になります（①）。
2. メンバ全員がタイムシートから[完了]状態（②）にすることで、進捗率は「100%」になります。

注意点

開始時は進捗が良い結果となりますが、期間の後半では悪い結果となります。
そのため、計画工数の大きなタスクやタスクパッケージには向きません。

ワンポイント活用法

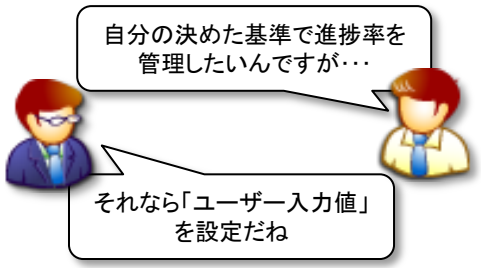
数日から1週間程度のタスクに有効です。



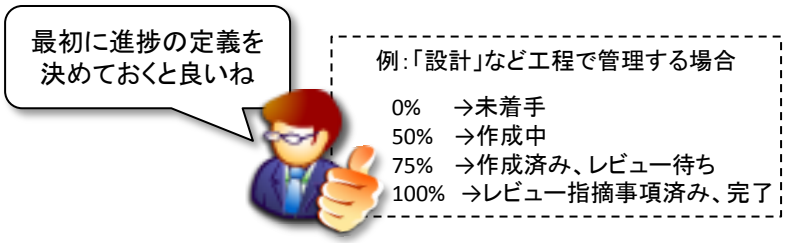
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

ユーザー入力値で進捗を管理する

メンバの進捗状況からマネージャが判断して、最終的な進捗率を入力する方法を説明します。



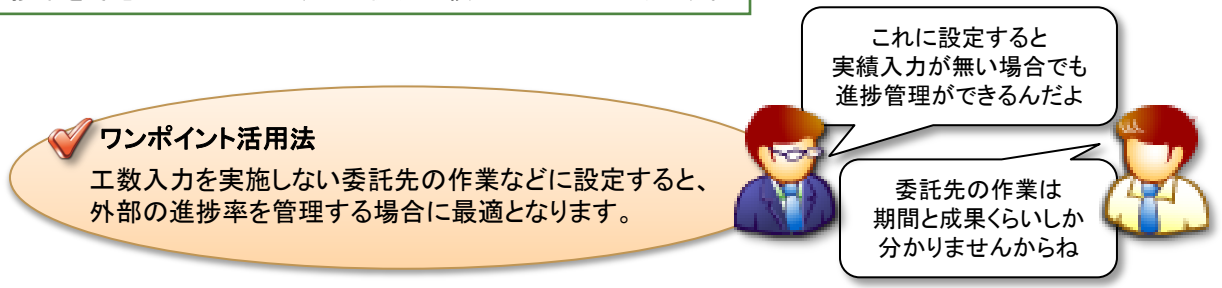
入力方法



マネージャは進捗状況を判断して、[進捗率]フィールドに直接進捗率を入力します(①)。

注意点

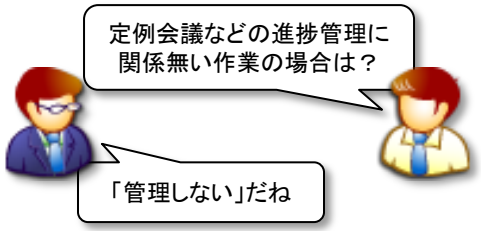
タスクパッケージに設定した場合、子ノードの進捗率を考慮しなくなるため、悪い状況が積み上がらなくなります。



Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

進捗管理の対象にしない

会議や出張など、進捗が関係しない・進捗管理の対象にしたくない場合について説明します。



入力方法

1. 進捗率の計算対象から外され、「N/A」と表示されます（①）。
2. メンバはタイムシートで進捗率（%）を入力できますが、プランナーの［進捗率］フィールドには反映されません。

注意点

実績工数が計画より大幅に超過している場合でもプランナー上に表れないので、注意が必要です。

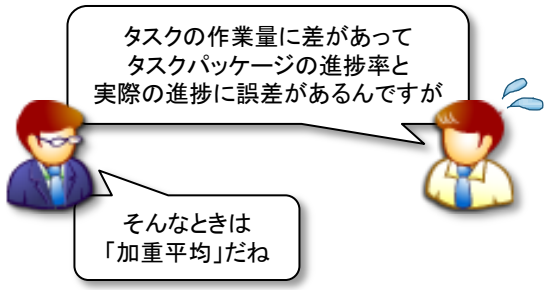
ワンポイント活用法

進捗率とは切り離して実績の集計だけをしたいものに設定しますが、実績が増えすぎている場合は内容の見直しを行うとよいでしょう。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

加重平均で進捗を管理する

タスクパッケージにデフォルトで設定されている、加重平均について説明します。
タスクパッケージ内にある、タスクの計画工数で重み付けをして、進捗率を算出します。



入力方法

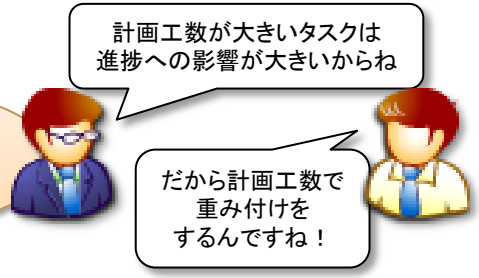
タスク名	タスク進捗率	タスクパッケージ内割合	タスクパッケージ内進捗率
テスト仕様レビュー	100 %	2÷102= 1.97 %	100 × 1.97= 1.97 %
テスト仕様設計	100 %	16÷102= 15.69 %	100 × 15.69= 15.69 %
テスト実施	60 %	80÷102= 78.44 %	60 × 78.44= 47.07 %
テスト結果レビュー	50 %	4÷102= 3.93 %	50 × 3.93= 1.97 %
		合計	66.70 %

小数点以下第三位を切り上げて算出しています。

1. 各タスクがタスクパッケージ内で占める割合を、計画工数(①)から算出します。
2. 各タスクの進捗率が算出されています(②)。
3. 算出された1.と2.を元にして、タスクパッケージの進捗率(③)が算出されます。

ワンポイント活用法

計画工数の大きなタスクを含むタスクパッケージには、
加重平均を設定する重要性が高まります。



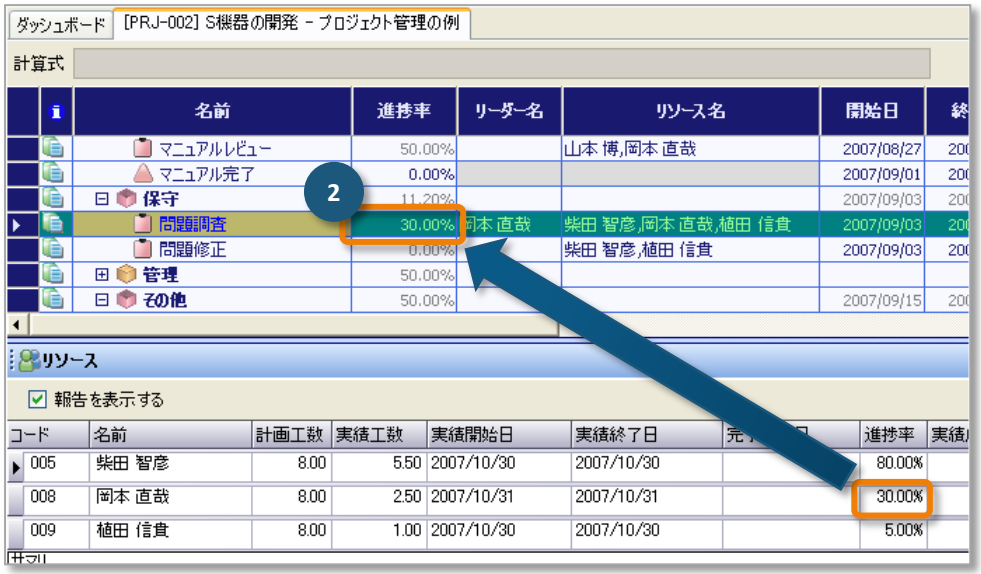
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

リーダーが進捗を管理する

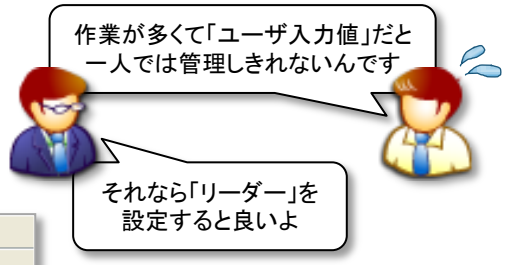
リーダーの報告で進捗率を管理する方法を説明します。

入力方法

リーダーはメンバの進捗状況を把握しておく必要があります。

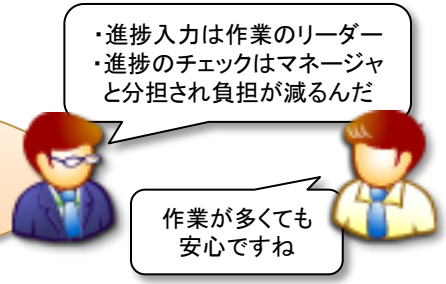


1. リーダーはタイムシート上で進捗率を入力します(①)。
2. リーダーの入力した進捗率が、作業の進捗率になります(②)。



ワンポイント活用法

「ユーザ入力値」で扱いきれない作業量をカバーすることができます。



Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

進捗率の決定方法について – 応用的な活用法

作業の規模や管理方針に合わせて、より柔軟に進捗率を設定する方法を説明します。

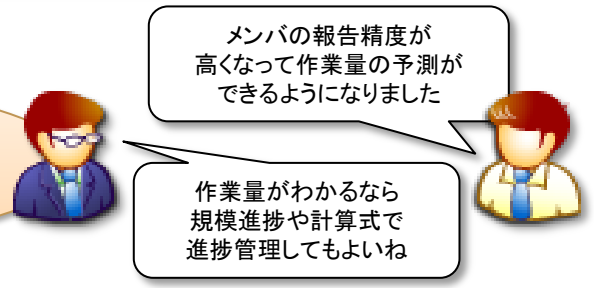
進捗率の決定方法

決定方法	概要
0/50/100法	進捗率を簡単に管理したい場合に設定します。
ユーザ入力値	マネージャが進捗を判断したい場合に設定します。 また、委託などで直接TimeTracker FXに実績を入力させられない場合に設定します。
管理しない	会議などの、進捗管理対象としないタスクの場合に設定します。
加重平均	作業規模が大きい場合や、タスクパッケージ内にあるタスクの規模に、差がある場合に設定します。 タスクパッケージのみに設定できる種類です。子ノードの進捗率を、工数規模で重みづけした集計です。
リーダー	リーダーの報告を優先したい場合や、リーダーに進捗を管理させたい場合に設定します。
リソース平均	各メンバの報告がしっかり集まる場合に設定します。
規模進捗率	成果物の完成量で進捗を管理したい場合に設定します。
計算式	独自の計算式で進捗率を求めたい場合に設定します。
親ノードの値	親ノードの進捗率を、子ノードの進捗率として扱いたい場合に設定します。 通常は使用しません。

[計算式]・[親ノードの値]はProfessional Edition のみの機能です。

ワンポイント活用法

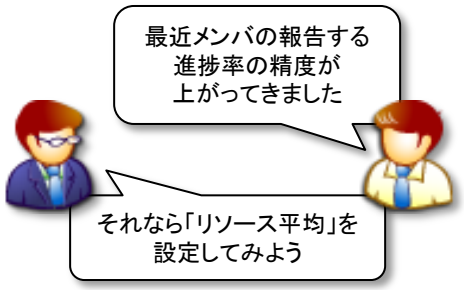
成果量があらかじめ分かっている場合は、規模進捗率が有効です。
また、作業の難易度に応じて重み付けする場合は、計算式が有効です。



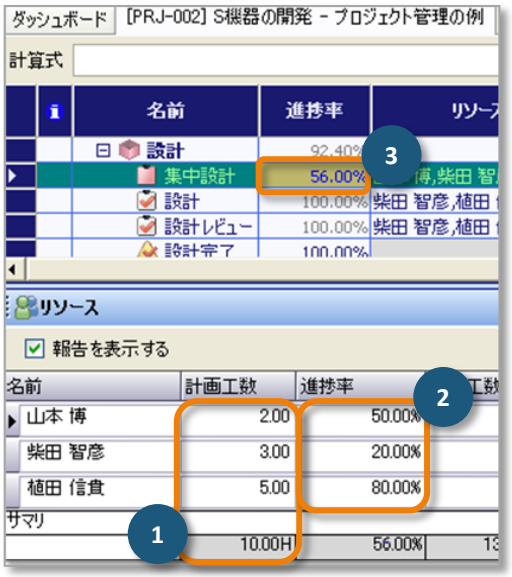
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

リソース平均で進捗を管理する

メンバの進捗報告が期待できる場合は、リソース平均を設定します。
メンバ毎の計画工数で重み付けし、進捗率を算出します。



入力方法



リソース名	タスク内 割合	メンバ 進捗率	タスク内 進捗率
山本　博	2÷10= 20 %	50 %	20 % ×50 % = 10.00 %
柴田　智彦	3÷10= 30 %	20 %	30 % ×20 % = 6.00 %
植田　信貴	5÷10= 50 %	80 %	50 % ×80 % = 40.00 %
		合計：タスクの進捗率	56.00 %

小数点第3位以下を切り上げて算出しています。

1. 各メンバがタスク内で占める割合を計画工数から算出します（①）。
2. 各メンバが報告する進捗率（②）と1.を元にして、タスクの［進捗率］（③）が算出されます。
3. 全メンバが［完了］状態にすることで、［進捗率］は「100%」になります。

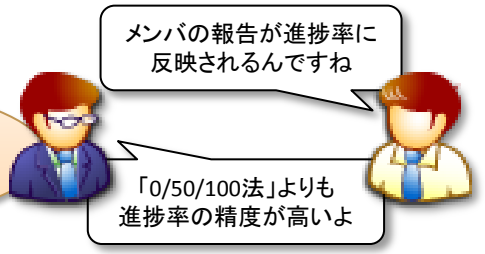
プロジェクトマネージャなどが、プランナーから直接［完了］状態にすることもできます。

注意点

計画工数の割り当てがないメンバは進捗率に関係せず、工数の入力のみになります。

ワンポイント活用法

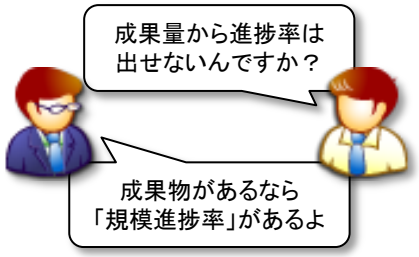
メンバが進捗率を報告する際には、［ユーザ入力値］のように進捗の定義を決めておくと良いでしょう。



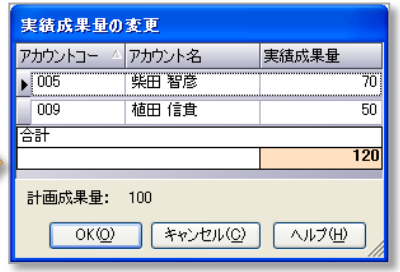
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

規模進捗率で進捗を管理する

成果物のあるタスクの場合は、規模進捗率を設定します。
成果物の完成度から進捗率を算出します。



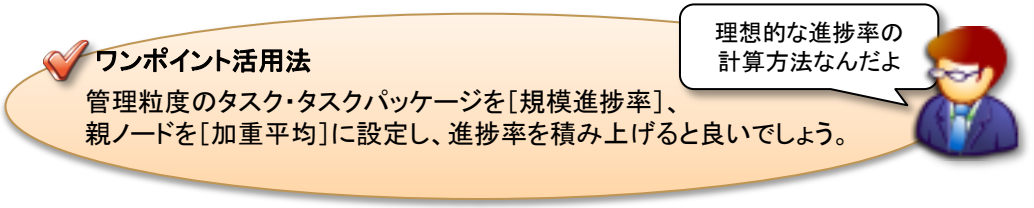
入力方法



プロジェクトマネージャなどは、[実績成果量の変更]ダイアログ(⑤)から報告内容の変更・確認ができます。

1. メンバはタイムシートから、[実績成果量]の報告をします(①)。
2. 各メンバが報告する[実績成果量]の合計(②)と[計画成果量](③)を元にして、タスクの[進捗率]と[規模進捗率]が算出されます(④)。
3. [規模進捗率]が「100%」を超えた段階で、[完了]状態になり、[進捗率]は「100%」になります。

[進捗率]と[規模進捗率]は同じ値から算出されますが、[進捗率]は「100%」を最大値としています。

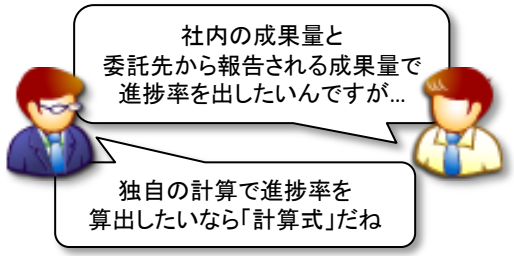


Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

計算式で進捗を管理する

進捗率を独自の計算によって決定する場合は、計算式を設定します。
カスタムフィールドなどを組み合わせて、進捗率を算出します。

Professional Edition のみの機能です。



入力方法

ワンポイント活用法
Excelなどで利用していた進捗率の計算式がある場合に有効です。

```
( ( [実績成果量] + [委託先実績成果量] )
      / ( [計画成果量] + [委託先計画成果量] ) ) * 100
```

1. [プロジェクトの設定]－[フィールド定義]に以下のフィールドを作成し(①)、入力を行います。
   － [委託先計画成果量]:
   委託先への計画成果量を入力します。
   － [委託先実績成果量]:
   委託先から報告のあった実績成果量を入力します。
2. 社内の成果量を、[計画成果量]・[実績成果量](②)に入力します。
3. [進捗率の決定方法]の計算式に、計算式を設定します(③)。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

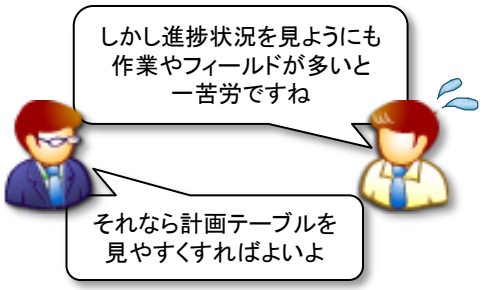
進捗・実績管理

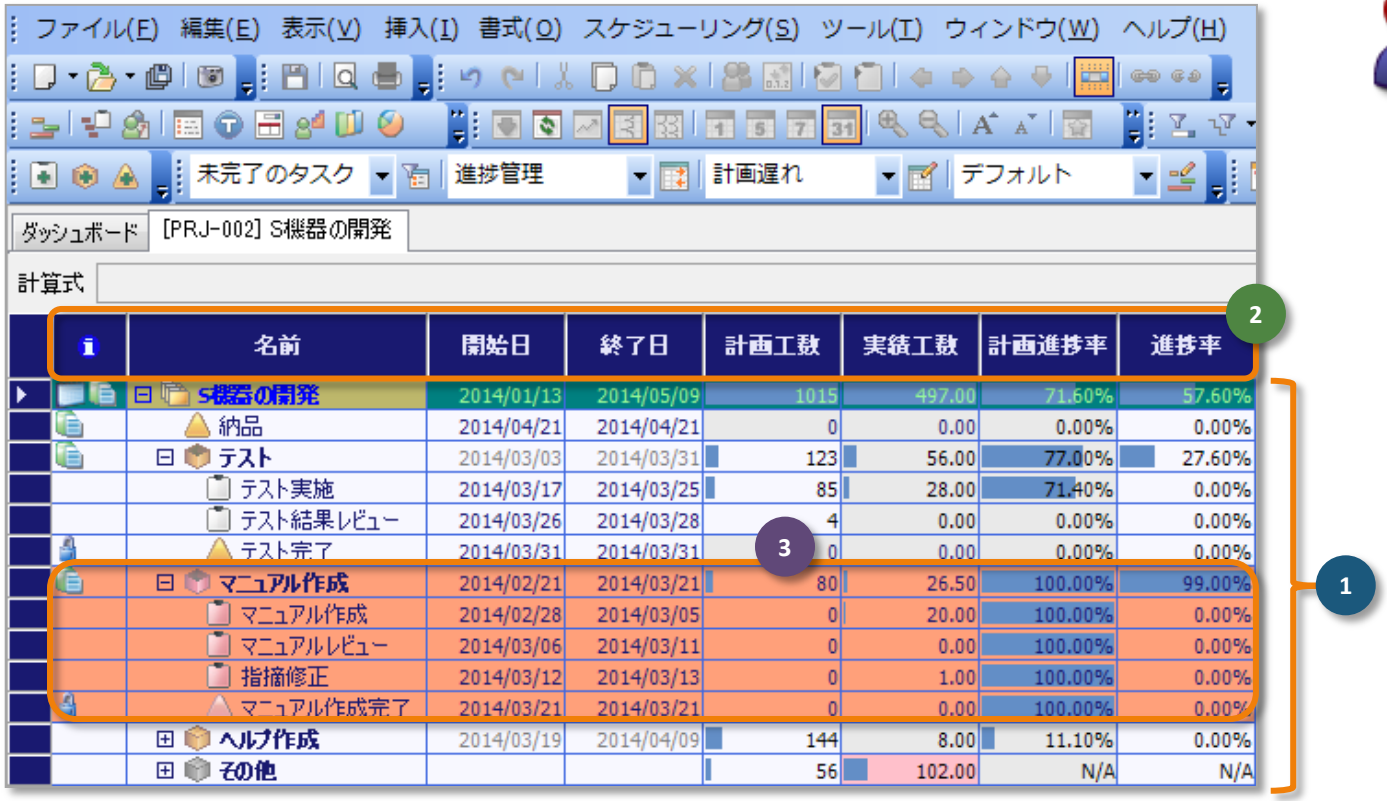
計画テーブルでの進捗管理

フィルタ、テーブル、書式設定を駆使してプロジェクトの進捗を管理する方法について説明します。

計画テーブルから進捗状況を確認する

フィルタ・テーブル切り替え・テーブル書式切り替えなど、計画テーブルの表示を切り替える方法を説明します。
これにより、計画テーブルを目的に応じて見やすくすることができます。





名前	開始日	終了日	計画工数	実績工数	計画進捗率	進捗率
S機器の開発	2014/01/13	2014/05/09	1015	497.00	71.60%	57.60%
納品	2014/04/21	2014/04/21	0	0.00	0.00%	0.00%
テスト	2014/03/03	2014/03/31	123	56.00	77.00%	27.60%
テスト実施	2014/03/17	2014/03/25	85	28.00	71.40%	0.00%
テスト結果レビュー	2014/03/26	2014/03/28	4	0.00	0.00%	0.00%
テスト完了	2014/03/31	2014/03/31	0	0.00	0.00%	0.00%
マニュアル作成	2014/02/21	2014/03/21	80	26.50	100.00%	99.00%
マニュアル作成	2014/02/28	2014/03/05	0	20.00	100.00%	0.00%
マニュアルレビュー	2014/03/06	2014/03/11	0	0.00	100.00%	0.00%
指摘修正	2014/03/12	2014/03/13	0	1.00	100.00%	0.00%
マニュアル作成完了	2014/03/21	2014/03/21	0	0.00	100.00%	0.00%
ヘルプ作成	2014/03/19	2014/04/09	144	8.00	11.10%	0.00%
その他			56	102.00	N/A	N/A

フィルタには以下の種類があります。
－[組み込みフィルタ]
－[キーワードフィルタ]
－[オートフィルタ]
－[カスタムフィルタ]

タスクを絞り込む

進捗状況の確認をしたいタスクを絞り込む(①)には、**フィルタ** を使います。

フィールドを選択する

確認したいフィールドのみのテーブルにする(②)には、**テーブル切り替え** を使います。

フィールドの値で色分けする

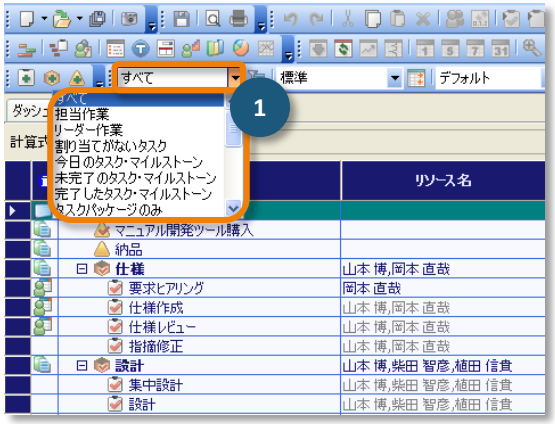
フィールドの値で色分けして確認する(③)には、**テーブル書式切り替え** を使います。

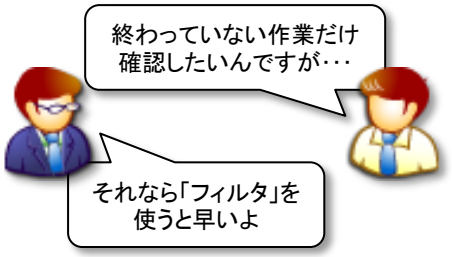
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

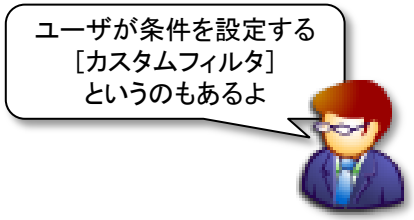
フィルタでタスクを絞り込む

フィルタを使って、進捗を確認したいタスクパッケージ・タスク・マイルストーンを絞り込みます。

組み込みフィルタ







組み込みフィルタはデフォルトで用意されているフィルタです。
[フィルタ]ドロップダウンリスト(①)から選択することで、計画テーブルに適用されます。

[カスタムフィルタ]の詳細は本書p.84で説明します。

使用方法

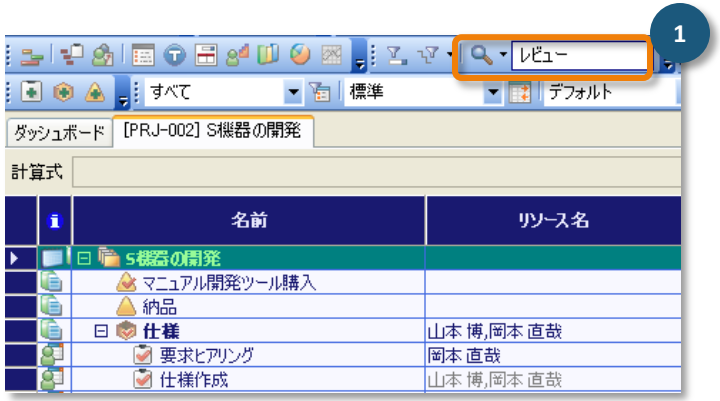
1. [フィルタ]ドロップダウンリストから「未完了のタスク・マイルストーン」を選択します(②)。
2. 計画テーブルが未完了のタスク・マイルストーンに絞り込まれます(③)。
3. [フィルタ](④)には適用中のフィルタ名が表示されます。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

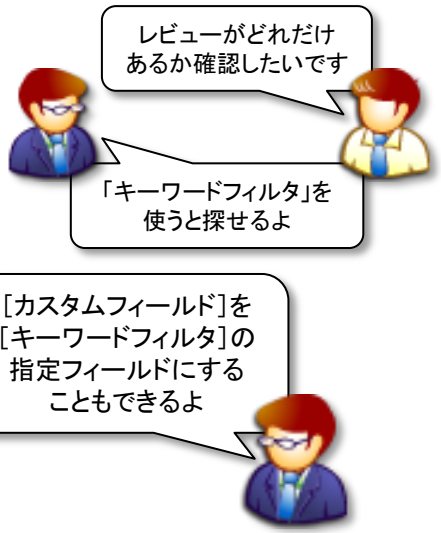
キーワードフィルタでタスクを検索する

キーワードフィルタを使って、指定した文字を含むタスクパッケージ・タスク・マイルストーンを検索します。

キーワードフィルタ



フィールドを指定して、入力されたキーワードを含むノードを絞り込むフィルタです。
[キーワードフィルタ]テキストボックス(①)に入力することで、計画テーブルに適用されます。



[カスタムフィールド]は Professional Editionのみの機能です。

[カスタムフィルタ]の詳細は本書p.84で説明します。

使用方法

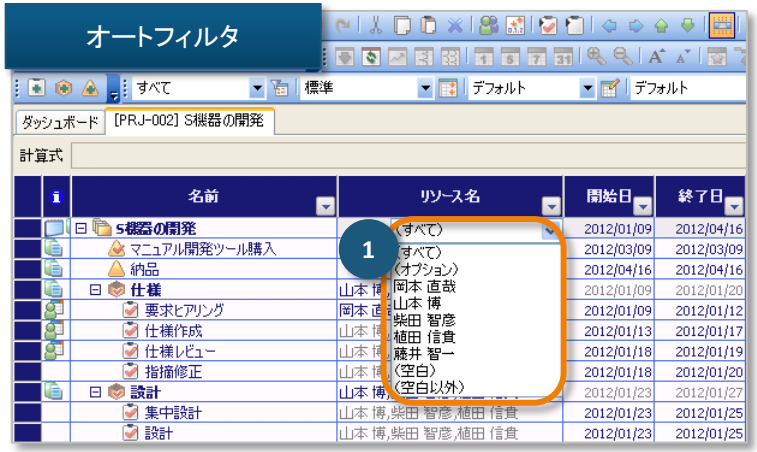
1. フィルタを適用するフィールド「名前」を選択します(②)。
2. [キーワードフィルタ]テキストボックス(③)に入力し、Enterキーを押下します。
3. 計画テーブルで[名前]フィールドに「レビュー」の文字があるタスクに絞り込まれます(③)。
4. クリアボタン(⑤)を押下するとフィルタが解除されます。

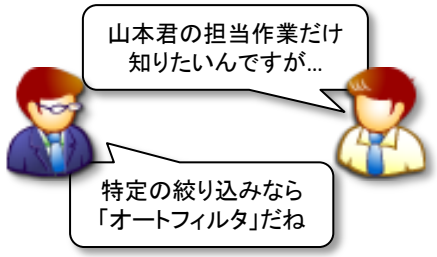
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

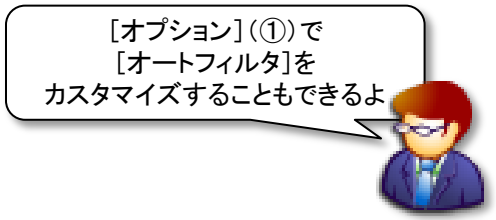
オートフィルタでタスクを絞り込む

オートフィルタを使って表示するタスクパッケージ・タスク・マイルストーンを絞り込みます。

オートフィルタ

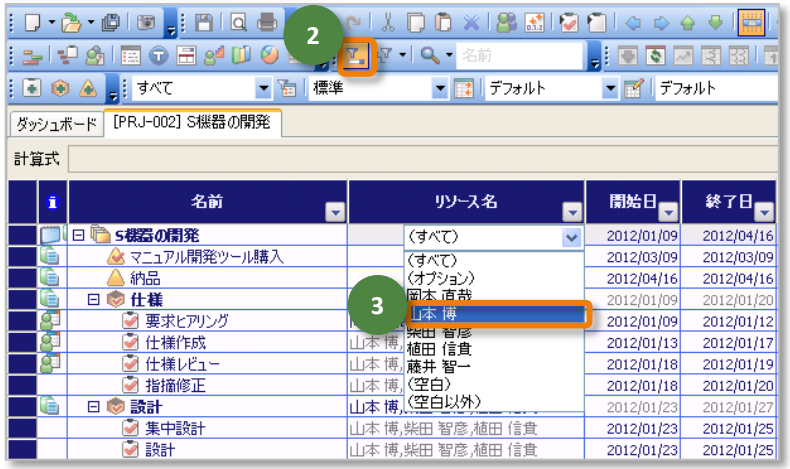


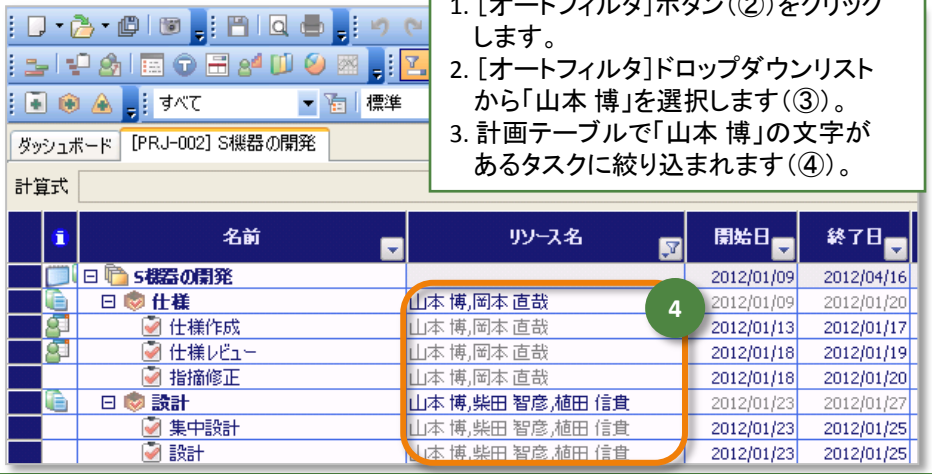




フィールドに入力されている値を元にして、ノードを絞り込むフィルタです。
[オートフィルタ]ドロップダウンリスト(①)を選択することで、計画テーブルに適用されます。

使用方法



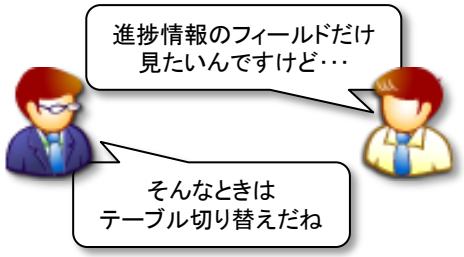


1. [オートフィルタ]ボタン(②)をクリックします。
2. [オートフィルタ]ドロップダウンリストから「山本 博」を選択します(③)。
3. 計画テーブルで「山本 博」の文字があるタスクに絞り込まれます(④)。

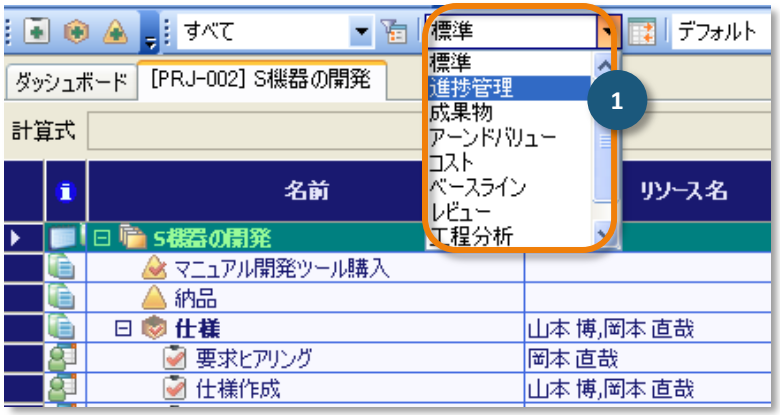
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

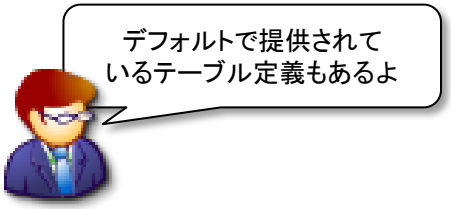
テーブルを切り替えて目的に合った情報を表示する

テーブル切り替えを使って、用途に応じたテーブルで表示します。



テーブル切り替え





テーブル名	用途
標準	プロジェクト管理のために必要な、基本フィールドを表示します。
進捗管理	実績や進捗率・指標など、進捗を把握するためのフィールドを表示します。
成果物	規模進捗率法により、進捗を管理するためのフィールドを表示します。
アーンドバリュー	EVM（アーンドバリュー）手法により、進捗を管理するためのフィールドを表示します。
コスト	プロジェクトのコストを、管理するために必要なフィールドを表示します。
ベースライン	現在の計画と過去の計画（ベースライン）を、比較するためのフィールドを表示します。

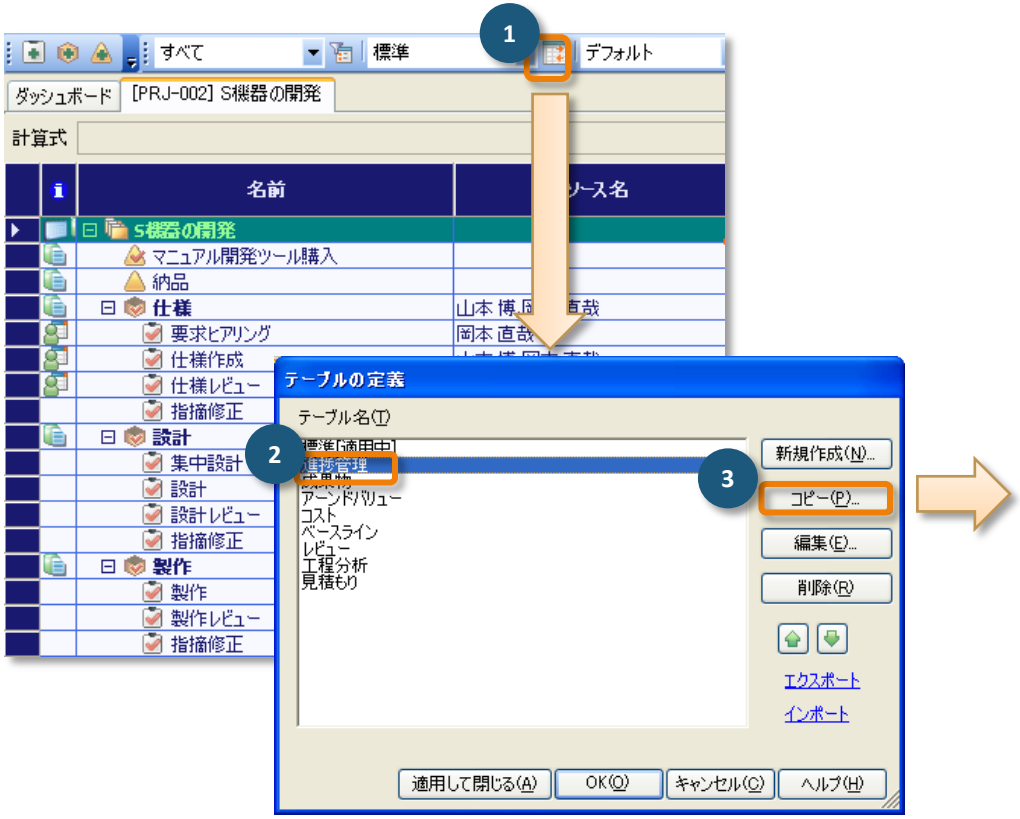
テーブル定義ごとに表示フィールドが設定されており、適用することで計画テーブルの表示フィールドを切り替えます。

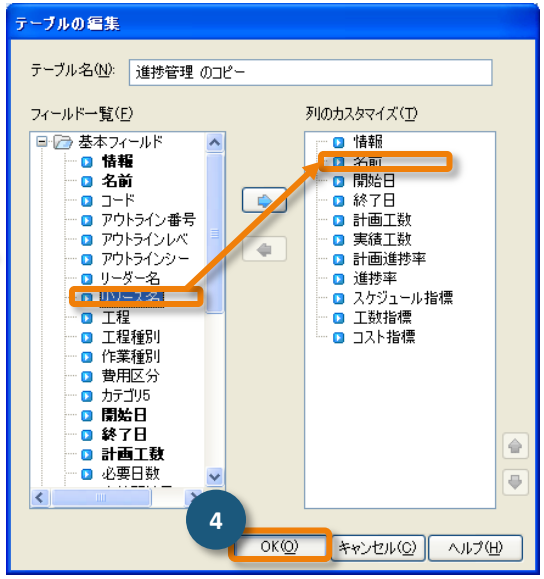
1. [テーブル]ドロップダウンリスト（①）から、テーブル定義を選択します。
2. 計画テーブルの表示フィールドが切り替わります。

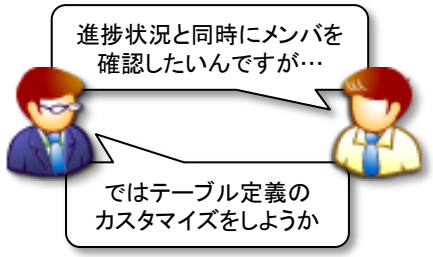
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

表示するフィールドをカスタマイズする

テーブル定義をカスタマイズして、確認したいフィールドを追加する方法を紹介します。

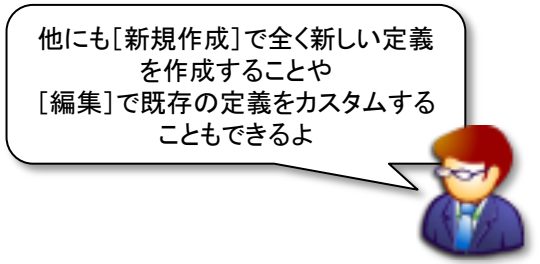






1. [テーブルの定義]ボタン(①)をクリックし、[テーブルの定義]ダイアログで「進捗管理」(②)を選択して[コピー](③)をクリックします。
2. [テーブルの編集]ダイアログで追加したいフィールドを選択(この例では「リソース名」)します。
3. [OK](④)をクリックすると、[テーブルの定義]ダイアログに新しいテーブル定義が追加されます。

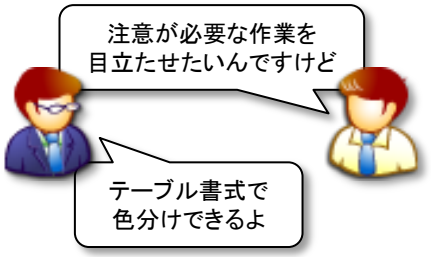
⚠ [テーブルの定義]ダイアログで[キャンセル]をクリックすると、追加したテーブル定義は残りません。



Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

テーブル書式を切り替えて目的に合った色で表示する

ガントテーブル書式を使用して、業務の状態を色分けします。
初期状態では4種類のガントテーブル書式の定義が提供されており、目的に応じて使い分けることができます。



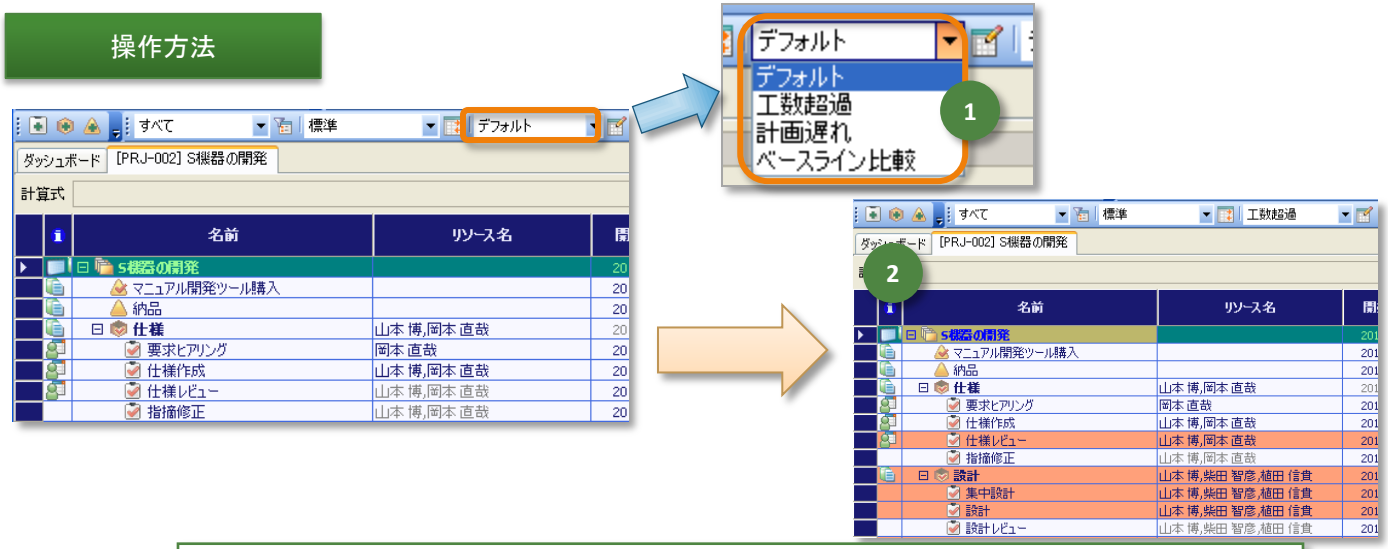
初期書式

定義書式名	用途および条件
デフォルト	ノードを強調表示しません。
工数超過	実績工数が計画工数を超過しているノードを、強調表示します。
計画遅れ	実績期間が計画期間を超過しており、完了していないノードを強調表示します。
ベースライン比較	計画工数、開始日・終了日が、ベースラインと比較して異なるフィールドを強調表示します。

初期状態で提供されるガントテーブル書式の定義は、変更・削除ができます。

適用中の場合は、削除できません。

操作方法

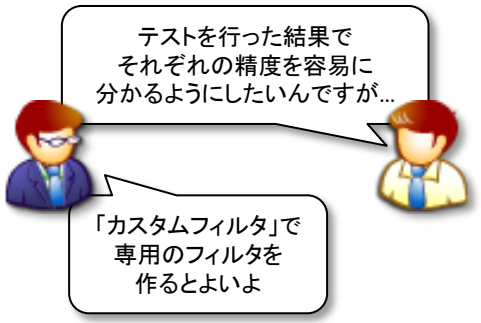


1. ツールバーの[ガントテーブル書式]をから目的のテーブル書式定義を選択します(①)。
2. 計画テーブルが選択したガントテーブル書式定義で表示されます(②)。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

カスタムフィルタにより任意の条件でタスクを絞り込む

実際に特定のタスクを絞り込むカスタムフィルタを作ってみましょう。

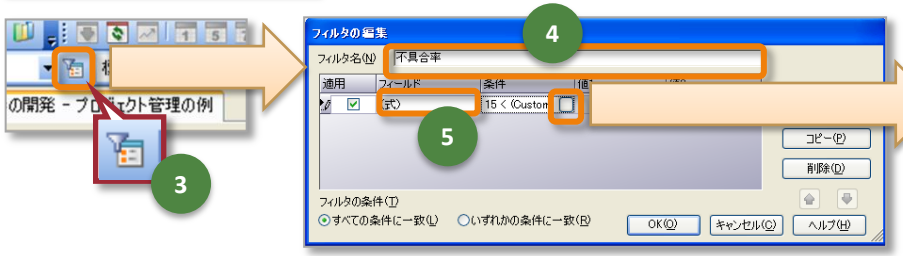


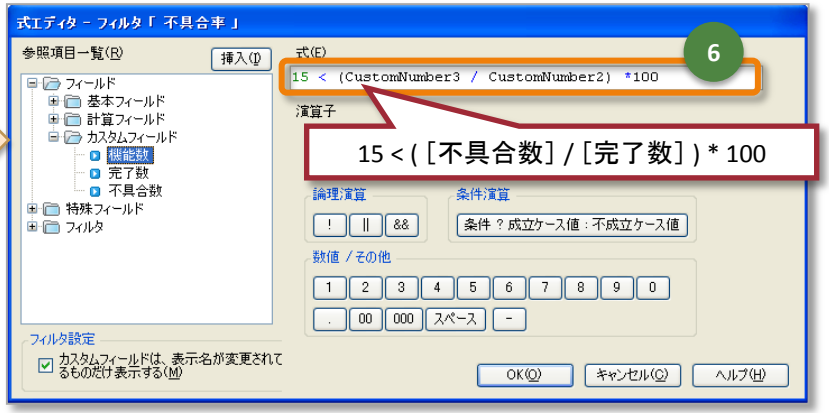
事前準備

機能項目毎に作成したタスク(①)があり、[カスタムフィールド]の[数値1]～[数値3]にタスクの情報を入力しています(②)。

[完了数]フィールドに、完了したテストの数を入力しています。

カスタムフィルタの作成





1. [カスタムフィルタの定義]ボタン(③)をクリックし、[カスタムフィルタの定義]ダイアログを起動して[新規作成]ボタンをクリックします。
2. 以下の内容でカスタムフィルタを作成します。
   - [フィルタ名](④)　:不具合率
   - [フィールド](⑤)　:式
   - [条件](⑥)　:15 < ([不具合数] / [完了数]) * 100
3. 適用すると、完了数内で不具合の率が15%を超えているタスクが絞り込まれます(⑦)。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

条件付き書式でテーブルの表示色をカスタマイズする

実際にユーザ独自の条件で、特定のタスクを色づけしてみましょう。

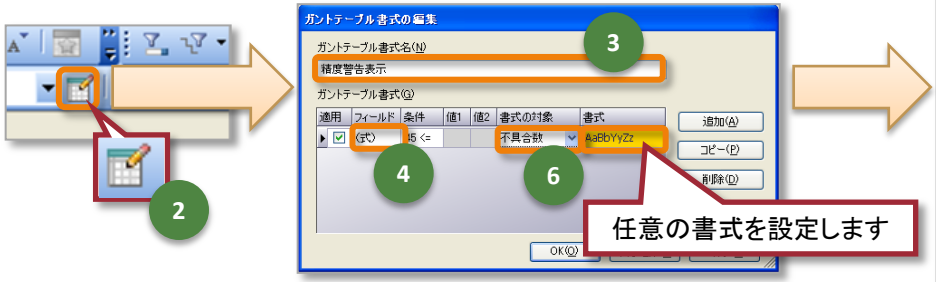
事前準備

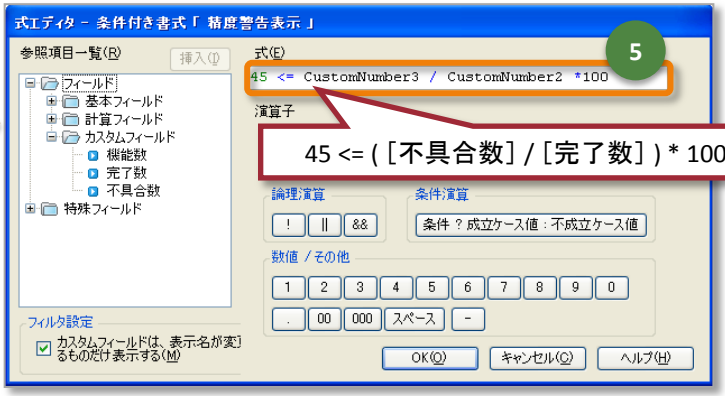
前項目で作成した[カスタムフィルタ](①)の内容で、完了数内の不具合の率が45%以上のタスクを色づけします。

名前	機能数	完了数	不具合数
FX機器開発	418.00	245.00	79.00
テスト項目	418.00	245.00	79.00
タスク	30.00	10.00	2.00
メニュー	68.00	50.00	23.00
ツールバー	50.00	20.00	12.00
プロジェクトサマリ	60.00	18.00	10.00
ガントチャート	45.00	42.00	13.00
リソース負荷	65.00	45.00	15.00

[完了数]フィールドに、完了したテストの数を入力しています。

ガントテーブル書式の作成





名前	機能数	完了数	不具合数	コード
FX機器開発	0.00	0.00	0.00	PRJ-009
テスト項目	0.00	0.00	0.00	
タスク	30.00	10	2.00	
メニュー	68.00	50	23.00	
ツールバー	50.00	20.0	12.00	
プロジェクトサマリ	60.00	18.0	10.00	
ガントチャート	45.00	42.00	13.00	
リソース負荷	65.00	45.00	15.00	

1. [ガントテーブル書式の定義]ボタン(②)をクリックし、[ガントテーブル書式の定義]ダイアログを起動して[新規作成]ボタンをクリックします。
2. 以下の内容でガントテーブル書式を作成します。
   - [ガントテーブル書式名](③) : 精度警告表示
   - [フィールド](④) : 式
   - [条件](⑤) : 45 < ([不具合数] / [完了数]) * 100
   - [書式対象](⑥) : [不具合数]
3. 適用すると、完了数内で不具合の率が45%以上のタスクが色づけされます(⑦)。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

ステータスバーを使いこなす

選択したフィールドの情報がステータスバーに表示されます。

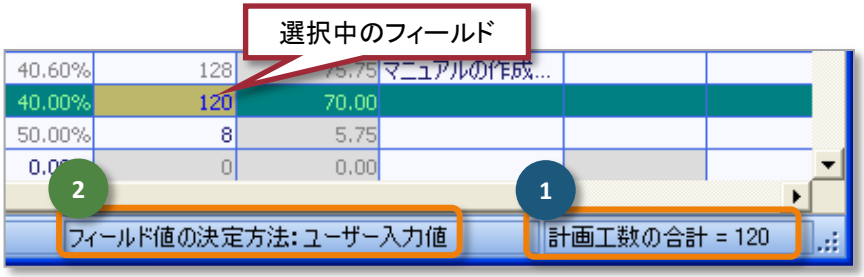
オートカルク

選択ノードの特定フィールドの値を自動算出し、表示します。
プランナーの画面右下(①)を右クリックし、設定します。

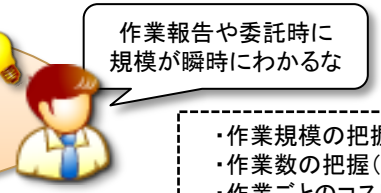
設定項目	概要	設定内容
計算方法	算出するための計算方法を設定します。	・なし ・合計 ・合計/160 ・合計/1,000 ・個数
フィルタ	算出対象になるノードの種類を設定します。	・すべて ・タスク ・タスクパッケージ ・マイルストーン
フィールド	算出の元になるフィールドを設定します。	・計画工数 ・実績工数 ・計画成果量 ・実績成果量 ・計画コスト ・実績コスト ・カスタムフィールド 名前が設定されている、カスタムフィールドのみです。
クリップボードにコピー	[オートカルク]で算出された内容をクリップボードにコピーします。	―

フィールド値の決定方法の表示

選択されたフィールドの、[フィールド値の決定方法]を表示します(②)。



ワンポイント活用法
取得したい情報に合わせて、
[計算方法]を設定しましょう。



・作業規模の把握(人月) … [合計/160]
・作業数の把握(タスク数) … [個数]
・作業ごとのコストの把握(金額) … [合計]、[合計/1000]

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

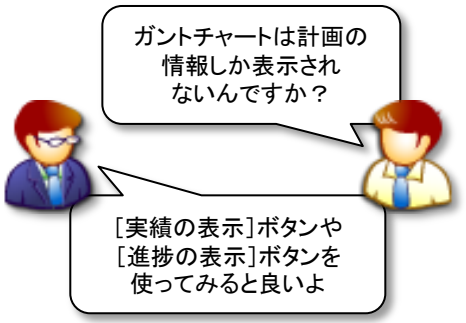
進捗・実績管理

ガントチャートでの進捗管理

ガントチャートにより視覚的にプロジェクトの進捗を管理する方法について説明します。

ガントチャートでプロジェクトを確認する

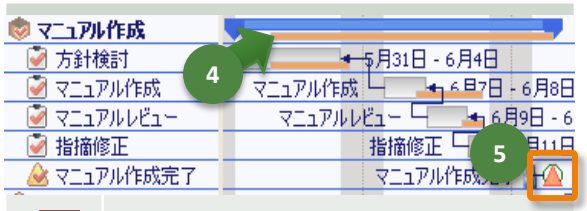
各ノードに関する日付・期間を、時間軸に沿って表した線表（ガントチャート）で表示します。
表示したガントチャートで、プロジェクトの計画情報と進捗情報を確認します。



1. [ガントチャート]ボタン（①）をクリックします。
2. 計画テーブルにガントチャートが表示されます（②）。
3. [表示]ツールバーのボタン（③）をクリックすると、[ガントチャート]の表示情報を切り替えることができます。

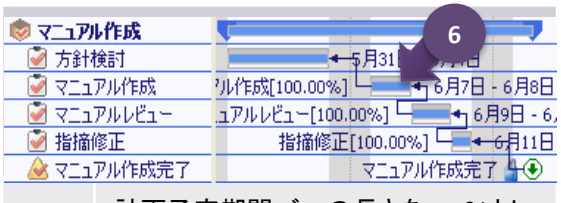
最新の実績データを、データベースから取り込む場合は、 をクリックします。

実績の表示



実績期間（④）・実績マイルストーン（⑤）を表示します。

進捗の表示



計画予定期間バーの長さを100%とし、進捗率に応じた長さの進捗バー（⑥）を表示します。

イナズマ線の表示

タスクと進捗状況を結ぶ線を表示します（⑦）。
過去に記録したイナズマ線を表示します（⑧）。

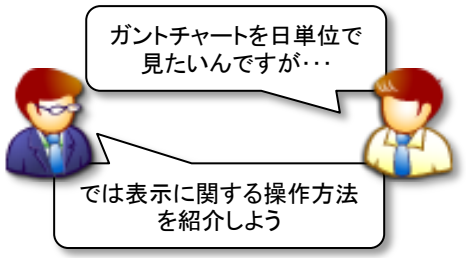
Professional Edition のみの機能です。

イナズマ線の＞は計画より進んでいる、＜は遅れていることを表します。
2日分＞が突出している場合、2日分計画より進んでいる状態になります。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

ガントチャートの表示単位を切り替える

ガントチャート上では、表示する期間の単位（スケール）を切り替えることができます。



表示スケールの切り替え

表示スケールのボタンで、 ガントチャートの表示スケールを切り替えることができます。
ボタンには以下の種類があります（①）。

1

ボタン名	
日	ガントチャートの表示スケールを、日単位にします。
稼働日	ガントチャートの表示スケールを、休日を除いた日単位にします。
週	ガントチャートの表示スケールを、週単位にします。
月	ガントチャートの表示スケールを、月単位にします。
ズームアウト	表示スケールを、ズームアウトしていきます。
ズームイン	表示スケールを、ズームインしていきます。
今日を表示	ガントチャートの左端付近に今日が表示されるように調整します。

期間の変更

［年月］バー（②）では以下の操作ができます。

－クリックした状態で左右に動かすと、表示範囲をスクロールします（③）。
－ダブルクリックすると、ズームインします。
－Shiftキーを押下しながらダブルクリックすると、ズームアウトします。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

進捗状況によってガントチャートを色分けする

ガントバー書式を使用して、進捗状況により色分けします。

初期状態では2種類のガントチャートのガントバー書式の定義が提供されており、目的に応じて使い分けることができます。

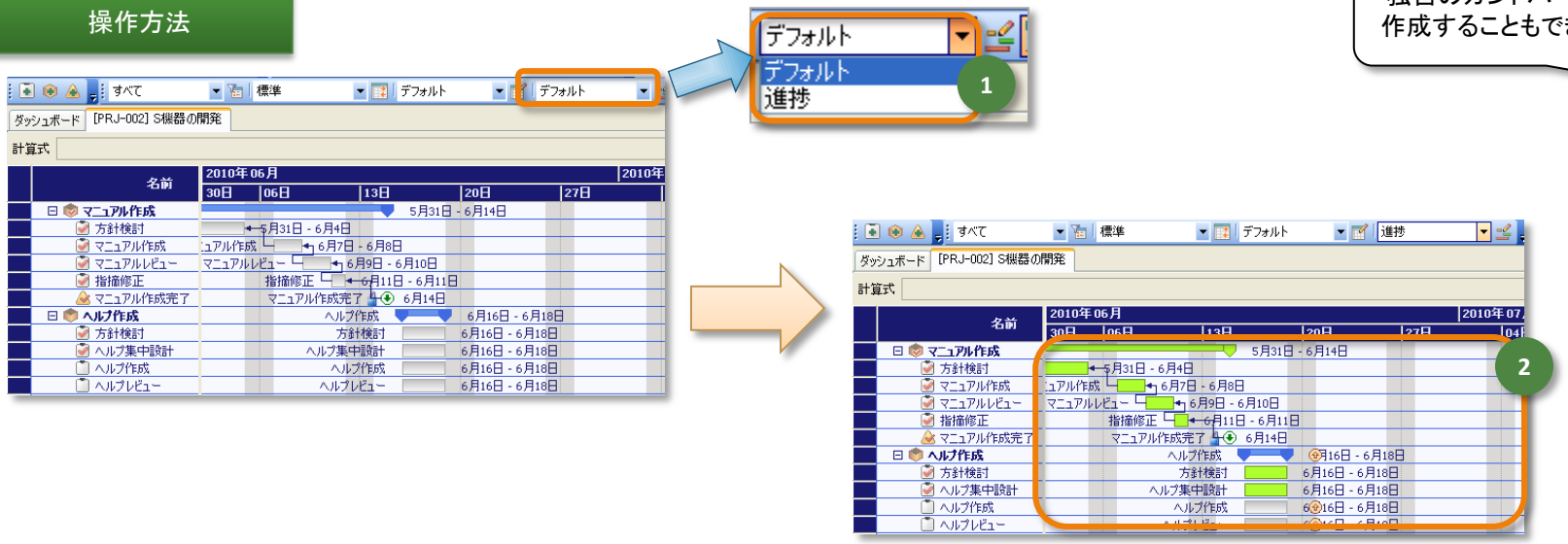
初期書式

定義書式名	用途および条件
デフォルト	標準の書式になります。
進捗	進捗情報に重点を置いた書式です。 デフォルトでの表示情報に加え、完了したタスク・タスクパッケージの[計画期間]や、[最終予測完了日]も表示します。

初期状態で提供されるガントバー書式の定義は、変更・削除ができます。

適用中の場合は、削除できません。

操作方法

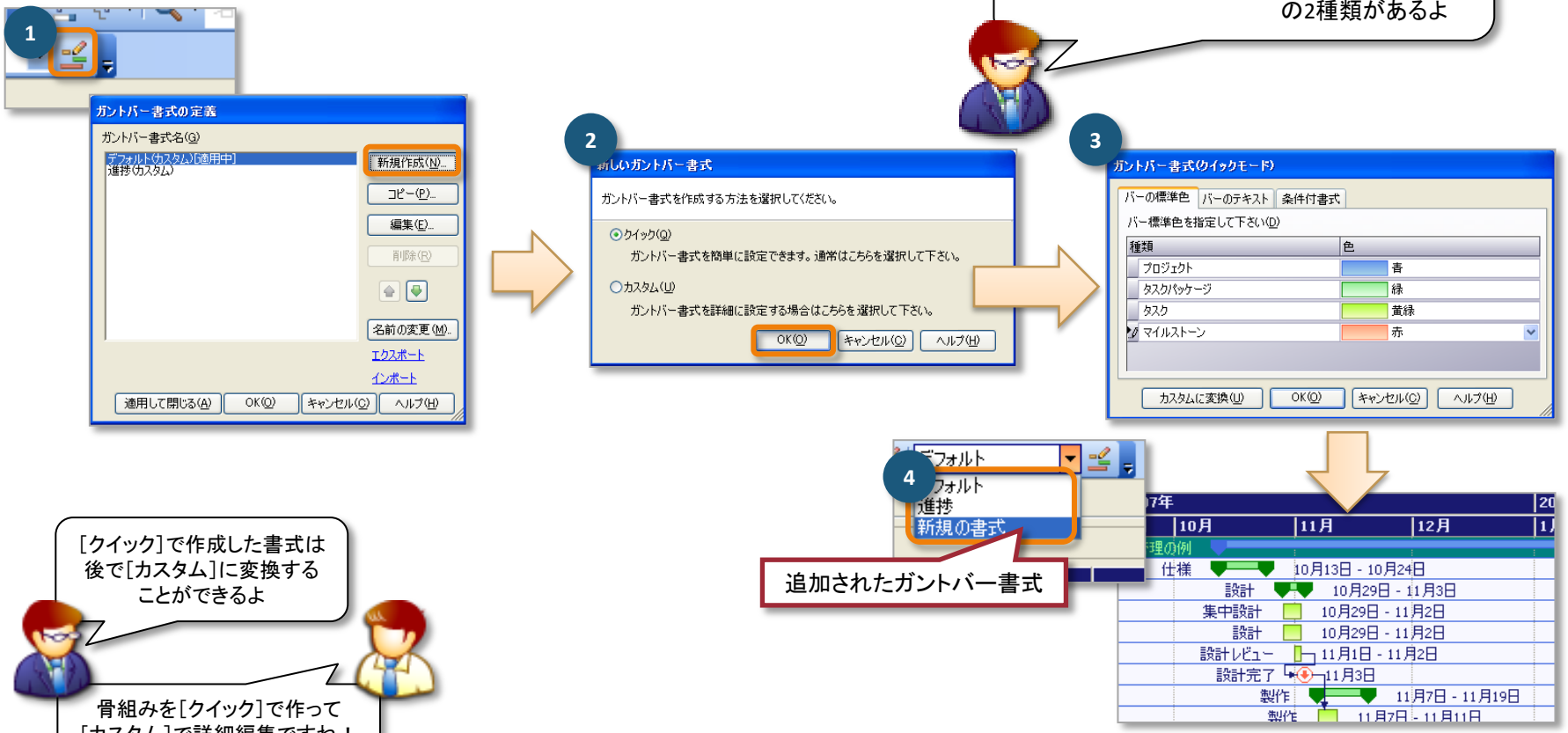


1. ツールバーの[ガントバー書式]をから目的のガントバー書式定義を選択します(①)。
2. 計画テーブルが選択したガントバー書式定義でガントバー表示されます(②)。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

ガントバー書式の表示色をカスタマイズする

ガントバー書式は、ガントチャートに表示するガントバーを条件に合わせて色づけします。
独自の条件を設定したガントバー書式を作ってみましょう。



ガントバー書式の[カスタム]モードについては、[TimeTracker FX ヘルプ]をご覧ください。

1. [ガントバー書式の定義]ボタンをクリックし、[ガントバー書式の定義]ダイアログを起動します(①)。
2. [新規作成]ボタンをクリックし、[新しいガントバー書式]ダイアログを起動します(②)。
3. 作成するモードを選択し[OK]をクリックして、[ガントバー書式]ダイアログで詳細を設定します(③)。
4. [ガントバー書式の定義]ダイアログで[OK]をクリックすると、新しいガントバー書式が追加されます(④)。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

進捗・実績管理

アーンドバリューによる進捗管理

TimeTracker FXは、アーンドバリューに対応しています。
ここでは、アーンドバリューを活用した進捗管理について説明します。

拡張アーンドバリューモデルとは

TimeTracker FXでは、一般的なアーンドバリューに工数の考え方を取り入れた拡張アーンドバリューモデルを採用しています。
ここでは進捗管理において主となる指標 SPI/TPI について説明します。

SPIとは

スケジュール指標（Schedule Performance Index）の略で、スケジュールの進み具合を表す数値です。

SPI（①）＝ 実際の進捗率（④） ÷ 計画上の進捗率（③） で算出します。

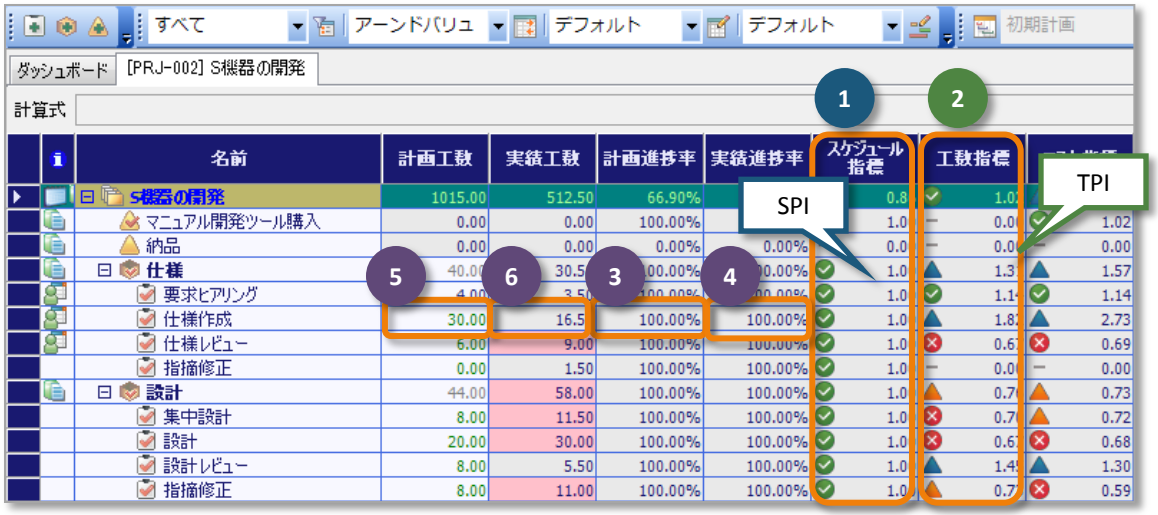
SPI	進み具合
0.5	計画の半分しか進んでいない
1.0	計画通りに進んでいる
2.0	計画の2倍進んでいる

TPIとは

工数指標（Time Performance Index）の略で、生産性の良さを表す数値です。

TPI（②）＝（計画工数（⑤）× 進捗率（④））÷ 実績工数（⑥） で算出します。

TPI	生産性
0.5	計画の2倍の工数がかかっている
1.0	経過通りの生産性になっている
2.0	計画の2倍の生産性になっている



SPI/TPIを使うには、以下の入力が必要です。

1. ［計画工数］
2. ［開始日］
3. ［終了日］
4. ［進捗率］
5. ［実績工数］

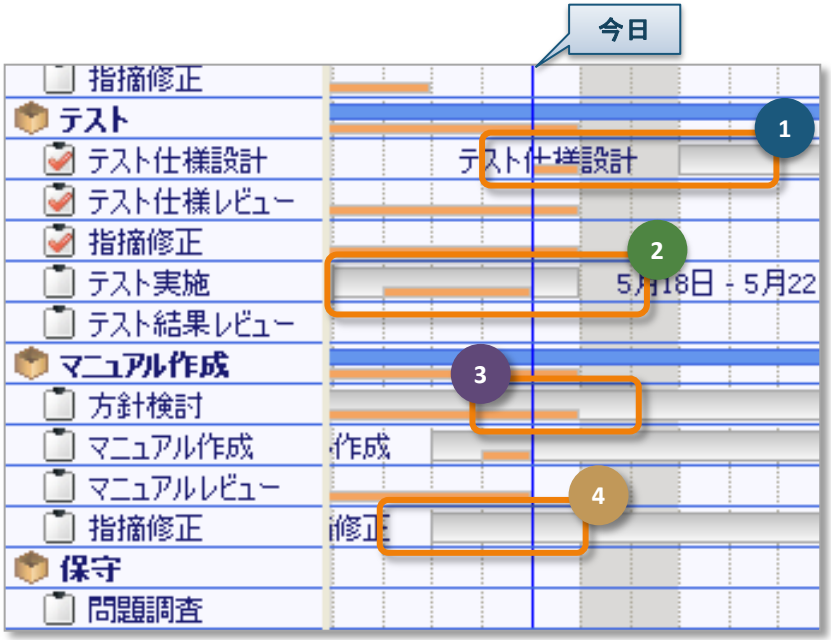
必要な値がない場合は、0が表示されます。

テーブル切り替えで、［アーンドバリュー ］を選択しても確認することができます。

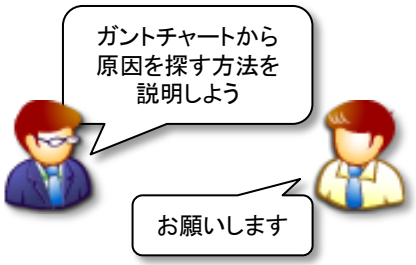
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

進捗状況が悪化した原因を探る

SPI/TPIの値が悪い場合、ガントチャートから原因を見つける方法を紹介します。



[書式]－[今日の線を表示]で、今日の日付の位置に青い線が表示できます。



計画前に実績がある

計画開始日より前に、実績が入力され前倒しで着手がされています(①)。

実績はあるが着手遅れ

実績はありますが、実際に着手されたのは計画開始日より後になっています(②)。
SPIが悪化している場合、原因となっている可能性があります。

実績あり計画通り

計画通りに着手され、実績が入力されています(③)。
進捗率・工数を詳しく確認しましょう。

実績無し着手遅れ

計画では開始していますが、着手できていません(④)。
SPIが悪化している場合、原因となっている可能性があります。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

進捗・実績管理

Excelとのデータ連携

Excel連携アドインを活用して、TimeTracker FXとExcelとの間で
データを相互にインポート・エクスポートする方法について説明します。

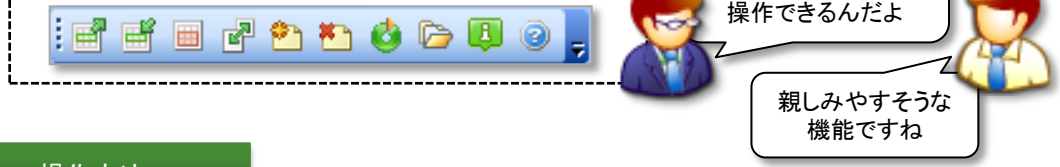
Excel連携アドインについて

Excel連携アドインは、すべての列を上書きするクリップボード連携と違い、
上書きする列をユーザが選択できます。
これにより、Excelに記入した内容を残しつつ、データ連携をすることができます。

Excel連携アドイン機能

TimeTracker FXからExcelへのコピーや、ExcelからTimeTracker FXへの反映を
[TimeTracker FXツールバー]で操作できる機能です。
単純な更新操作や帳票連携は、このアドインを使って行うことができます。

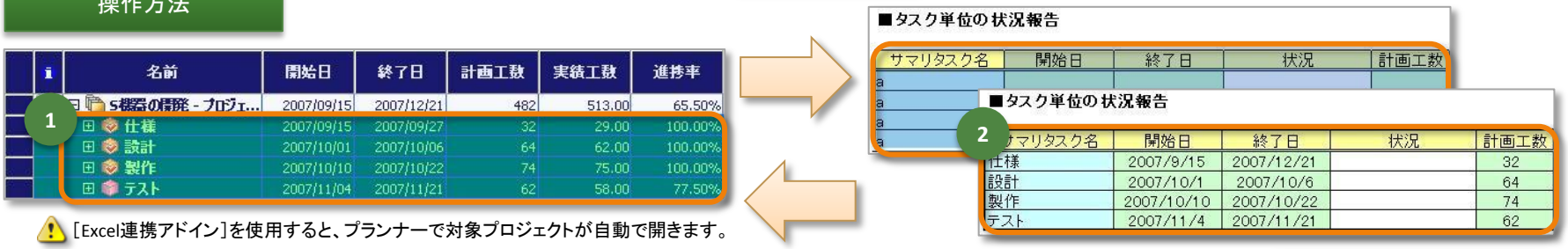
[TimeTracker FXツールバー]



Professional Editionのみの機能です。

ボタン	機能
	TimeTrackerFXにエクスポート
	TimeTrackerFXからインポート
	表を選択
	選択ノードと関連付け
	更新データにコメントを追加
	選択範囲のコメントを削除
	TimeTracker FXを起動する
	このプロジェクトを開く
	バージョン情報
	ヘルプの表示

操作方法



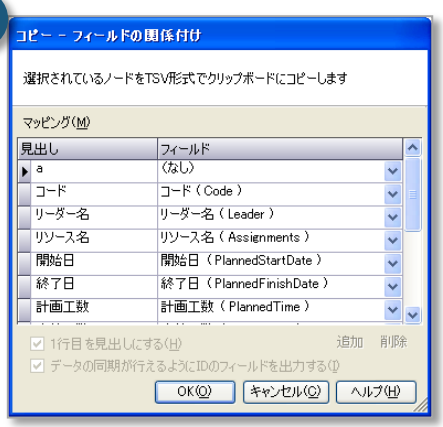
[Excel連携アドイン]を使用すると、プランナーで対象プロジェクトが自動で開きます。

1. プランナーで計画テーブルを開き、Excel連携の対象となるノードを選択します(①)。
2. [Excel連携ツールバー]から ボタン(TimeTracker FXからインポート)をクリックし、ExcelにTimeTracker FXのノード情報を取り込むことができます(②)。
3. [Excel連携ツールバー]から ボタン(TimeTracker FXにエクスポート)をクリックし、Excelで編集したノード情報をTimeTracker FXに反映することができます。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FXからExcelにインポートする

[Excel連携アドイン]を使って、Excelで作成された会社や組織の帳票にデータを反映させましょう。

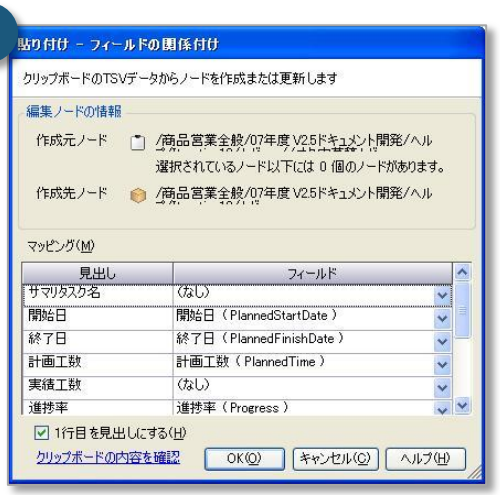


1. 表の範囲を認識するため任意の文字(この例では、[a]を設定)を記入します(①)。
   - 任意の文字を記入するのはセルが空白な状態である初回のみです。
     同じ表に再度インポートする際はこの手順は必要ありません。
2. 表内のセルを選択し、ボタン(表を選択)をクリックします(②)。
3. プランナーのノードを選択した状態で(③)、ボタン(選択ノードと関連付け)をクリックします(④)。
   - 1度関連付けを行っておくと、同じ表に再度インポートする際はこの手順は必要ありません。
4. ボタン(TimeTracker FXからインポート)をクリックし(⑤)、[フィールドの関係付け]ダイアログ(⑥)でフィールドの関係付けをして[OK]をクリックします。
5. 関連付けを行ったフィールドが、Excelにインポートされます(⑦)。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

ExcelからTimeTracker FXにエクスポートする

Excel連携アドインを使って、Excelで編集されたデータをTimeTracker FXに反映させましょう。



1. 表内のセルを選択し ボタン(表を選択)をクリックします(①)。
2. ボタン(TimeTracker FXにエクスポート)をクリックし(②)、[フィールドの関係付け]ダイアログ(③)でフィールドの関連付けをして[OK]をクリックします。

   1度関連付けを行っておくと、同じ表に再度インポートする際はこの手順は必要ありません。

3. 関連付けを行ったフィールドがTimeTracker FXにエクスポートされ(④)、Excelのデータで更新されます。

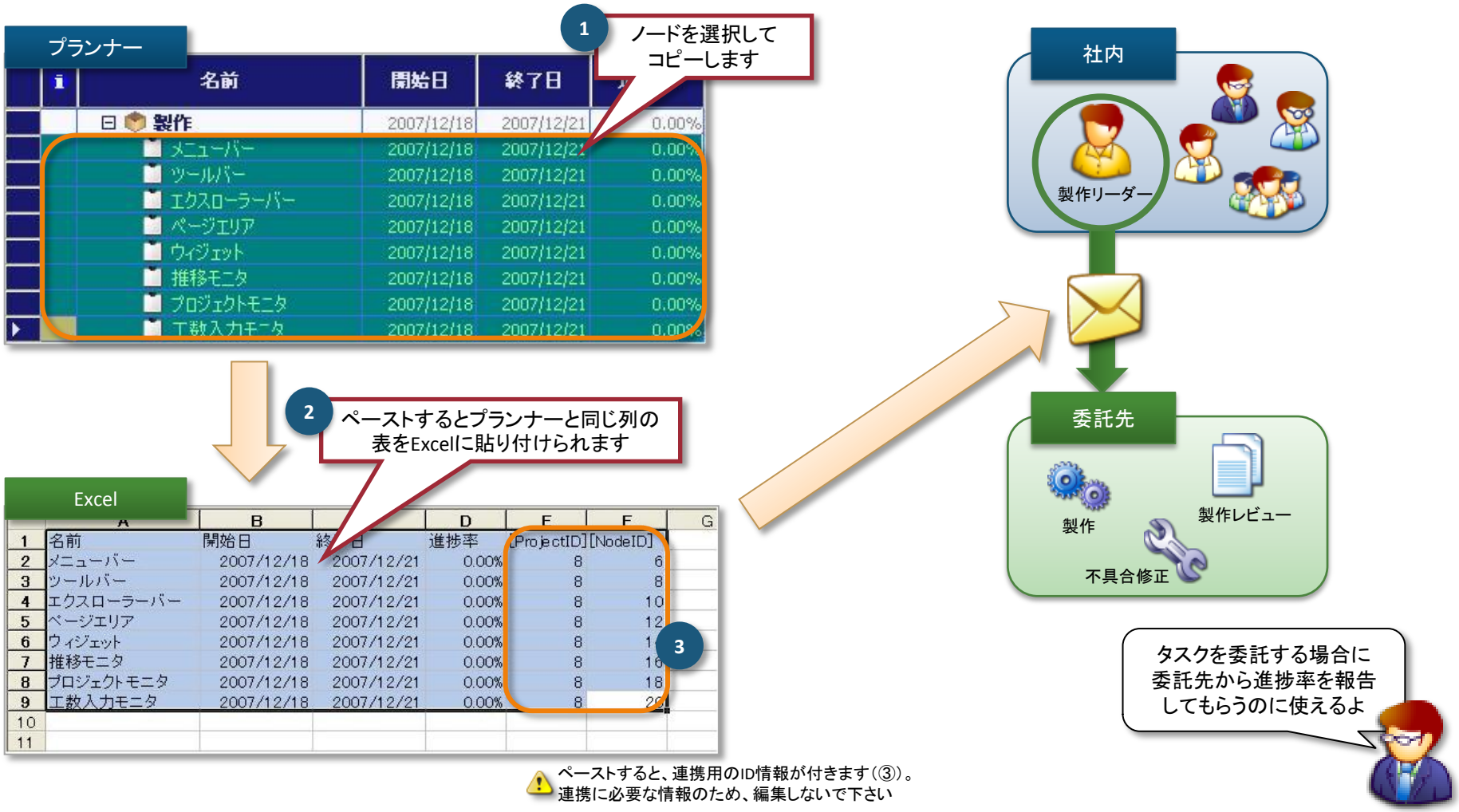
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

他のアプリケーションへデータをコピーする

Excelにデータをコピー

コピー&ペーストの操作で、計画テーブルのデータを他のアプリケーションに貼り付けることができます。
ここでは計画テーブルのデータをExcelへコピーする方法を紹介します。

Professional Edition のみの機能です。



ペーストすると、連携用のID情報が付きます(③)。
連携に必要な情報のため、編集しないで下さい

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

進捗・実績管理

Microsoft Projectとのデータ連携

TimeTracker FXとMicrosoft Projectとの間でデータを連携させる方法について説明します。

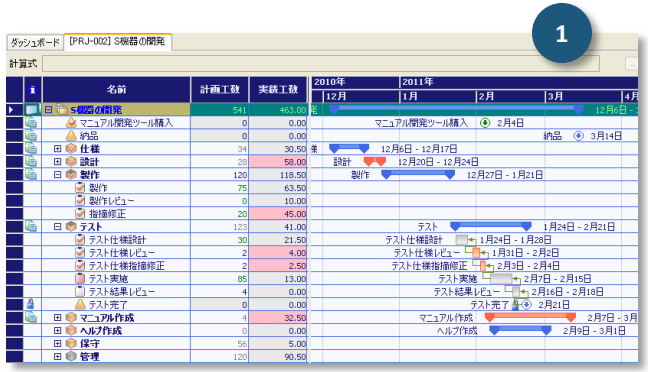
Microsoft Project でプロジェクトを閲覧する

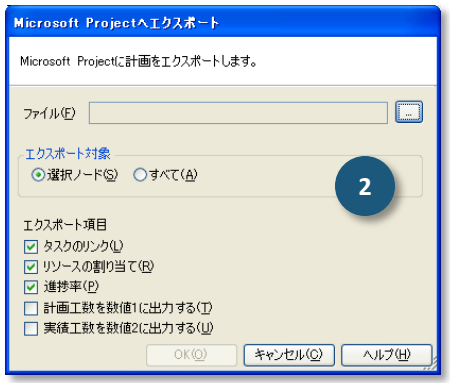
TimeTracker FX のプロジェクトをMicrosoft Project で閲覧することができます。

TimeTracker FX をまだ導入されていない取引先や関係者との間で、プロジェクトの計画や進捗情報を共有するのに大変便利です。

まず、TimeTracker FX 上でプロジェクトを開き、Microsoft Project で閲覧可能なXML形式のファイルにエクスポートします。

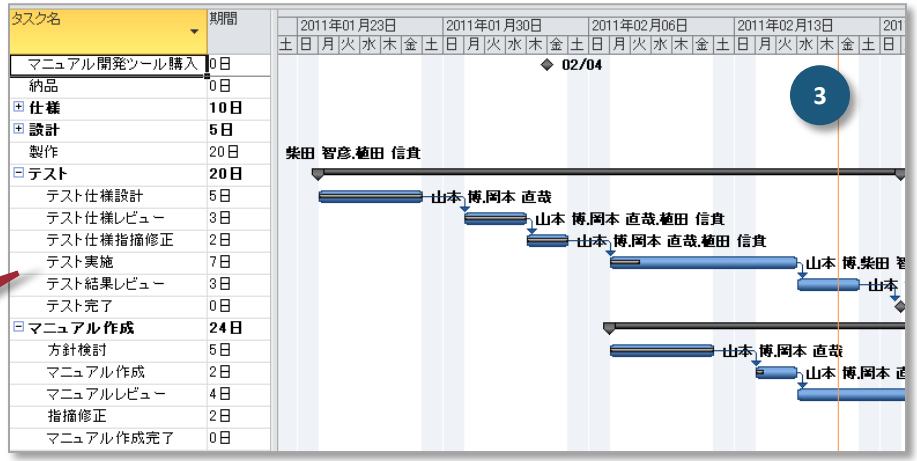
エクスポートしたファイルを配布し、Microsoft Project で開けば、プロジェクトの内容を閲覧できます。





1. TimeTracker FX でプロジェクトを開き、[ファイル]メニューから[Microsoft Projectへエクスポート]をクリックします(①)。
2. 出力するファイル名、エクスポート対象のノードと項目を選択し、[OK]ボタンをクリックします(②)。
3. Microsoft Project を起動し、出力されたファイルを開きます(③)。

Microsoft Projectがインストールされていなくてもエクスポートが可能です。



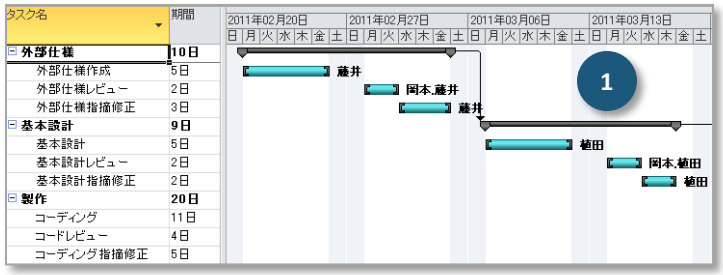
TimeTracker FXのプロジェクトが Microsoft Project で確認できた

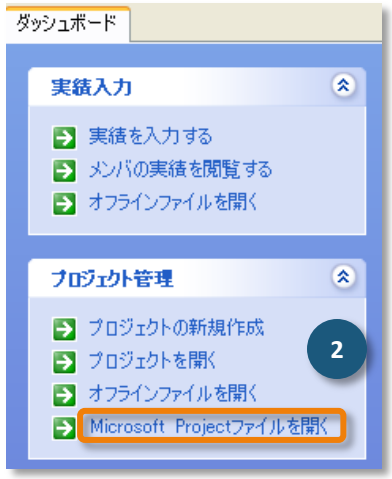
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

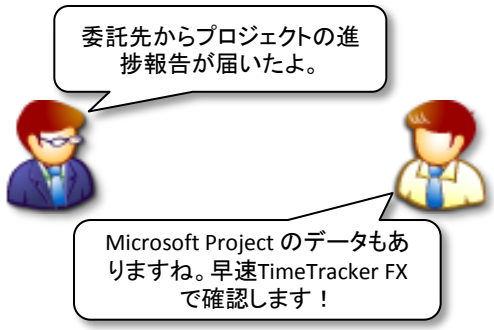
Microsoft Project のプロジェクトデータを閲覧する

Microsoft Project のプロジェクトをTimeTracker FX で閲覧することができます。Microsoft Project のインストールは不要です。
Microsoft Project を使用されている取引先や関係者との情報共有に活用できます。

Microsoft Project でプロジェクトをMPPもしくはXML形式で保存します。
そのファイルを、TimeTracker FX のビューア機能を使って閲覧します。







1. Microsoft Project上でプロジェクトをMPPまたはXMLのファイル形式で保存します（①）。
2. ダッシュボードのエクスプローラバーから［Microsoft Projectファイルを開く］をクリックします（②）。
3. 閲覧対象のMicrosoft Project のファイルを選択します。
4. TimeTracker FX 上にプロジェクトの計画テーブルとガントチャートが表示されます（③）。

Microsoft Projectがインストールされていなくても閲覧可能です。

Microsoft Project のプロジェクトデータがTimeTracker FX上で表示された

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

TimeTracker FX

進捗・実績管理

プロジェクトの工数分析

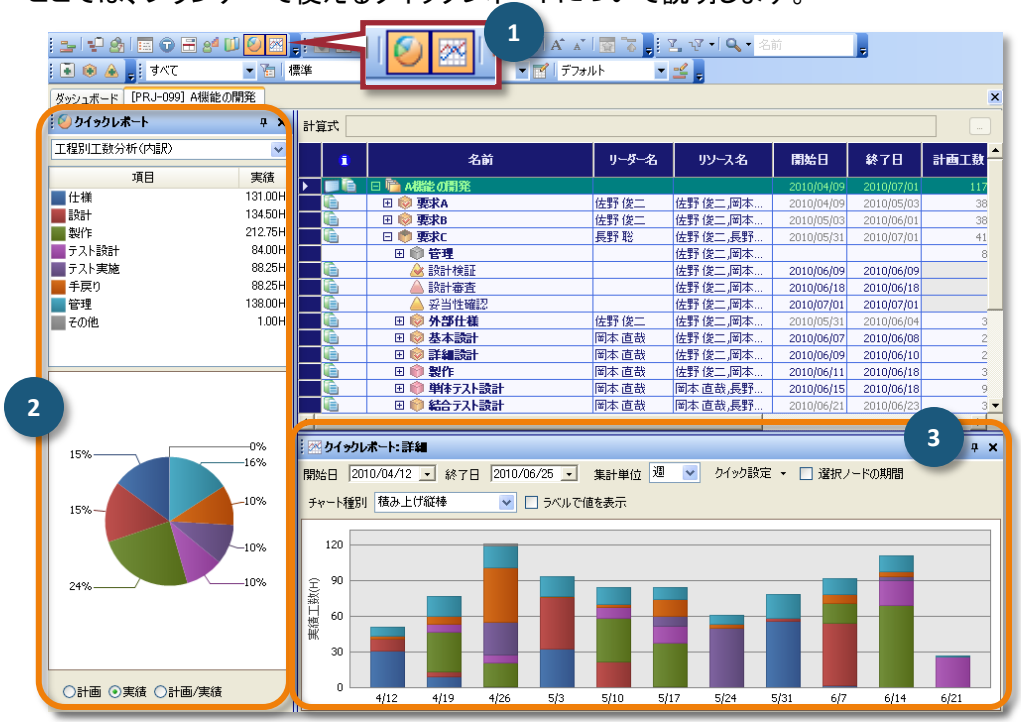
プランナーでは、クイックレポート機能によりプロジェクトの工数を簡単な操作で迅速に集計・分析することができます。
ここでは、クイックレポートの操作方法について説明します。

クイックレポートとは

WBSを選択するだけで、そのノード以下のタスクについてリアルタイムで工数をグラフ化できる機能です。

ここでは、プランナーで使えるクイックレポートについて説明します。

Professional Edition のみの機能です。



クイックレポートは、ボタン(①)をクリックして表示します。

－**[クイックレポート]ドッキングウィンドウ**(②) :

をクリックし、表示します。

WBS上で選択したノード範囲を対象に、工数の集計情報を表示します。

「計画工数のみ」「実績工数のみ」「計画工数・実績工数を並べて表示」から表示対象を選択することができます。

選択ノードを変更すると、内容が更新されます。

－**[クイックレポート:詳細]ドッキングウィンドウ**(③) :

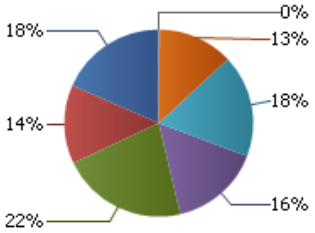
をクリックし、表示します。

[クイックレポート]ドッキングウィンドウでの設定に基づき、実績工数や計画工数の推移データをグラフで表示します。

グラフの種類を切り替えることもできます。

[クイックレポート:詳細]ドッキングウィンドウは、[クイックレポート]ドッキングウィンドウが表示中の場合のみ、表示できます。

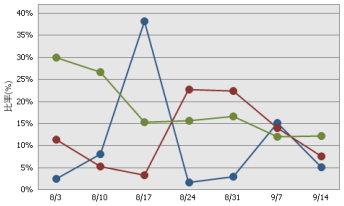
工程比率



設計やテストのバランスは妥当かどうか、案件やフェーズ毎の違いなどが直ぐに分かります。

[クイックレポート]ドッキングウィンドウ(②)に表示します。

レビューや手戻り工数



品質を保証するためのレビュー活動に時間が使えているか、手戻り工数の比率が増えていないかなどが簡単な設定で確認できます。

[クイックレポート:詳細]ドッキングウィンドウ(③)に表示します。

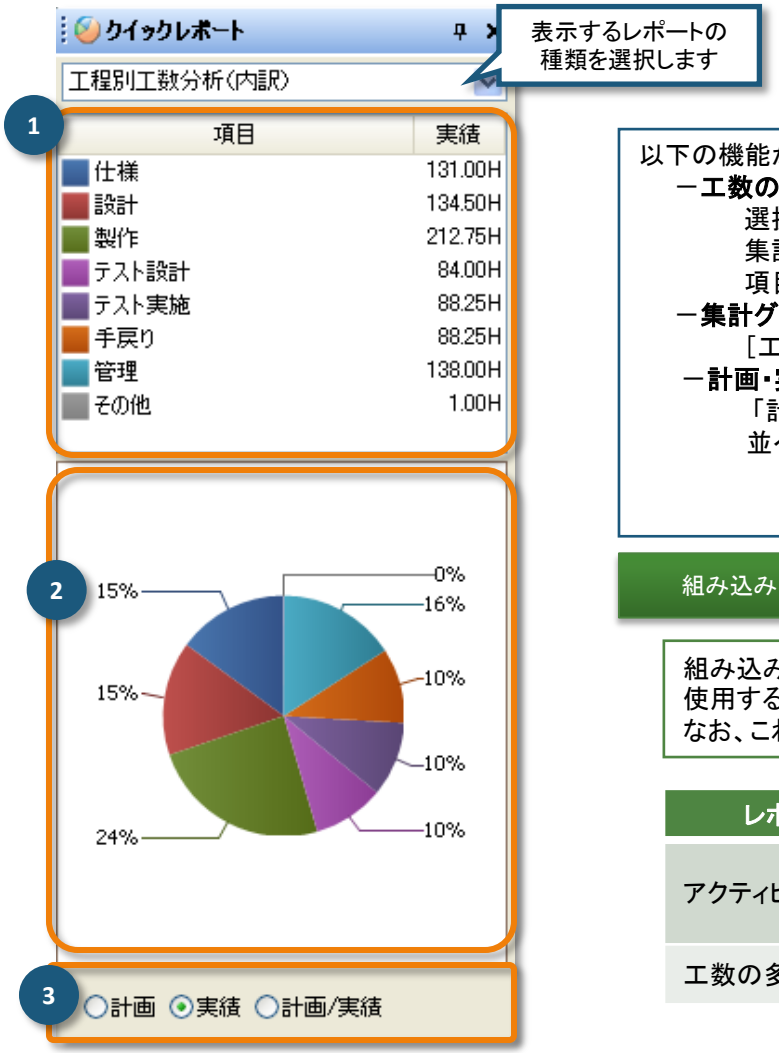
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

実績の集計値と内訳を可視化する

業務状況を工数で可視化

[クイックレポート]ドッキングウィンドウでは、グループ化された実績の集計値と、その内訳が視覚的に確認できます。
ここでは、[クイックレポート]ドッキングウィンドウの使い方を説明します。

Professional Edition のみの機能です。



以下の機能があります。

－**工数の集計情報**(①):
選択したノードのアクティビティや、工程別のタスクの工数集計結果を表示します。
集計項目は最大16個(表示色も最大16色)まで設定可能です。
項目名左側の色は、グラフと対応しています。

－**集計グラフ**(②):
[工数の集計情報]をグラフで表示します。各グループの内訳を確認できます。

－**計画・実績切り替え**(③):
「計画工数のみ」「実績工数のみ」「計画工数・実績工数を並べて表示」から表示対象を選択することができます。

組み込みレポートの種類

組み込みレポートとして、あらかじめ以下のレポートが用意されているので、すぐにクイックレポートを使用することができます。
なお、これらのレポートは、設定内容の変更はできません。

レポート名	内容
アクティビティ1～5	アクティビティの値ごとの集計情報を、レポートに表示します。 アクティビティカテゴリに名前が設定されている場合は、その名前をレポート名とします。
工数の多いタスク	WBSの選択範囲の中で、実績工数の多いタスクを順に表示します。

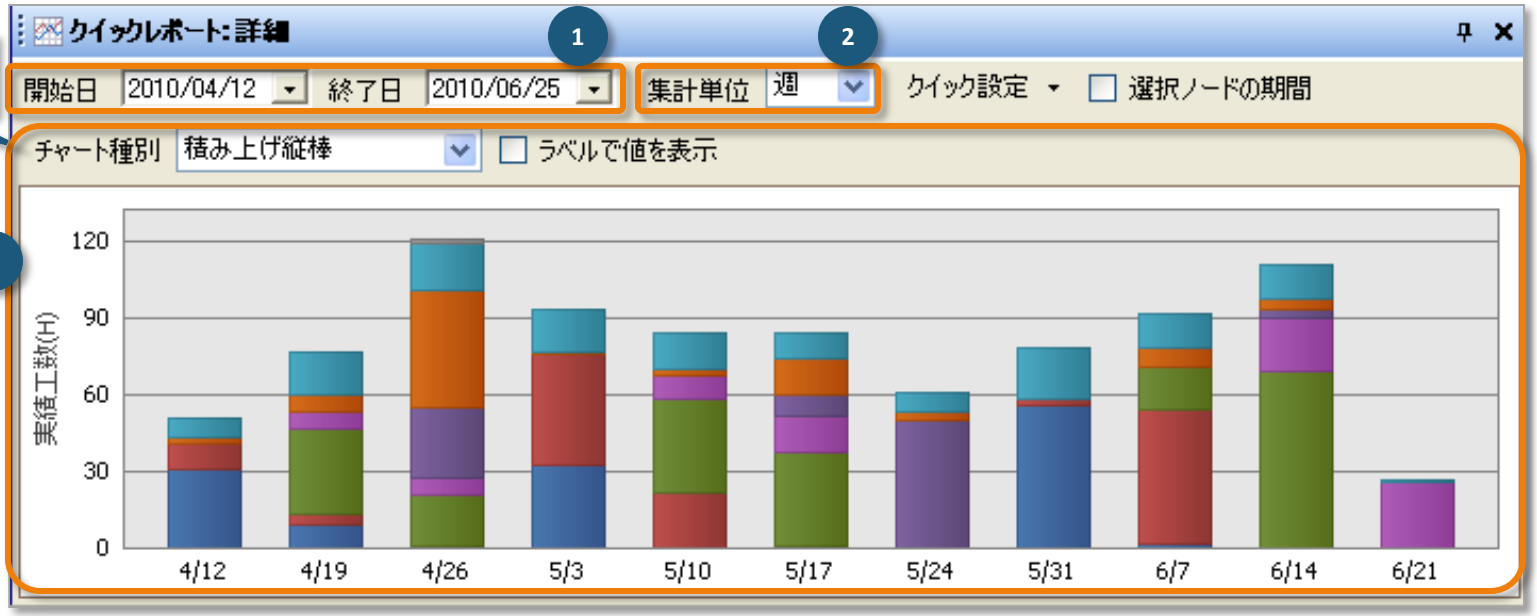
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

グループごとの推移状況を確認する

[クイックレポート:詳細]ドッキングウィンドウでは、[クイックレポート]ドッキングウィンドウで設定されたグループの推移状況が視覚的に確認できます。
ここでは、[クイックレポート:詳細]ドッキングウィンドウの使い方を説明します。

Professional Edition のみの機能です。

表示するグラフの種類が選択できます



以下の機能があります。

－**表示期間対象設定**(①):
　推移グラフの集計対象期間を指定します。日付を変更すると、グラフの表示を更新します。

－**グラフの集計単位**(②):
　グラフの集計単位を「日」「週」「月」から選択できます。
　この設定内容に対応してグラフの表示単位が変わります。
　週単位の場合、月曜～日曜が一週間の単位となります。

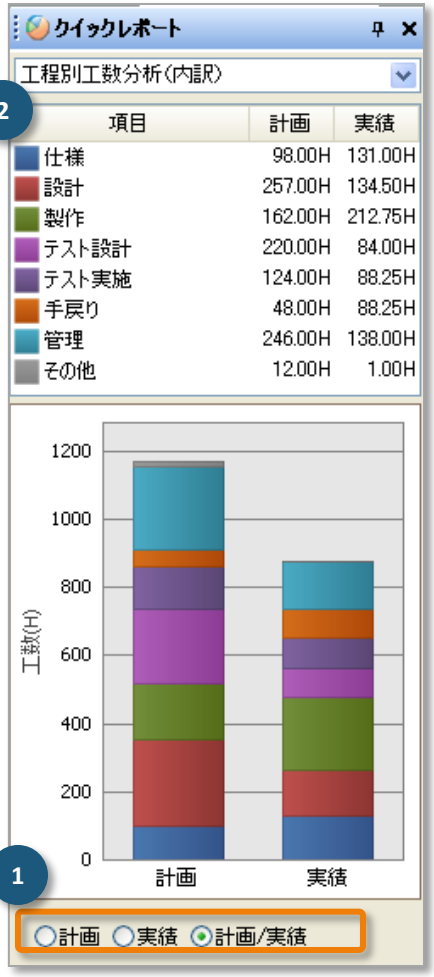
－**推移グラフ**(③):
　[クイックレポート]ドッキングウィンドウでの設定に基づき、推移のグラフを表示します。
　集計項目数が16を超える場合、グラフを表示しません。

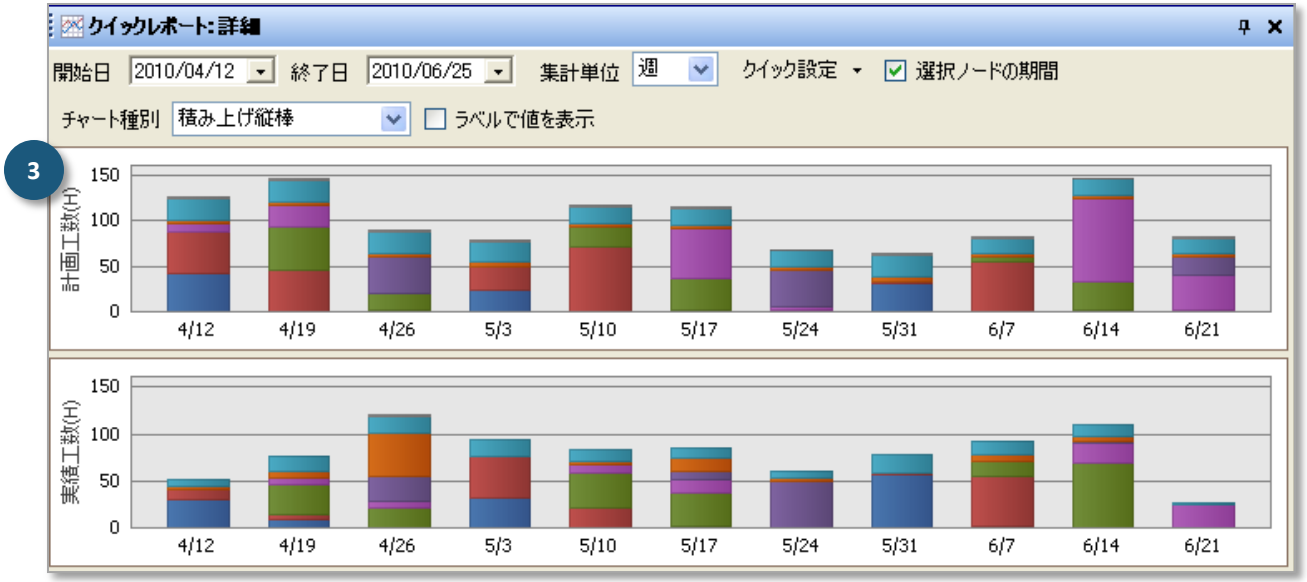
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

予実の差異を確認する

クイックレポートの集計対象として「計画工数」「実績工数」「計画工数と実績工数」を切り替えて表示することができます。
計画工数と実績工数を並べて表示すると、予定に対する実績が簡単に確認でき、仕事の振り返りなどに活用できます。
ここでは、クイックレポートで計画工数と実績工数を並べて表示させた場合の見方について説明します。

Professional Edition のみの機能です。





クイックレポートの集計対象として「計画/実績」を選択します(①)。

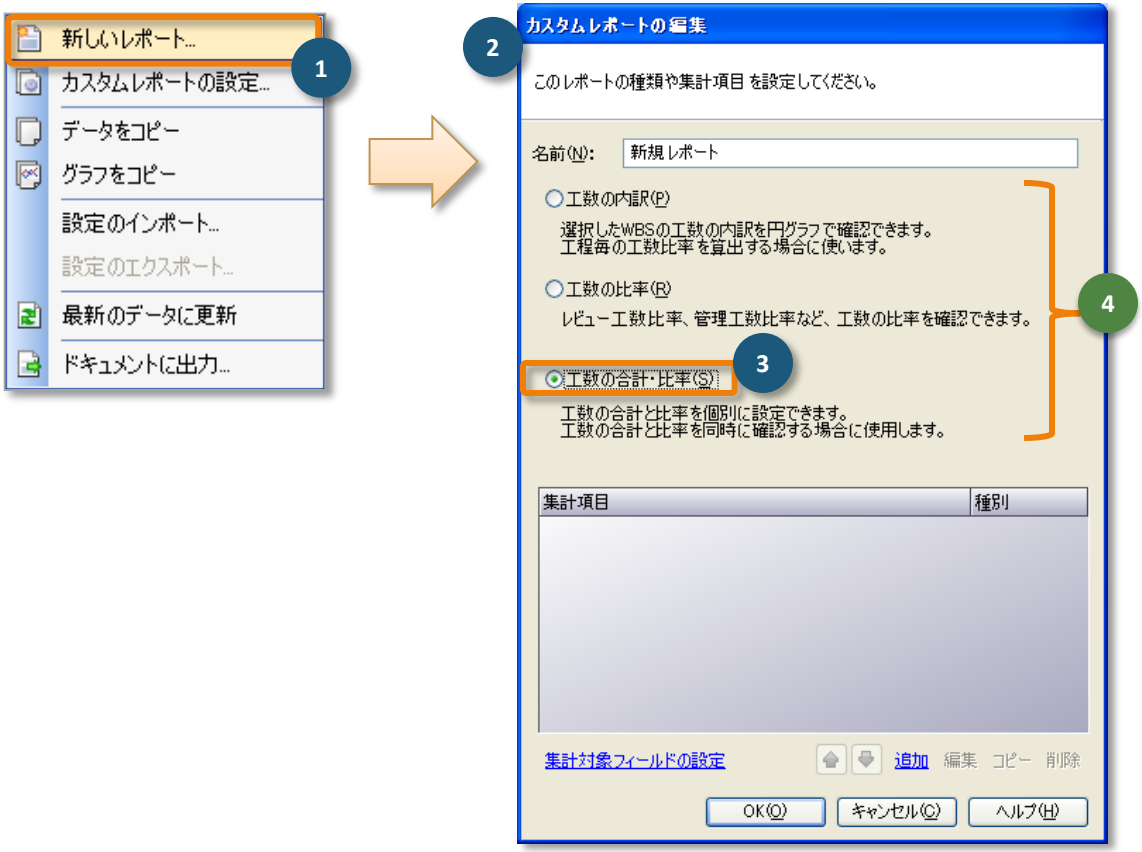
[クイックレポート]ドッキングウィンドウでは、項目毎に計画工数と実績工数の値とともに、
棒グラフが並べて表示されます(②)。
この例では、設計の実績工数が計画よりも少ないのに対し、製作の実績工数が
計画を超過していることなどが確認できます。

[クイックレポート:詳細]ドッキングウィンドウでは、時系列の推移グラフが上下に並べて表示されます(上段:計画工数、
下段:実績工数)(③)。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

独自のレポートを作成する(1)

あらかじめ用意されているレポートに加え、カスタムレポートとして独自にレポートの内容を作成することもできます。
ここでは開発と管理の工数バランスの妥当性を確認するレポートを作って、分析してみましょう。

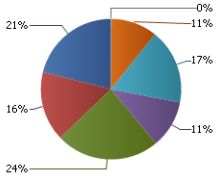


1. [クイックレポート]ドッキングウィンドウを右クリックし、コンテキストメニューから[新しいレポート]を選択します(①)。
2. [カスタムレポートの編集]ダイアログ(②)が表示されるので、新規レポートの名前を設定します(この例では「管理工数の内訳」)。
3. [工数の合計・比率]を選択します(③)。

Professional Edition のみの機能です。

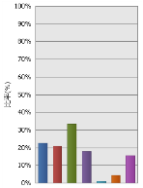
選択項目(④)によりクイックレポートに表示する[集計グラフ]が以下のようになります。

工数の内訳



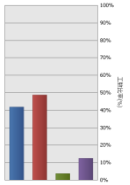
グループの集計値を円グラフで表示します。
集計対象が「計画/実績」の場合は、計画と実績それぞれの棒グラフを表示します。

工数の比率



グループの工数比率を棒グラフで表示します。

工数の合計・比率



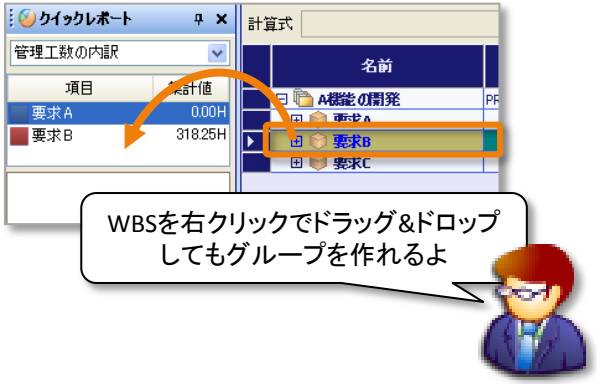
グループの表示値や条件を個別に設定し、集計値または比率を棒グラフで表示します。
集計対象が「計画/実績」の場合はグラフを表示しません。

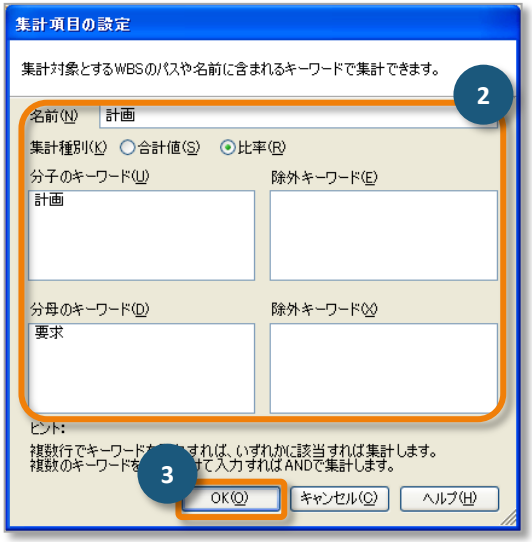
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

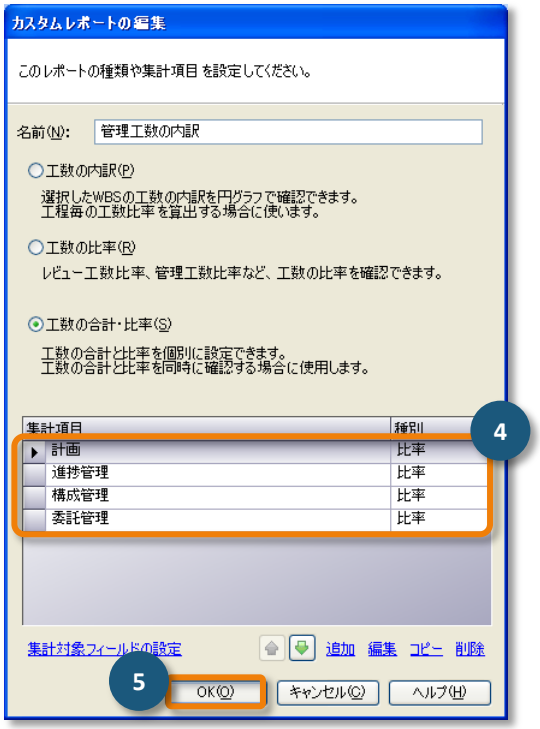
独自のレポートを作成する(2)

独自のレポートを作成する(1)からの続きです。
グラフに表示する、グループを作りましょう。

Professional Edition のみの機能です。







1. [カスタムレポートの編集]で[追加]をクリックし、実績の集計グループとなる[集計項目]を作成します(①)。
2. [集計項目]の条件(②)を作成したら、[OK]をクリックします(③)。
3. すべてのグループを作成したら(④)、[OK]をクリックしクイックレポートを表示します(⑤)。

作成する[集計項目]の条件は、右表(⑥)を参照してください。
なお、[除外キーワード]はありません。

6

集計項目	キーワード(分子／分母)	集計種別
計画	計画／要求	比率
進捗管理	進捗／要求	比率
構成管理	構成／要求	比率
委託管理	委託／要求	比率

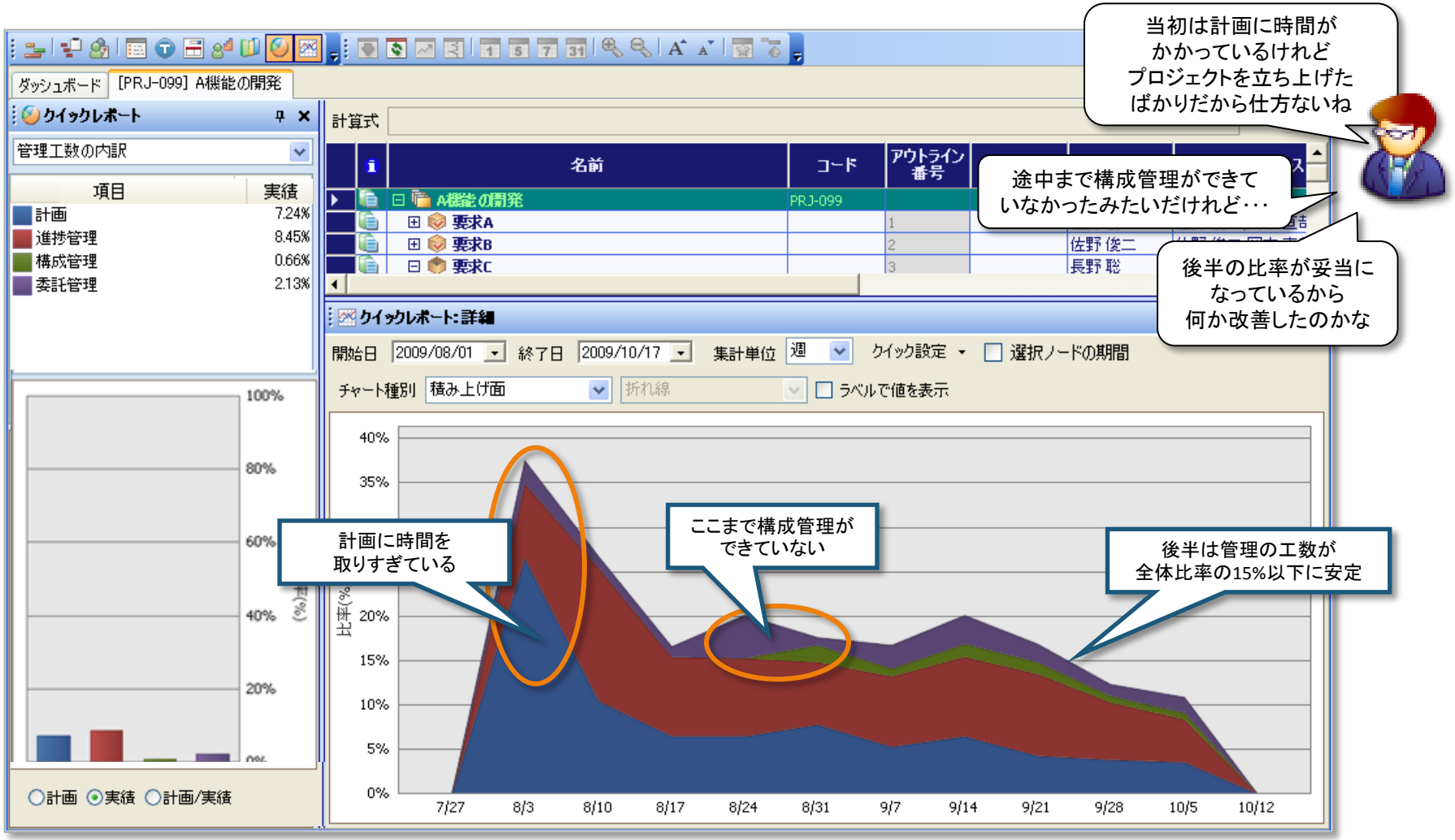
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

独自のレポートを作成する(3)

独自のレポートを作成する(2)からの続きです。

作成したカスタムレポートで実際に分析してみましょう。

Professional Edition のみの機能です。



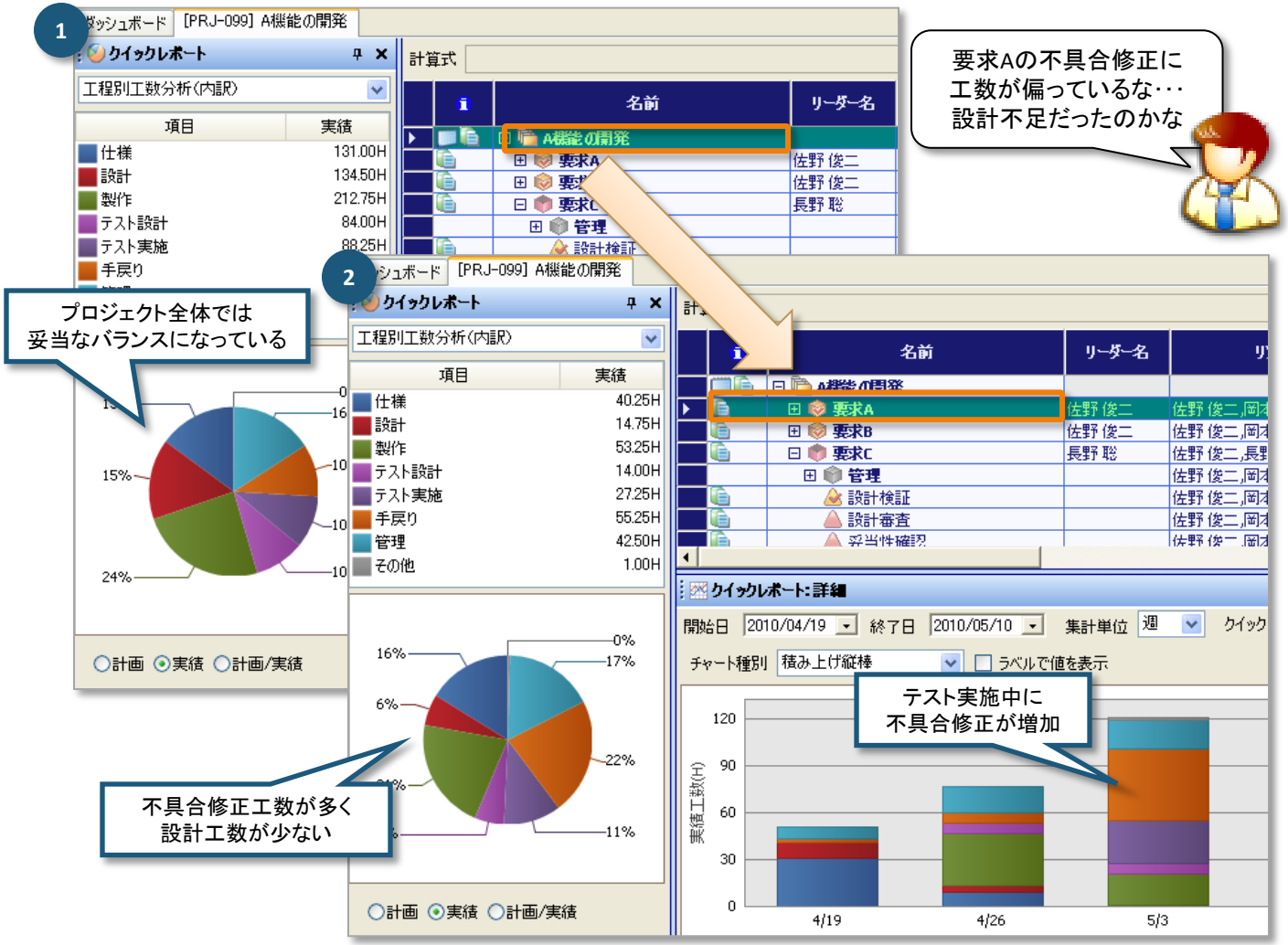
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

<活用例1>プロジェクトの隠れた問題点を見つける

業務状況を工数で可視化

一見プロジェクト全体では問題が無いように見える場合も、詳細レベルでは何らかの問題を抱えている場合があります。
クイックレポートは選択したWBS単位で内容を切り替えられるので、フェーズごとの分析もできます。

Professional Edition のみの機能です。



「工数分析レポート」の集計項目は、以下の設定になっています。

集計項目	キーワード / 除外キーワード	
仕様	仕様	
	テスト 手戻り	(OR条件)
設計	設計	
	テスト 仕様 手戻り	(OR条件)
製作	製作	
	手戻り	
テスト設計	テスト設計 テスト仕様	(OR条件)
	手戻り	
テスト実施	テスト	
	仕様 設計 手戻り	(OR条件)
手戻り	手戻り	
	(なし)	
管理	管理	
	(なし)	

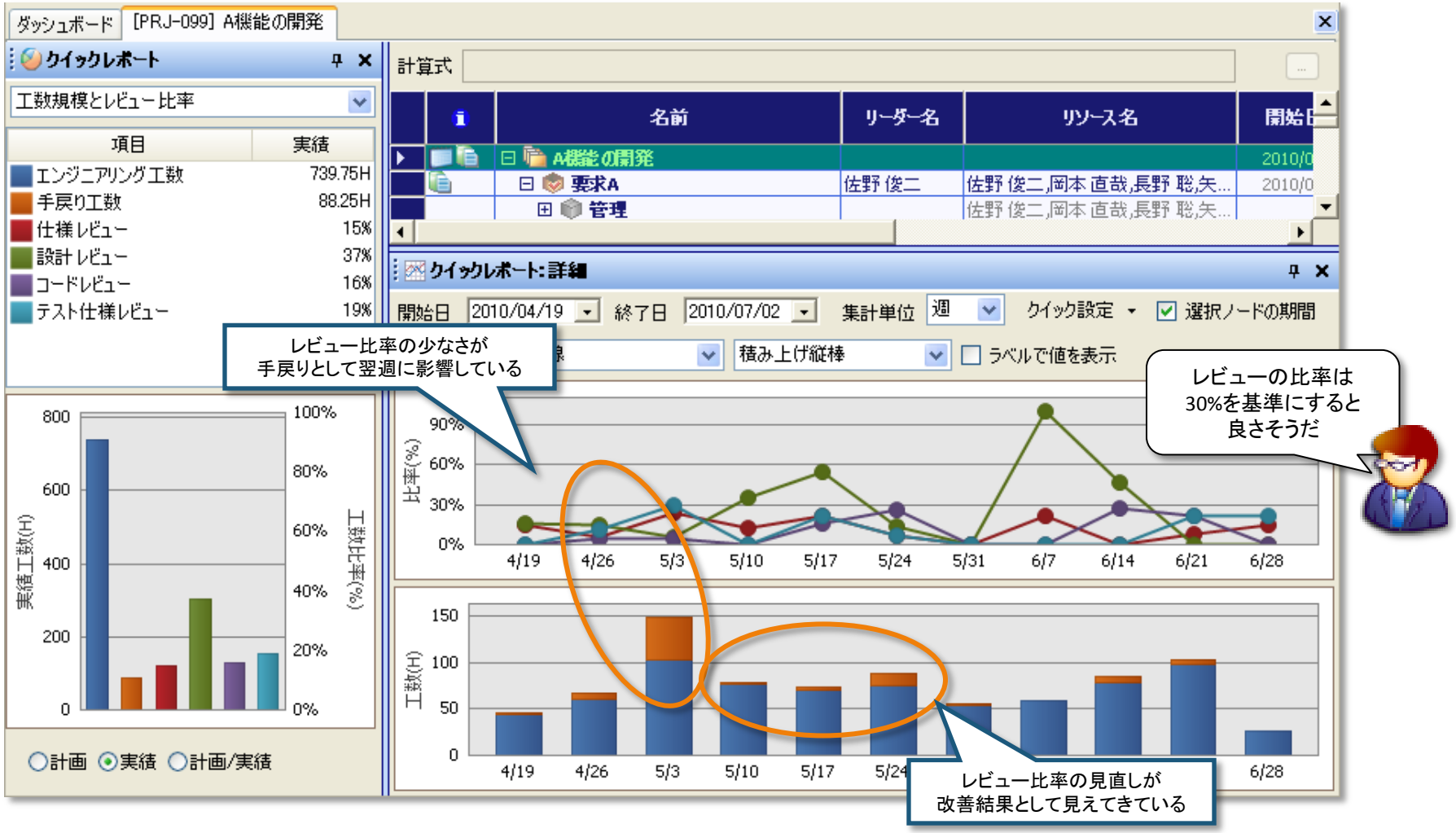
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

<活用例2>工程の進行とレビュー比率を確認する(1)

業務状況を工数で可視化

工数と比率を確認することで、業務品質が見える化されます。

Professional Edition のみの機能です。



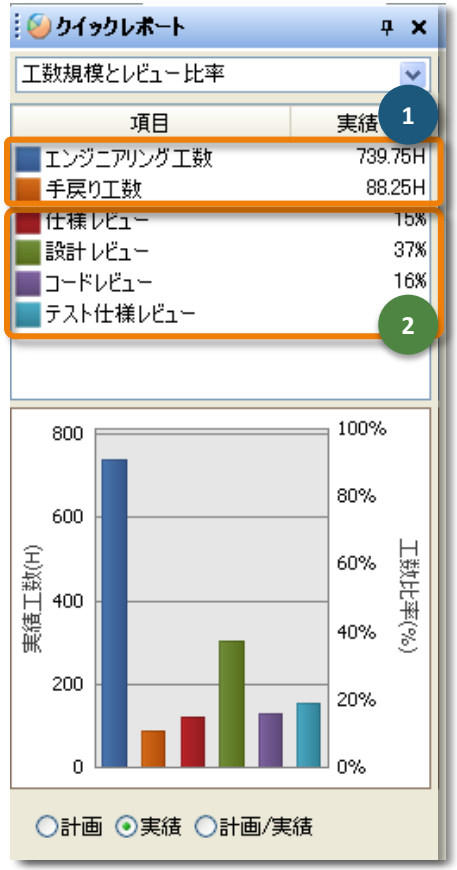
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

<活用例2>工程の進行とレビュー比率を確認する(2)

業務状況を工数で可視化

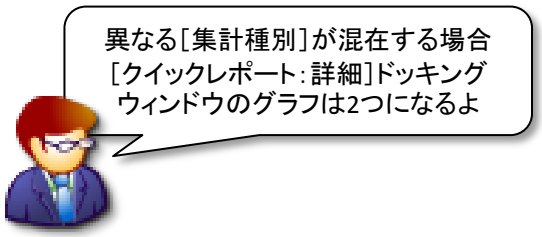
<活用例2>工程の進行とレビュー比率を確認する(1)からの続きです。
実際にどのような条件で集計項目を作成しているか、確認してみましょう。

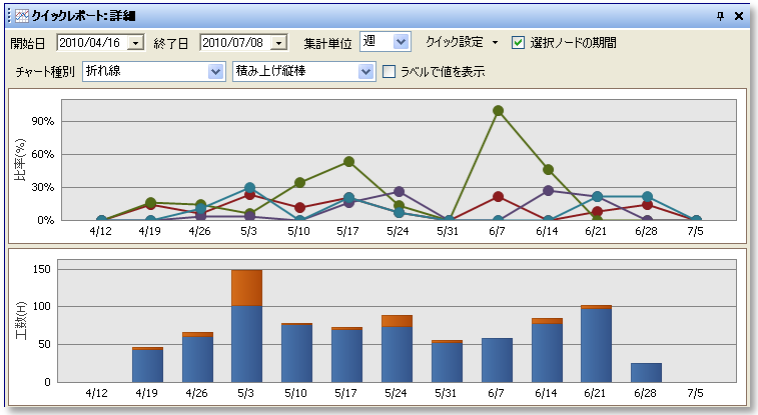
Professional Edition のみの機能です。



集計項目	集計種別	キーワード	除外キーワード
エンジニアリング工数	合計値	(なし)	管理
手戻り工数	合計値	手戻り	管理

集計項目	集計種別	キーワード (分子)	除外キーワード (分子)	キーワード (分母)	除外キーワード (分母)
仕様レビュー	比率	仕様 レビュー	(なし)	仕様	(なし)
設計レビュー	比率	設計 レビュー	テスト	設計	テスト
コードレビュー	比率	製作 レビュー	(なし)	製作	(なし)
テスト仕様レビュー	比率	テスト 仕様 レビュー テスト 設計 レビュー	(なし)	テスト 仕様 テスト 設計	(なし)





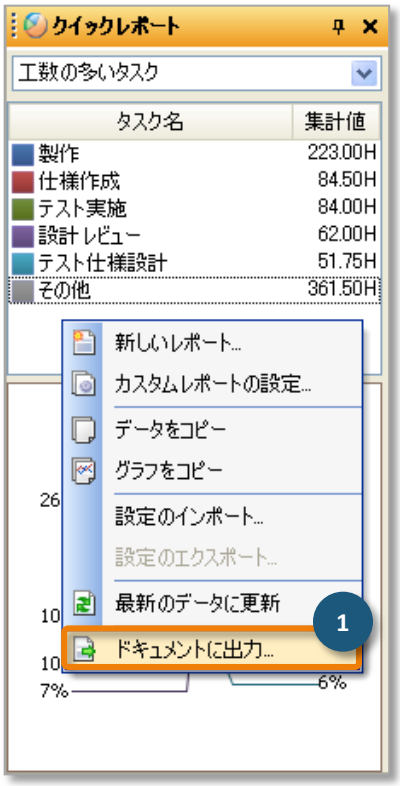
Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

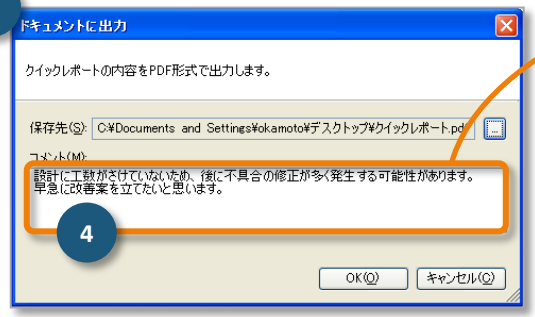
クイックレポートの内容をドキュメントに出力する

クイックレポートの内容をドキュメント（PDF形式）に出力できます。

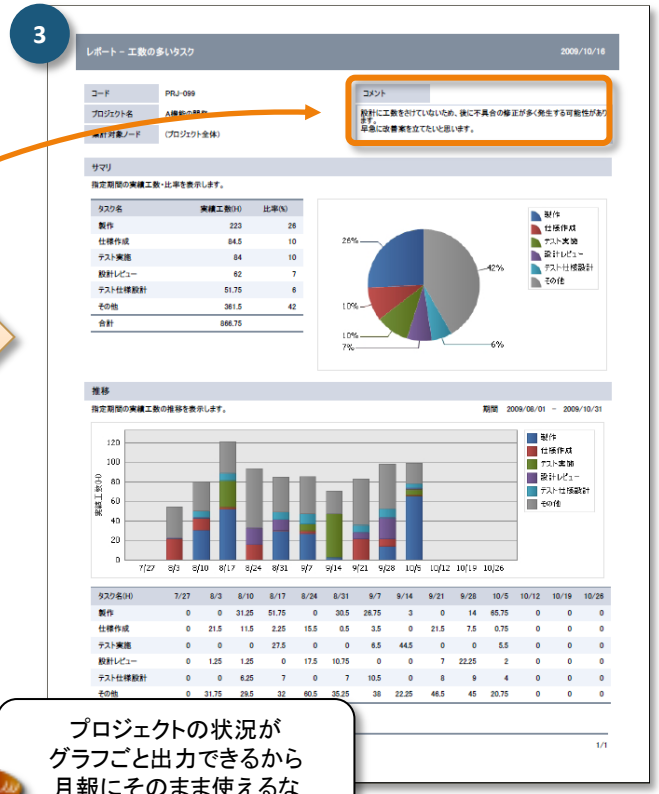
Professional Edition のみの機能です。

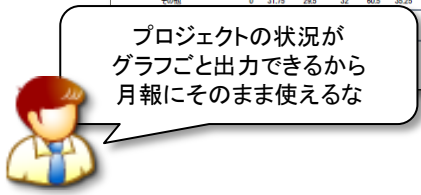
ドキュメントには、クイックレポートに表示しているグラフを表示します。更に任意のコメントを記入することもできます。





保存先の設定と、ドキュメントへのコメント（④）を入力することができます。





1. [クイックレポート]ドッキングウィンドウを右クリックし、コンテキストメニューから[ドキュメントに出力]を選択します（①）。
2. [ドキュメントに出力]ダイアログが表示されます（②）。
3. [OK]をクリックすると、出力されたファイルを表示します（③）。
   グラフは、クイックレポートと同様のものを出力します。
   また、グラフに対する表も出力されます。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.

まとめ

本書では、TimeTracker FX のプロジェクト管理について学びました。

プロジェクト管理編のまとめ

＜プロジェクト計画作成＞
- ●プロジェクト計画作成の基本
- ●既存のデータを活用した効率的な計画作成
- ●豊富な計画作成支援機能
- ●カスタマイズによる柔軟な計画作成機能
- ●プロジェクト計画の履歴管理

＜進捗・実績管理＞
- ●実績管理の基本
- ●進捗管理の基本
- ●計画テーブルでの進捗管理
- ●ガントチャートでの進捗管理
- ●アーンドバリューによる進捗管理
- ●Excelとのデータ連携
- ●Microsoft Projectとのデータ連携
- ●プロジェクトの工数分析

機能の詳細につきましては、製品同梱のヘルプをご参照下さい。

本書で紹介しきれなかった内容を説明しています。

さらにご理解いただくために

工数入力ならびに分析機能については「ユーザーズガイド 工数入力編」「ユーザーズガイド 分析編」をそれぞれ用意しております。
ぜひご活用ください。

また、以下のWebサイトではTimeTracker FXの最新情報などを掲載しています。
・TimeTracker FX 製品サイト
http://www.timetracker.jp/
製品概要、導入事例、価格情報、評価版のお問合せについては、こちらの製品サイトをご覧ください。
・TimeTracker FX サポートサイト
http://www.timetracker.jp/support/
バージョンアップ等の新着情報、よくあるご質問や本書を含むガイド・補足資料については、こちらのサポートサイトをご覧ください。

Copyright(C) DENSO CREATE INC. All rights reserved.